

EOS M5

使用説明書

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖 13)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

日本語

カメラと付属品の確認

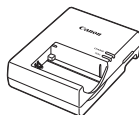
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



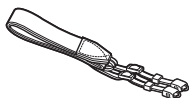
カメラ
(ボディキャップ付き)



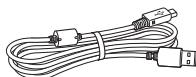
バッテリーパック
LP-E17
(端子カバー付き)



バッテリーチャージャー
LC-E17



ネックストラップ
EM-300DB



インターフェースケーブル
IFC-600PCU

- 上記のほか印刷物一式が入っています。
- レンズキットのレンズについては、カメラが入っている箱の記載をご確認ください。
- メモリーカードは付属されていません。

ソフトウェアの説明書について

- ソフトウェアの使用説明書は、下記の弊社 Web サイトからダウンロードしてください (📖335)。
<http://cweb.canon.jp/manual/eosd/soft.html>

レンズの使用説明書について

- レンズの使用説明書は、下記の弊社 Web サイトからダウンロードできます。
<http://cweb.canon.jp/manual/ef/index.html>

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*¹
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*¹*²
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*¹*²



*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 画面（モニター）は、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

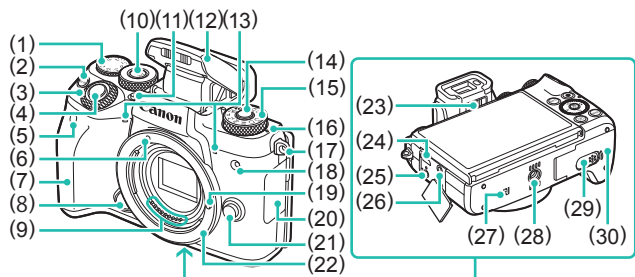
このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。

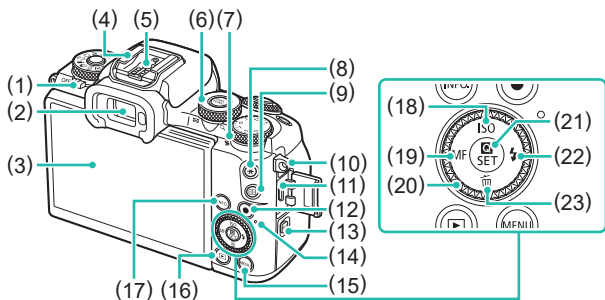


- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- 📝：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 🖐️：画面をタッチして操作する方法を示しています。
- 📖xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM レンズを取り付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

各部の名称



- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| (1) 露出補正ダイヤル | (15) モードダイヤル |
| (2) [M-Fn (マルチファンクション)] ボタン | (16) 撮影面マーク |
| (3) メイン電子ダイヤル | (17) ストラップ取り付け部 |
| (4) シャッターボタン | (18) ランプ (前面) |
| (5) リモコン受信部 | (19) レンズロックピン |
| (6) EF-M レンズ取り付け指標 | (20) 端子カバー |
| (7) グリップ | (21) レンズロック解除ボタン |
| (8) タッチ & ドラッグ AF 機能切り換えボタン | (22) レンズマウント |
| (9) 接点 | (23) 視度調整つまみ |
| (10) [Fn (ダイヤルファンクション)] ボタン | (24) デジタル端子 |
| (11) [B (ストロボポップアップ)] ボタン | (25) リモコン端子 |
| (12) ストロボ | (26) 外部マイク入力端子 |
| (13) マイク | (27) N (N マーク) *1 |
| (14) モードダイヤルロック解除ボタン | (28) 三脚ねじ穴 |
| | (29) DC カプラー端子カバー |
| | (30) カード / バッテリー収納部ふた |



- | | |
|---|----------------------------------|
| (1) 電源スイッチ | (13) [(Wi-Fi)] ボタン |
| (2) ビューファインダー | (14) ランプ (背面) |
| (3) 画面 (モニター) *2 /
タッチパネル | (15) [MENU (メニュー)] ボタン |
| (4) アクセサリーシュー | (16) [再生] ボタン |
| (5) シンクロ接点 | (17) [INFO. (インフォメーション)]
ボタン |
| (6) サブ電子ダイヤル
再生時: [Q (拡大)] /
[インデックス] | (18) [ISO] / 上ボタン |
| (7) スピーカー | (19) [MF (マニュアルフォーカス)]
/ 左ボタン |
| (8) [AE ロック] ボタン | (20) コントローラーホイール |
| (9) [AF フレーム選択] ボタン | (21) [クイック設定メニュー /
設定] ボタン |
| (10) ストラップ取り付け部 | (22) [ストロボ] / 右ボタン |
| (11) HDMI™ 端子 | (23) [消去] / 下ボタン |
| (12) 動画ボタン | |

*1 NFC 機能 (245) で使います。

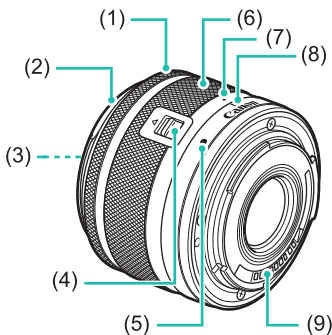
*2 画面に保護シートを貼るとタッチ操作が感知されにくいことがあります。このときは、タッチパネルの感度を上げてください (304)。



- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、[▲]、[▼]、[◀]、[▶] と同じ操作ができます。

レンズ

EF-M レンズの例



- (1) フォーカスリング
- (2) フード取り付け部
- (3) フィルター取り付けねじ部
- (4) レンズ収納スイッチ
- (5) レンズ取り付け指標
- (6) ズームリング
- (7) レンズ収納位置指標
- (8) ズーム指標
- (9) 接点

目次

カメラと付属品の確認	2	自分好みの画像を撮るための機能を使う	76
使えるカード（市販品）について	3	撮影の手助けとなる機能を使う	83
お使いになる前にお読みください	4	自分好みに機能を変える	85
このガイドの記載について	5	いろいろな撮影モード	87
各部の名称	6	好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）	88
やりたいこと目次	11	いろいろなシーンで撮る	93
安全上のご注意	13	効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	101
基本編		動画用のモードで動画を撮る	110
カメラの基本操作	19	Pモード	117
準備する	20	プログラム AE で撮る（[P] モード）	118
使ってみる	36	撮影機能を一覧にして設定する	119
活用編		明るさ（露出）に関する機能を使う	120
カメラを知る	41	色に関する機能を使う	128
電源の入れかた／切りかた	42	ピント合わせに関する機能を使う	138
シャッターボタンの押しかた	44	ストロボに関する機能を使う	148
ファインダーの使いかた	45	撮影スタイルにあわせて機能を変える	154
撮影モードの切り換えかた	47	Tv、Av、M、C1、C2 モード	163
画面（モニター）の角度調整	48	シャッター速度を決めて撮る（[Tv] モード）	164
撮影時の画面表示の切り換えかた	49	絞り数値を決めて撮る（[Av] モード）	165
クイック設定メニューの表示と操作方法	50	シャッター速度と絞り数値を決めて撮る（[M] モード）	166
MENU（メニュー）の表示と操作方法	52	長時間露光（バルブ）撮影	168
文字の入力方法	55		
ランプの表示	58		
オートモード / プラスムービー			
オートモード	59		
カメラまかせて撮る	60		
よく使う機能や便利な機能を使う	70		

ストロボ発光量を設定する.....	169	設定メニュー	293
シャッター速度と絞り数値を 決めて動画を撮る.....	170	カメラの基本機能を変える.....	294
撮影スタイルにあわせてカメラ をカスタマイズする	172	アクセサリ	313
再生モード.....	191	システムマップ.....	314
見る.....	192	別売アクセサリ	316
画像を探したり、特定の画像 だけを見る.....	200	別売アクセサリーの 使いかた	321
いろいろな方法で画像を 見る.....	206	ソフトウェアを使う	334
保護する	209	印刷する	338
消す	214	付録	351
回転する	218	故障かな？と思ったら	352
お気に入り設定をする (レーティング).....	220	画面に表示される メッセージ一覧.....	359
静止画を編集する.....	222	画面の表示内容一覧.....	364
RAW 画像をカメラで現像 する.....	229	機能／メニュー 一覧.....	370
動画を編集する.....	234	日ごろの取り扱いについて.....	404
無線機能.....	239	主な仕様	406
無線機能でできること	240	索引	418
スマートフォンに画像を 取り込む	241		
Web サービスを登録して 画像を送る.....	258		
メディアプレーヤーで画像を 閲覧する	265		
プリンターにつないで画像を 印刷する	268		
別のカメラに画像を送る	270		
画像送信について	272		
画像を自動で送る (クラウドシンクロ)	277		
スマートフォンでカメラ内の 画像やカメラを操作する	281		
無線通信の設定を編集 / 消去する	285		

やりたいこと目次

📷 撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい
(オートモード、プラスムービーオートモード)
- 📖 60、📖 63
- 自分好みに効果をつけて撮りたい (クリエイティブアシスト)
- 📖 88
- 背景をぼかした写真を撮りたい / 背景まで鮮明な写真を撮りたい
(Av モード)
- 📖 165
- 動きを止めた写真を撮りたい / 流動感のある写真を撮りたい
(Tv モード)
- 📖 164
- 自分撮りに最適な設定で撮りたい (自分撮り)
- 📖 95
- 効果をつけて撮影したい (クリエイティブフィルター)
- 📖 101
- 連続して写真を撮りたい (連続撮影)
- 📖 74
- ストロボ禁止の場所で撮りたい (ストロボ発光禁止)
- 📖 60
- 自分も一緒に写りたい (セルフタイマー撮影)
- 📖 70

📺 見る

- 画像を見たい
- 📖 192
- 自動再生で見たい (スライドショー)
- 📖 208
- テレビで見たい
- 📖 321

- パソコンで見たい
 - 335
- 画像を素早く探したい
 - 200
- 画像を消したい
 - 214

動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 - 60、110
- 動画を見たい
 - 192

印刷する

- 写真を印刷したい
 - 338

残す

- パソコンに画像を取り込みたい
 - 336

無線機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 - 241
- Web サービスで画像を共有したい
 - 258
- パソコンに画像を送りたい
 - 277

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。

目をいためる恐れがあります。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

アクセサリシューカバーを誤って飲み込むと危険です。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。

- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。

感電、火災の原因となります。

液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品でファインダーを通して、または交換式レンズを使う製品でレンズを通して、強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

- 交換式レンズを使う製品では、レンズを取り付けたカメラやレンズを日光のもとにレンズキャップを取り付けずに放置しない。

火災の原因となることがあります。

- 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

- 指定外のバッテリーや電池は使わない。

- バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- 長時間、身体と同じ部位に触れたまま使わない。熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

**注意**

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- 画面に強い衝撃を与えない。画面が割れると、破片でけがをすることがあります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40℃を超える高温になるところ
 - 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- 長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。

- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をはさまないようにする。

けがの原因となることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。

画面の破損の原因となります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが画面にあたらないようにする。また、画面が閉じられる製品では、画面を内側に向けて閉じる。

- ストラップにアクセサリを付けない。

硬いものが画面にあたると破損の原因になります。

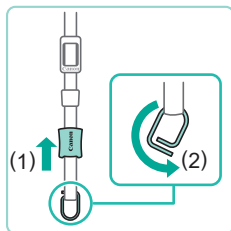
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

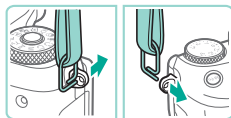
ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



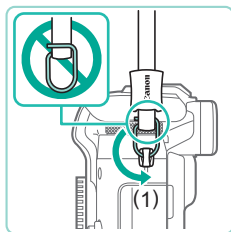
1 ストラップの準備をする

- リングを持ったままキャップを (1) の方向へ引っ張ります。
- リングを図のように (2) の方向へ回します。



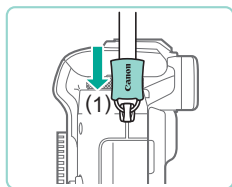
2 リングを取り付ける

- 図のようにリングを取り付け部に通します。



3 リングを回転する

- リングを図のように (1) の方向へ回します。
- リングを回したときに、ストラップをリングの隙間に通さないよう注意してください。



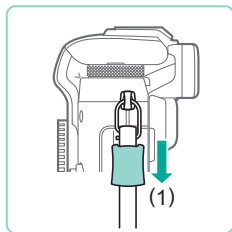
4 リングを固定する

- キャップを (1) の方向に「カチッ」と音がするまで動かし、リングを固定します。
- 反対側も同じようにしてリングを固定します。



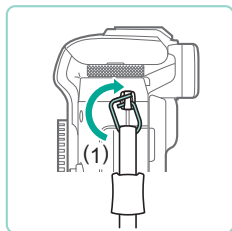
- 手順にしたがって正しくストラップを取り付けてください。正しくストラップが取り付けられていないと、カメラが落下することがあります。

ストラップを取り外す



1 キャップを外す

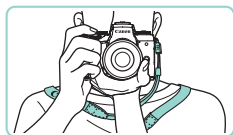
- キャップを (1) の方向へ引っ張り、リングから外します。



2 リングを取り外す

- リングを図のように (1) の方向へ回します。
- リングの隙間を取り付け部に通して、リングを取り外します。

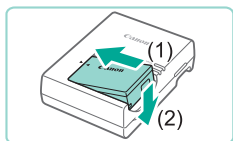
カメラを構える



- ストラップを首にかけます。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

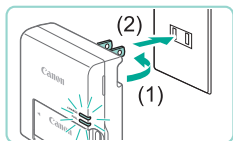
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



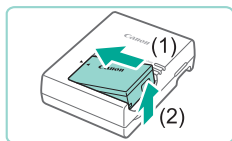
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーのカバーを外し、バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1) の方向へおこして、(2) コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- バッテリーチャージャーに異常が発生すると、保護回路が働いて充電が中止され、ランプがオレンジ色に点滅します。そのときは、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーの取り外し / 取り付けを行い、しばらく経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

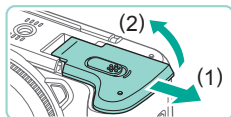


- 充電に必要な時間については「バッテリーチャージャー LC-E17」(416) を、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については「電源」(414) を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーのカバーを取り付けるときは、充電したバッテリーは ▲が見えるように、充電前のバッテリーは ▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

バッテリーとカードを入れる

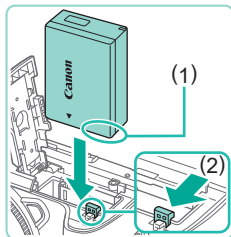
付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（ 295）することをおすすめします。



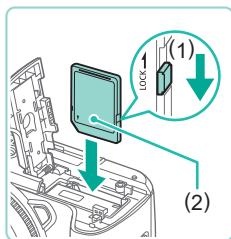
1 ふたを開ける

- (1) の方向にふたを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



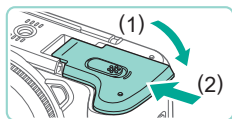
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部 (1) を図の位置にして、バッテリーロックを (2) の方向へ動かしたまま、「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを (1) の方向に動かします。
- カードのラベル面 (2) を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



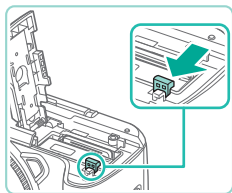
4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、(2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



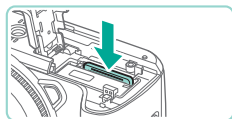
- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間は、画面表示で確認できます (36)。

バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

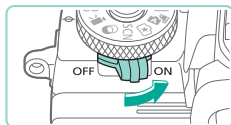


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

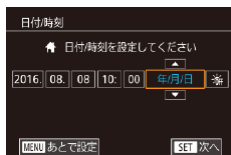
日付／時刻を設定する

電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源スイッチを「ON」にします。
- 「日付／時刻」画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- 「[◀]」か「[▶]」を押して項目を選びます。
- 「[▲]」か「[▼]」を押すか「[DISP.]」ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、「[OK]」を押します。



3 自宅のエリアを設定する

- 「[◀]」か「[▶]」を押して自宅のあるエリアを選びます。



4 設定を終える

- [SET] を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源スイッチを [OFF] にすると電源が切れます。



- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付／時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。



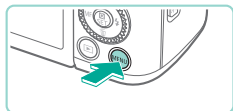
- 手順 2 で [☀️] を選び、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [☀️] にすると、サマータイム (1 時間プラスされます) に設定されます。



- 手順 2 の画面で、設定する項目をタッチして、[▲] か [▼] をタッチして設定したあと、[SET] をタッチすることでも日付／時刻を設定できます。また、手順 3 の画面で、[◀] か [▶] をタッチして設定したあと、[SET] をタッチすることでも自宅のエリアを設定できます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 [日付／時刻] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔧] ダイアルを回して、[🔧 2] タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [🔧] ホイールを回して [日付／時刻] を選び、[🔧] を押します。



3 日付／時刻を変える

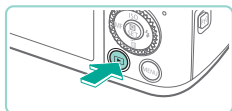
- 「日付／時刻を設定する」(📖26) の手順 2 の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプター（別売）と DC カプラー（別売）(📖316) をあわせて使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(📖26) の操作で正しく設定してください。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- [SE] を押したまま、[MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して言語を選び、[SE] を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[P 3] タブの「言語」を選んで設定することもできます。

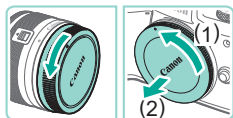


- 手順 3 で表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

レンズを取り付ける

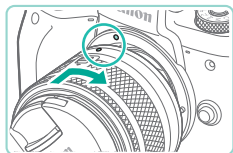
このカメラでは、EF-M レンズを使用できます。また、別売のマウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EF レンズ、EF-S レンズも使用できます (32)。

1 カメラの電源を切る



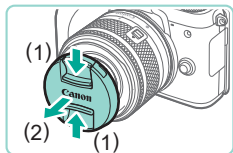
2 キャップを外す

- レンズのキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外します。

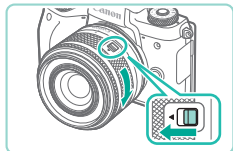


3 レンズを取り付ける

- レンズとカメラにある白い丸の取り付け指標をあわせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



4 レンズキャップを外す



5 撮影の準備をする

- レンズ収納位置指標とズーム指標がっている状態で、レンズ収納スイッチを [▲] の方向に押しながら、ズームリングを矢印の方向に少し回してレンズ収納スイッチを放します。
- さらにズームリングを回して「カチッ」と音がすると撮影の準備が完了します。

- レンズを収納するときは、レンズ収納スイッチを[▲]の方向に押しながら、ズームリングを回し、レンズ収納位置指標とズーム指標をあわせてレンズ収納スイッチを放します。
- ズーム操作は、レンズのズームリングを手で回します。
- ズーム操作は、ピント合わせの前に行います。ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。

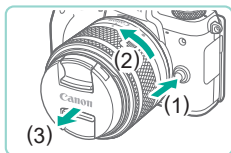


- レンズ保護のため、撮影しないときはレンズキャップを取り付けてください。



- お使いのレンズによっては、内蔵ストロボを使うとストロボ光がケラれて画像の一部が暗くなることがあります。

レンズを取り外す



- カメラの電源を切ります。
- レンズロック解除ボタン(1)を押しながら、レンズを(2)の方向に回します。
- 回転が止まるまで回してから、(3)の方向に取り外します。
- 取り外したレンズにキャップを取り付けます。



- ゴミやほこりについて、普段から以下のことに注意してください。
 - レンズの交換は、ほこりの少ない場所で素早く行う
 - レンズを取り外してカメラを保管するときは、ボディキャップを必ずカメラに取り付ける
 - ボディキャップは、ゴミやほこりを落としてからカメラに取り付ける



- 撮影画面は、35mm 判カメラの撮影画面より小さいため、取り付けしたレンズの焦点距離（有効撮影画角）は、「表記焦点距離×約 1.6 倍」相当になります。例えば、焦点距離が 15-45mm のレンズは、35mm 判カメラ換算で焦点距離が約 24-72mm になります。

レンズの使用説明書について

レンズの電子マニュアルは以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://cweb.canon.jp/manual/ef/index.html>

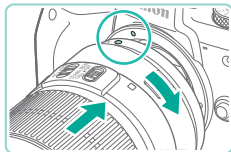
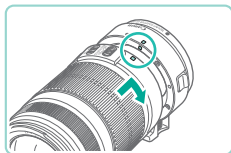
EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける

別売のマウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EF レンズ、EF-S レンズも使用できます。

1 カメラの電源を切る

2 キャップを外す

- 「レンズを取り付ける」(📖30) の手順 2 の操作でキャップを外します。



3 アダプターにレンズを取り付ける

- EF レンズを取り付けるときは、レンズとアダプターにある赤い丸の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。
- EF-S レンズを取り付けるときは、レンズとアダプターの白い四角の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。

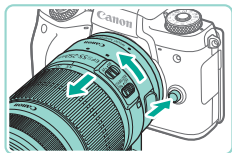
4 カメラにアダプターを取り付ける

- アダプターとカメラにある白い丸の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



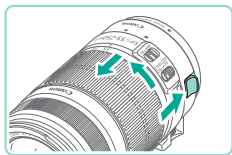
- カメラより重いレンズを使うときは、レンズ側を支えて、持ち運び・撮影をしてください。
- アダプターを使うため、レンズの最短撮影距離が長くなり、最大撮影倍率や撮影範囲が変わることがあります。
- 自動ピント合わせのときに、レンズの先端（フォーカスリング）が動くレンズは、動いている部分に触れないでください。
- 一部の超望遠レンズのフォーカスプリセット機能やパワーズームは使えないことがあります。

レンズを取り外す



1 アダプターを取り外す

- カメラの電源を切ります。
- レンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを取り付けたままのアダプターを矢印の方向に回します。
- 回転が止まるまで回してから、取り外します。

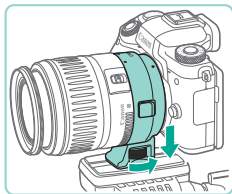


2 レンズを取り外す

- アダプターの取り外しレバーをスライドしながらレンズを反時計回りに回します。
- 回転が止まるまで回してから、取り外します。
- 取り外したレンズにキャップを取り付けます。

三脚を使う

アダプターを取り付けた状態で三脚を使うときは、カメラの三脚ねじ穴は使わず、アダプターに付属の三脚座を使ってください。



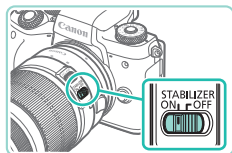
- 三脚座をアダプターに取り付けます。つまみでしっかり締め付けてください。
- 三脚座のねじ穴に三脚を取り付けます。



- 超望遠レンズなど、三脚座が付いた EF レンズを使うときは、レンズの三脚座に三脚を取り付けてください。

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能のあるレンズを取り付けると、撮影するときのわずかなカメラの動き（手の揺れ）を補正できます。なお、手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。



- レンズの手ブレ補正スイッチを [ON] にします。

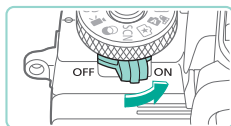
使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

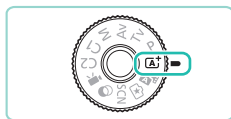
撮る（シーンインテリジェントオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源スイッチを [ON] にします。



2 [A+] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[A+] にします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンのアイコン (1) が表示されます。
- 画面の上部には、カードに記録できる枚数 (2)、動画の撮影時間 (3) が表示されます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。



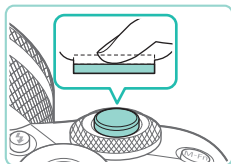
3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームできるレンズでは、レンズのズームリングを手で回します。

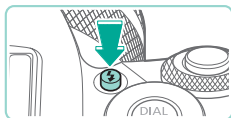
4 撮影する

静止画を撮る

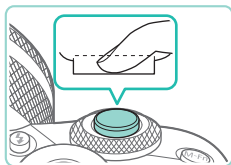
1) ピントを合わせる



- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されます。



- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、 ボタンを押して、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

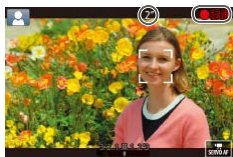


2) 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込むと撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像が約2秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。

動画を撮る

1) 撮影をはじめる



- 動画ボタンを押すと、撮影が始まり、[● 録画] と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮影を終える



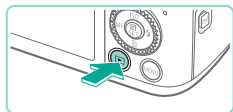
- もう一度動画ボタンを押すと撮影が終わります。



- シャッターボタンを浅く押してピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと [!] が表示され、シャッターボタンを深く押し込んでも撮影できません。
- 動画撮影を開始すると画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

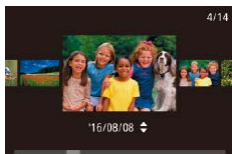
見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。
- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [⌂] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- [⌂] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⌂] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET ▶] が表示されます。
- 音量は再生中に [▲] か [▼] を押して調節します。



- 再生モードの状態で「シャッターボタンを半押し（ 44）する」、「」ボタンを押す、「動画ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のどれかの操作で撮影モードになります。



- をタッチすることでも動画を再生できます。また、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- か を押すか ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- を押します。
- が表示されたら、 か を押すか ホイールを回して[消去]を選び、 を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、 か を押すか ホイールを回して[キャンセル]を選び、 を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます（ 215）。

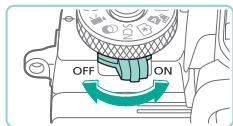


- 手順 2 の画面で[消去]をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。

カメラを知る

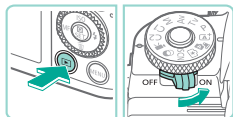
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源スイッチを [ON] にすると電源が入り、撮影できます。
- 電源スイッチを [OFF] にすると、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押しながら電源スイッチを [ON] にすると電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、撮影モードになります。
- 電源スイッチを [OFF] にすると、電源が切れます。



- EF-M レンズを取り付けていると、電源が切れているときは、カメラ内部保護のため、絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入りにくいようにしています。そのため、電源を入り切りしたときに絞りが動く小さな音がします。
- 電源を入り切りしたときに、撮像素子の自動清掃が行われます（小さな音が鳴ることがあります）。また、電源が切れたときは、清掃中に画面に [⌂] が表示されます。なお、電源の入り切りを短い時間で繰り返すと、[⌂] が表示されないことがあります。
- 再生モードの状態ですら「シャッターボタンを半押し（44）する」、「[▶] ボタンを押す」、「動画ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のどれかの操作で撮影モードになります。

節電機能（オートパワーオフ）

- バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。
- 約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 1 分たつと電源が切れます。画面が消えた状態でもシャッターボタンを半押し（ 44）すると画面が表示され、撮影できます。

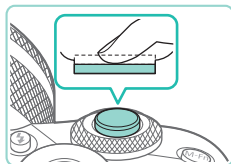


- 再生モードの状態画面が消えたあとシャッターボタンを半押ししても、撮影画面が表示されます。
- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（ 299）。
- Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（ 239）、パソコンとつながっていないとき（ 336）は、節電機能は働きません。

シャッターボタンの押しかた

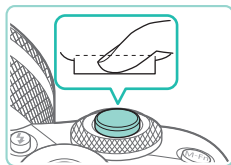
意図した被写体にピントが合った画像を撮るために、シャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- 撮影されます。



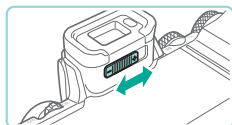
- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、意図した被写体にピントが合わない画像になることがあります。

ファインダーの使いかた

ファインダーを使うと、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。

1 画面またはファインダーの表示を切り換える

- ファインダーに目を近づけるとファインダーが表示され、カメラの画面は消えます。
- 目を離すとファインダーの表示が消え、カメラの画面が表示されます。



2 視度を調節する

- ファインダーの表示がはっきり見えるようにつまみを動かします。



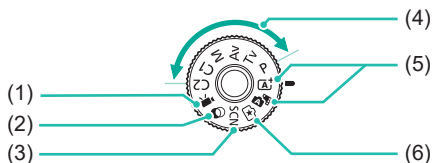
- ファインダーとカメラの画面を同時に表示することはできません。



- ファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素数がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 縦横比 (📖80) の設定によっては、左右または上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- MENU (📖52) で [🔍 1] タブの [表示先設定] を選び、[表示先切り換え] を [マニュアル] にしたあと、[マニュアル表示先] を [ファインダー] にすると、ファインダーから目を離してもカメラの画面に表示されなくなります。
- MENU (📖52) で [📷 1] タブの [撮影情報表示設定] を選んでから [ファインダー縦表示] を [切] にすると、カメラを縦位置で構えても撮影情報の画面表示が変わらなくなります。
- [A+] [P] [Av] [Tv] [M] モードのときに、MENU (📖52) で [📷 2] タブの [撮影画面表示設定] を選んでから [画面表示] を [省電力優先] にすると、電力消費を抑えることができますが、ファインダーとカメラの画面の表示が粗くなる場合があります。
- ファインダー表示中に Wi-Fi メニュー (📖239) を表示したときは、カメラの画面に表示が切り換わります。
- ファインダーとカメラの画面の明るさ (📖300) は、それぞれに設定できます。
- MENU (📖52) で [📷 2] タブの [ファインダー表示形式] を [表示2] にすると、撮影画面を縮小して表示できます。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。モードダイヤルの中央（モードダイヤルロック解除ボタン）を押しながら回します。



- (1) 動画モード
動画が撮影できます（[110](#)、[170](#)）。なお、動画モード以外でも動画ボタンを押すだけで動画撮影できます。
- (2) クリエイティブフィルターモード
いろいろな効果をつけた撮影ができます（[101](#)）。
- (3) スペシャルシーンモード
撮影シーンに最適な撮影ができます（[93](#)）。
- (4) P、Tv、Av、M、C1、C2 モード
各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます（[117](#)、[164](#)、[165](#)、[166](#)、[184](#)）。
- (5) シーンインテリジェントオートモード／プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影ができます（[60](#)、[63](#)）。
- (6) クリエイティブアシストモード
かんたんに思いどおりの効果をつけて撮影できます。設定の登録や読み込みもできます（[88](#)）。

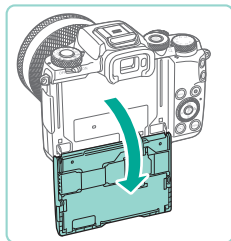


- 再生モードのときにモードダイヤルを回すと、撮影モードに切り換わります。

画面（モニター）の角度調整

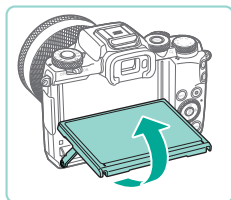
撮影シーンや目的に応じて、画面の向きや角度を調整することができます。

下向きに開く



- 約 180° まで開くことができます。
- 撮影モードで画面を開いてレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。

上向きに開く



- 画面の下部を手前に引き上げます。
- 約 85° まで開くことができます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 画面は、故障の原因となるため無理に広げないでください。



- MENU (📖 52) の [📷 1] タブの [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。

撮影時の画面表示の切り換えかた

【INFO】ボタンを押すと、撮影情報、グリッドラインや水準器の表示 / 非表示が切り替わります。

【📷 1】タブの「撮影情報表示設定」で、より詳しく表示内容を設定することができます (📖 172)。



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖 195)を参照してください。

クイック設定メニューの表示と操作方法

よく使う機能は、**Q**（クイック設定）メニューで設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（[374](#)）や再生モード（[402](#)）によって変わります。



1 Qメニューのメニュー項目を表示する

- **[Q]** を押します。

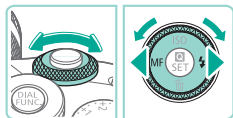


(1)

(2)

2 メニュー項目を選ぶ

- **[▲]** か **[▼]** を押してメニュー項目 (1) を選びます。
- 選んだメニュー項目の項目 (2) が、画面の下部に表示されます。



3 項目を選ぶ

- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールか **[歯車]** ダイヤルを回して項目を選びます。
- **[INFO]** が表示される項目では、**[INFO]** ボタンを押して設定することができます。



4 設定を終える

- **[SE]** を押します。
- 手順 1 で **[SE]** を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 手順 3 で **[歯車]** ダイアルを回しても項目を選ぶことができます。
- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P310)。
- メニュー項目で **[戻る]** を選んで **[SE]** を押すことでも設定を終えることができます。

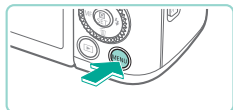
画面をタッチして設定する



- 画面右上の **[Q]** をタッチしてクイック設定メニューを表示します。
- メニュー項目、項目の順にタッチして設定します。
- メニュー項目の **[戻る]** をタッチするか、選択中の項目をもう一度タッチすると元の画面に戻ります。
- **[INFO.]** が表示される項目では、**[INFO.]** をタッチして画面を切り換えることができます。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

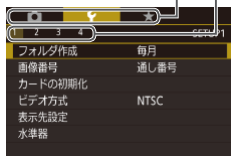
カメラの各種機能をメニューで設定できます。



1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。

(1) (2)



2 タブを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [歯車] ダイアルを回して、タブを選びます。
- タブには、撮影 [📷]、再生 [▶]、設定 [⚙️] などの系統タブ (1) と、系統ごとのページタブ (2) があります。なお、本文中では、系統タブとページタブをつなげて「[📷 1] タブ」のように表記しています。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [ホイール] を回して項目を選び [OK] を押します。
- 内容が表示されていない項目では、[OK] を押して画面を切り換えたあと、さらに [▲] か [▼] を押すか [ホイール] を回して項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- 内容が縦に並んでいる項目では [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。
- 内容が横に並んでいる項目では [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。

5 設定を終える

- [●] を押すと設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと、手順 1 で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 手順 2 で [M-Fn] ボタンを押しても系統タブを選ぶことができます。
- 手順 3 や手順 4 で [歯車] ダイアルを回しても、項目や内容を選ぶことができます。
- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖 310)。
- 表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (📖 378 ~ 📖 402) によって変わります。

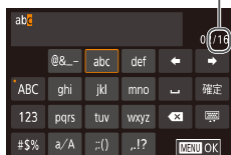
画面をタッチして操作する

- **[MENU]** ボタンを押してメニューを表示したあと、系統タブ、ページタブの順にタッチして、タブを選びます。
- 項目をタッチして選び、もう一度タッチします。
- 内容をタッチすると設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えて設定します。**[MENU]** をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。
- チェックボックスや文字の入力欄をタッチして選んだり、キーボードをタッチして文字を入力することもできます。
- **[INFO.]** **[MENU]** **[SET]** の表示をタッチすると、**[INFO.]** ボタンや **[MENU]** ボタン、**[G]** ボタンと同じ操作ができます。
- メニュー表示を消すには、もう一度 **[MENU]** ボタンを押します。

文字の入力方法

無線機能（ 239）などで文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- [確定] をタッチして文字を確定します。
- 入力できる文字数 (1) は機能によって異なります。

入力位置を移動する

- [←] か [→] をタッチします。

改行する

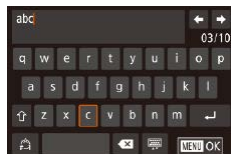
- [↵] をタッチします。

文字の種類を変える

- [ABC] [123] [#\$%] をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [✕] をタッチすると、前の 1 文字が消去されます。
- [✕] をタッチしたままにすると、5 文字ずつ消去されます。



キーボードの種類を変える

- [📄] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [🔢] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [🔠] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。



- 一部の機能では [↩] は表示されず使えません。



- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して文字やアイコンを選び、[👉] を押して操作することもできます。また、[🔧] ダイアルを回して文字を入力する位置を移動することもできます。元の画面に戻るときは [MENU] ボタンを押します。

漢字やひらがなを入力する

Wi-Fi 機能のコメント入力 (📖 276) にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

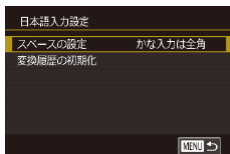
文字を確定する

- [確定] をタッチします。

文字入力の設定を変える

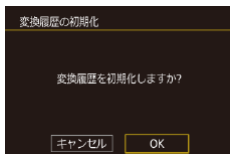
文字入力に関する設定を変えることができます。

半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[F2] タブの [日本語入力設定] を選び、[F9] を押します (書52)。
- [▲] か [▼] を押すか [F10] ホイールを回して [スペースの設定] を選び [F9] を押して表示された画面で、[▲] か [▼] を押すか [F10] ホイールを回して [常に半角を使う] を選んで [F9] を押します。

変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[F2] タブの [日本語入力設定] を選び、[F9] を押します (書52)。
- [▲] か [▼] を押すか [F10] ホイールを回して [変換履歴の初期化] を選び [F9] を押して表示された画面で、[◀] か [▶] を押すか [F10] ホイールを回して [はい] を選び [F9] を押します。

ランプの表示

カメラが以下の状態のとき、カメラ背面のランプ (📖6) が緑色に点滅します。

- パソコン接続時 (📖336)
- 画面消灯時 (ディスプレイオフ) (📖43、📖298、📖299)
- 起動中、カードへの記録 / 読み出し中
- 各種通信中
- 長秒時の撮影中 (📖164、📖166)
- Wi-Fi 接続中 / データ送受信中



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード / バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

オートモード / プラスムービーオートモード

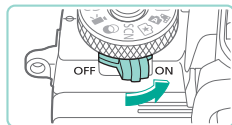
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

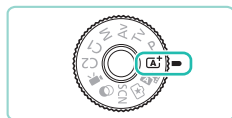
オートモードで撮る(シーンインテリジェントオート)

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源スイッチを [ON] にします。



2 [A+] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[A+] にします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンのアイコンが表示されます (p.67)。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。



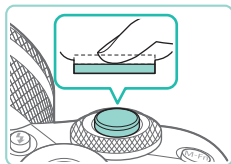
3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームできるレンズでは、レンズのズームリングを手で回します。

4 撮影する

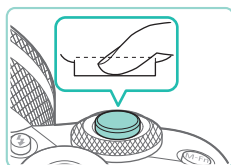
静止画を撮る

1) ピントを合わせる



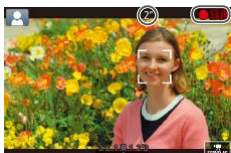
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

- 「[ストロボを上げてください]」のメッセージが表示されたときは、 ボタンを押して、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像が約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと撮影が始まり、[● 録画] と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



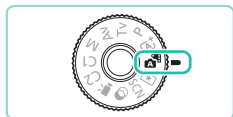
3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 「Auto」モードにする

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」（ 60）の手順2の操作で「Auto」を選びます。



2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」（ 60）の手順3～4の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」（ 60）の手順4の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[A+] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり [A+] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラやレンズを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の画質は、[HD 29.97P] (NTSC 時) または [HD 25.00P] (PAL 時) です。ビデオ方式 (書 297) の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [A+] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 16 分 40 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき (書 209)
 - サマータイムの設定 (書 26)、ビデオ方式 (書 297)、エリア設定 (書 301)、著作権の情報 (書 308) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (書 294)
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (書 52) で [カメラ 6] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください (書 52)。
- チャプターを使って編集することもできます (書 237)。

ダイジェスト動画の再生について

[A+] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (書 198)。

静止画／動画



- **[INFO]** ボタンを押したまま電源を入ると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、**[MENU]** ボタンを押して、**[Y3]** タブの **[電子音]** を選び、**[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[入]** を選びます。

静止画



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと **[!]** が表示され、全押ししても撮影できません。
- 人や被写体が検出されないときや、暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- **[Q]** が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ」(P408) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなる場合があります。
- 撮影しようとしたときに **[⚡]** が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

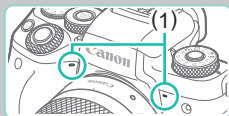


- 撮影直後、記録された画像が表示されるまでの表示では、画面周辺が暗く見えます。
- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (P86)。

動画



- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタンや画面のタッチ以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。撮影中の設定変更などはタッチ操作で行うことをお勧めします。
- レンズやカメラの動作音も録音されます。外付けマイク (別売) (P331) を使うと軽減することがあります。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください (P155)。



- 音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。録音されるレンズの動作音は、外付けマイク（別売）を使うと軽減されることがあります。なお、音声を録音しないときは、MENU (📖 52) で [📷 7] タブの [録音] を選び、[しない] を選んでください。
- MENU (📖 52) で [📷 7] タブの [動画サーボ AF] で [しない] を選ぶと、動画撮影中、ピント位置を固定できます。
- 1 回の撮影で容量が 4GB を超える動画はファイルが分割されます。容量が 4GB になる約 30 秒前から、撮影画面に表示されている撮影時間が点滅します。そのまま撮影を続けて容量が 4GB を超えると、新しい動画ファイルが自動的に作成され、撮影時間は点灯表示に戻ります。なお、分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごと再生してください。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[A+] [A+] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景	被写体：人		背景色
	人	動いているとき	
明るい			灰色
明るい（逆光）			
青空を含む			水色
青空を含む（逆光）			
スポットライト		—	紺色
暗い		—	
暗い（三脚を使用しているとき）		—	

背景	被写体：人以外			背景色
	人以外	動いているとき	近いとき	
明るい				灰色
明るい（逆光）				
青空を含む				水色
青空を含む（逆光）				
夕景		—	—	オレンジ色
スポットライト		—		紺色
暗い				
暗い（三脚を使用しているとき）		—	—	

- セルフタイマー（ 70）設定時、 モード、動画撮影では、「動いているとき」のアイコンは表示されません。
- レンズを MF に設定していたり、オートフォーカスできないレンズを装着しているときは、「被写体：人」や「動いているとき」のアイコンは表示されません。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、 モード（ 117）で撮影することをおすすめします。

画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。
- **[A+]** モードでは被写体が動いていると判別されたときにシャッターボタンを半押しすると、枠が青色になってピントと明るさが再調整されます（サーボ AF）。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと **[!]** が表示されます。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、**[P]** モード (117) で撮影することをおすすめします。



- **[6]** タブの **[AF 自動切り換え]** を **[しない]** にするとサーボ AF は機能しません。また、「動いているとき」のアイコン (67) は表示されなくなります。なお、セルフタイマー (70) を **[セルフタイマー]** 以外に設定すると **[AF 自動切り換え]** は **[しない]** 固定になります。



- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして **[AF]** を表示します（タッチ AF）。

よく使う機能や便利な機能を使う

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



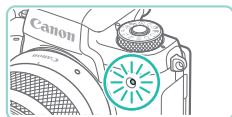
1 設定する

- **[] を押して、メニュー項目の **[] を選んだあと、項目の **[] を選びます (p.50)。******
- 設定されると **[] が表示されます。**



2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。

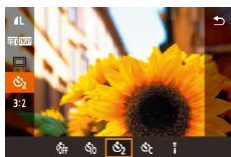


- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の2秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、**[MENU]** ボタンを押します。
- 戻すときは、手順1の操作で **[C/]** を選びます。

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。



- 「セルフタイマーを使う」(70) の手順1の操作で **[C/]** を選びます。
- 設定されると **[C/]** が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」(70) の手順2の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。



1 **[C/]** を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」(70) の手順1の操作で **[C/]** を選び、**[INFO.]** ボタンを押します。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押して時間または枚数を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して数値を選び、[●] を2回押します。
- 設定されると [📷] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」(📖 70) の手順2の操作で撮影します。



- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。



- 撮影枚数を2枚以上にしたときは、明るさや色あいは1枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 2] タブの [タッチシャッター] を選び、[設定] を押します。
- [タッチシャッター] を選んでから、[する] を選びます。



2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れると撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順 1 の操作で [しない] を選びます。



- ピントが合わないときは、AF フレームがオレンジ色で表示されて撮影できません。



- 撮影した画像が表示されている状態でも、[戻る] をタッチすると、次の撮影ができます。

連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

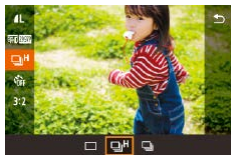
〔A+〕モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「撮影関係」(409) を参照してください。



1 設定する

- 〔〕を押して、メニュー項目の〔〕を選んだあと、項目の〔〕か〔〕を選びます (50)。
- 設定されると〔〕か〔〕が表示されます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置で固定されます。
- セルフタイマー (📖 70) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影条件、カードの種類、連続撮影した枚数によっては、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター機能 (📖 73) では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置で固定されます。
- 連続撮影中の画面表示は撮影された画像と異なり、ピントが合っていないように見えることがあります。また、レンズによっては連続撮影中の画面表示が暗く見えることがありますが、撮影した画像は標準的な明るさで記録されます。



- 連続撮影できる枚数が 1 ～ 9 枚のときは、画面上部の撮影可能枚数 (📖 364) の右に枚数が表示されます。10 枚以上撮影できるときには表示されません。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、7種類の組み合わせから選べます。また、RAW 画像（ 77）を記録するかどうかも設定できます。それぞれの記録画質で1枚のカードに撮影できる枚数については「記録関係」（ 410）を参照してください。



-  を押して、メニュー項目の  を選び、目的の項目を選びます（ 50）。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で  を選びます。



-   は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、 の方が高画質です。 では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。なお、 は  の画質です。
-  モードでは設定できません。
- MENU（ 52）の  1 タブの「記録画質」で設定することもできます。

用紙の大きさと記録画素数を選ぶときは次の表を目安にしてください（縦横比 3:2 のとき）。

L	A2 相当
M	A3 相当
S1	A4 相当
S2	2L 判、はがき、L 判相当

RAW 画像を記録する

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

JPEG 画像	最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW 画像	カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできないため、このカメラで現像する（  229）かソフトウェア「Digital Photo Professional」（  334）を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。



- [Q] を押して、メニュー項目の [L] を選びます (50)。
- RAW 画像だけを記録するときは、内容で [RAW] を選びます。
- JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、内容で JPEG の記録画質を選んだあと、[INFO.] ボタンを押して [RAW] に [✓] を付けます。元に戻すときは、同じ手順で [RAW] の [✓] を外します。



- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア「EOS Utility (イオス ユーティリティ)」 (334) をお使いください。



- 記録画素数や撮影できる枚数については、「記録関係」 (410) を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。同時に記録した JPEG 画像と RAW 画像は、同じ画像番号のファイルになります。
- ソフトウェア「Digital Photo Professional」「EOS Utility」については、「ソフトウェアについて」 (334) を参照してください。なお、ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」 (335) を参照してください。

メニューから操作する



- [MENU] ボタンを押して、[CAM 1] タブの [記録画質] を選び、[SET] を押します (書 52)。
- [太陽] ダイヤルを回して [RAW 画像設定] で [RAW] を選ぶと RAW 画像も同時記録されます。[-] を選ぶと JPEG 画像だけを記録する設定になります。
- [◀] か [▶] を押すか [歯車] ホイールを回して [JPEG 画像設定] で記録画素数と圧縮率を選びます。[-] を選ぶと、RAW 画像だけを記録する設定になります。
- [SET] を押すと設定されてメニュー画面に戻ります。



- [RAW 画像設定] と [JPEG 画像設定] の両方を同時に [-] に設定することはできません。

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- **[]** を押して、メニュー項目の **[3:2]** を選んだあと、目的の項目を選びます (p.50)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で **[3:2]** を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面や 35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- **[]** モードでは設定できません。
- MENU (p.52) の **[ 1]** タブの「静止画アスペクト比」で設定することもできます。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の画質（画像サイズとフレームレート）を設定できます。なお、フレームレートとは1秒間に何コマ記録するかのことです。ビデオ方式の設定（[書297](#)）によって自動的に切り換わります。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「記録関係」（[書410](#)）を参照してください。



- [ISO] を押して、メニュー項目の「動画記録サイズ」を選んだあと、目的の項目を選びます（[書50](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

ビデオ方式の設定が [NTSC] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
FHD 59.94P	1920 x 1080 画素	59.94 フレーム / 秒	Full HD(フルハイビジョン) 画質で撮影できます。 [FHD 23.98P] では、映画と同じようなフレームレートで撮影できます。
FHD 29.97P	1920 x 1080 画素	29.97 フレーム / 秒	
FHD 23.98P	1920 x 1080 画素	23.98 フレーム / 秒	
HD 59.94P	1280 x 720 画素	59.94 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
VGA 29.97P	640 x 480 画素	29.97 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

ビデオ方式の設定が [PAL] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
	1920 x 1080 画素	50.00 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。
	1920 x 1080 画素	25.00 フレーム / 秒	
	1280 x 720 画素	50.00 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
	640 x 480 画素	25.00 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。



-   では画面の左右に、       では画面の上下に、黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- MENU (📖 52) の [ 7] タブの [動画記録サイズ] で設定することもできます。

撮影の手助けとなる機能を使う

水準器を使う（デュアルアクシス電子水準器）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラの前後（あおり）と左右（水平）の傾きを確認するための目安となる水準器を表示することができます。



1 水準器を表示する

- [INFO] ボタンを何回か押して水準器を表示します。



(1)

(2)

2 カメラの傾きを調整する

- (1) は前後方向、(2) は左右方向の傾きを表しています。
- 赤い線が緑色に変わるようにカメラを動かして調整します。



- 手順 1 で水準器が表示されないときは、MENU (52) の [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] (172) の設定を確認してください。
- [A/M] モード、動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します (297)。

自動水平補正を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に動画を水平に保つ補正をします。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 4] タブの [📷 自動水平補正] を選び、[🔍] を押します (📖 52)。
- [する] を選び、もう一度 [🔍] を押します (📖 52)。



- [動画電子IS] を [する] または [強] に設定しているとき (📖 156) は、[📷 自動水平補正] は [しない] に固定されます。



- 撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります (📖 156)。

自分好みに機能を変える

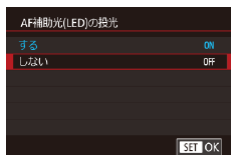
MENU の [📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖52）を参照してください。

AF 補助光（ランプ）が光らないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [AF 補助光 (LED) の投光] を選び、[しない] を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [する] を選びます。

赤目緩和機能（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ制御] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] を選び、[🔍] を押します（📖52）。



2 設定する

- [赤目緩和機能] を選んでから、[切] を選びます (52)。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

撮影直後の画像表示時間を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- [MENU] ボタンを押して、[2] タブの [撮影画像の確認時間] で目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [2 秒] を選びます。

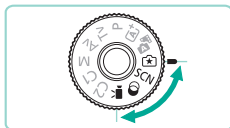
2 秒、4 秒、 8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。



- 撮影直後に画像が表示されているときに [INFO.] ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



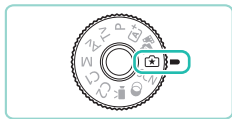
好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）

カメラ用語の知識がなくても、わかりやすい言葉で表現された項目を、画面を見ながら設定することで、背景をぼかしたり明るさを変えたりして自分好みの写真を撮ることができます。好みの設定を登録しておけば、簡単に読み込みます。また、[☆] モードで撮影された画像から、設定を反映して撮影することもできます。

[☆] モードで撮影された画像をカメラで表示すると、[☆] モードでの各設定が、カメラのどの設定に相当するかを確認できるので、クリエイティブゾーンの撮影モード（[P]、[Tv]、[Av]、[M]）にステップアップしやすくなります。

設定できるのは次の項目です。

 背景	背景の写り具合を設定できます。設定値が大きいほど背景がくっきりし、小さいほど背景がぼけた画像になります。
 明るさ	画像の明るさを設定できます。値が大きいほど明るくなります。
 コントラスト	コントラスト（明暗差）の強さを設定できます。値が大きいほどコントラストの強い画像になります。
 鮮やかさ	色の鮮やかさを設定できます。値が大きいほど鮮やかにになり、小さいほどすっきりした画像になります。
 色あい	色あいを設定できます。値が大きいほど暖色が強くなり、小さいほど寒色が強くなります。
 モノクロ	モノクロで撮影するときの色調を、[BW 白黒] [S セピア] [B 青] [P 紫] [G 緑] から選べます。[OFF] ではカラーで撮影されます。なお、[OFF] 以外にしたときは、[鮮やかさ] と [色あい] は選べません。



1 〔☆〕モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、〔☆〕にします。



2 設定する

- 〔ⓘ〕を押したあと、〔▲〕か〔▼〕を押して設定したい項目を選び、〔◀〕か〔▶〕を押すか〔歯車〕ダイヤルか〔ⓘ〕ホイールを回して設定します（[p.50](#)）。
- 設定したい項目をすべて設定したら〔MENU〕ボタンを押して撮影画面に戻ります。

3 撮影する



- ストロボ撮影時、〔背景〕は設定できません。



- 撮影画面で、横に〔歯車〕が表示されている設定項目は、撮影画面で〔歯車〕ダイヤルを回して値を変えることができます。〔▲〕か〔▼〕を押すと〔歯車〕を移動して設定する項目を変えることもできます。
- 電源を切ると、設定した内容は初期設定に戻りますが、〔カメラ 6〕の〔☆設定記憶〕を〔する〕に設定すると電源を切っても設定が保持されるようになります。



- 画面右上の〔Q〕をタッチして設定画面を表示したり、設定画面で項目をタッチして設定することもできます。〔戻る〕をタッチすると撮影画面に戻ります。

設定の登録・呼び出し

好みの設定を登録したり、登録した設定を読み込んだりして繰り返し使えます。

登録する



- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（ 88）の手順 1～2 の操作で を選んで設定します。
- を押したあと、 か を押して を選び、 か を押すか ホイールか ダイアルを回して登録先を選びます。
- 最大 6 つの設定を登録できます。
- すでに登録されている登録先を選ぶと 比較 が表示されます。この登録先を選んで **INFO.** ボタンを押している間、登録されている設定で画面が表示されるので、現在の設定と比べることができます。
- を押すと確認画面が表示されるので、 か を押すか ホイールを回して を選び、 を押します。

読み込む



- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（88）の手順 1 の操作で [★] を選びます。
- [Ⓜ] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [★] を選び、[◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールか [⚙] ダイヤルを回して読み込む設定を選びます。
- [Ⓜ] を押すと登録されている設定が反映されます。
- [–] を選んで [Ⓜ] を押すと設定を反映しないで戻ります。

画像の設定を使う

[★] モードで撮影した画像の設定を読み込んで撮影することができます。

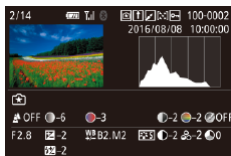


- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（88）の手順 1 の操作で [★] を選びます。
- [▶] ボタンを押して再生モードにしたあと、[★] モードで撮影した画像を選んで表示します。
- [Ⓜ] を押してメニュー項目の [★] を選び、もう一度 [Ⓜ] を押します。
- 設定が反映されて、撮影モードになります。



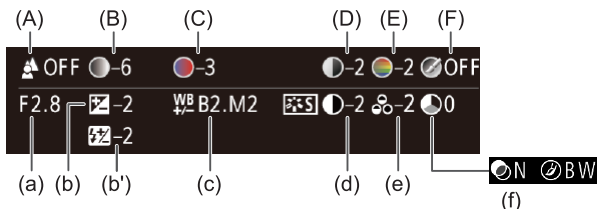
- モードダイヤルを [★] 以外にしているときに設定を反映しようとすると、メッセージが表示されますが撮影モードにはなりません。モードダイヤルを [★] にすると設定が反映されています。
- [★] モード以外で撮影した画像では [★] は表示されません。

再生について



- **[☆]** モードで撮影した画像を再生しているときに、**[INFO]** ボタンで表示を切り換えると左の画面が表示され、撮影時の設定を確認できます。

クリエイティブアシストモードとクリエイティブゾーンの設定の対応



[☆] モードの設定	クリエイティブゾーンの設定
(A) 背景	(a) 絞り数値 (165)
(B) 明るさ	(b) 露出補正 (120) ただし、ストロボ発光時は (b') 調光補正 (150)
(C) 色あい	(c) WB 補正 (128)
(D) コントラスト	(d) ピクチャースタイルのコントラスト (134)
(E) 鮮やかさ	(e) ピクチャースタイルの色の濃さ (134)
(F) モノクロ	(f) ピクチャースタイル [M] のフィルター効果と調色 (134)

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[SCN] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ] を押してメニュー項目の [, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ] を選び、撮影モードを選びます (p.50)。

3 撮影する



- モードダイヤルを [SCN] にしたあと、左上の [, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ] をタッチして撮影モードを選ぶこともできます。



人を撮る (ポートレート)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



風景を撮る (風景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 広がりのある風景などを、近くから遠くまでピントを合わせて、空や緑が鮮やかに撮影できます。



🌸 花や小物を大きく撮る (クローズアップ)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 花や小物などに近づいて大きく撮影できます。
- マクロレンズ（別売）を使うと、小さなものをより大きく写すことができます。
- 被写体に近づくことができる距離（最短撮影距離）は、取り付けられているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の「」（撮像面マーク）から被写体までの距離です。



🏊 動きのある被写体を撮る（スポーツ）

▶ 静止画 ▶ 動画

- ピントを合わせながら連続撮影ができます。



📷 三脚を使わずに夜景を撮る (手持ち夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



- [P] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [S] [P] モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度 (p123) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [P] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [P] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[P] モードではなく、[A+] モードで撮影することをおすすめします (p60)。

自分撮りに最適な設定で撮る (自分撮り)

▶ 静止画 ▶ 動画

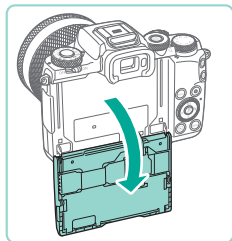
自分撮りをするときに、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。

1 [i] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」(p93) の手順 1 ～ 2 の操作で [i] を選びます。

2 モニターを開く

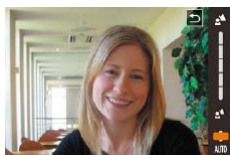
- 図のようにモニターを開きます。





3 設定する

- 設定する内容に応じて画面に表示されたアイコンをタッチします。



- 目的の項目を選びます。
- [↶] をタッチすると、もとの画面に戻ります。

4 撮影する

項目	内容
	背景のぼかし具合を [AUTO] のほか、5 段階から選ぶことができます。
	明るさを 5 段階から選ぶことができます。
	美肌の効果を 5 段階から選ぶことができます。なお、美肌の効果は主被写体と判断された人の顔が最適になるようにかかります。
	タッチシャッターを使うときは、[📷] を選びます。



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをおすすめします。



- ストロボモードを [🔋] にしているときは、[📷] は [AUTO] に固定されます。
- [📷] モードでセルフタイマーの [🕒] か [🕒] で 3 秒以上を選んでいるときは、撮影を開始すると画面の上に撮影までの秒数が表示されます。

料理を明るく鮮やかに撮る（料理）

▶ 静止画 ▶ 動画

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。

1 [☀] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」(p.93) の手順 1 ～ 2 の操作で [☀] を選びます。



2 色あいを変える

- [🌅] ダイヤルを回して色あいを変えます。

3 撮影する



- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、色あいの設定が標準設定に切り換わります。

背景が流れるようなスピード感のある画像を撮る (流し撮り)

▶ 静止画 ▶ 動画

流し撮りをすることで、背景が流れるようなスピード感のある画像を撮影することができます。

なお、モードに対応しているレンズを取り付けているときは、被写体のブレを検出して補正するため、被写体ブレを軽減することができます。モードに対応しているレンズについては、キヤノンのホームページを参照してください。

1 を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」(P93)の手順1～2の操作でを選びます。



2 撮影する

- 撮影前から被写体を追いかけるようにシャッターボタンを半押ししながらカメラを動かします。
- 動いている被写体を画面に表示している枠にとらえながら、シャッターボタンを全押しします。
- シャッターボタンを全押しした後も被写体を追い続けるようにカメラを動かします。



- モードに対応していないレンズで撮影すると、被写体のブレに対する補正はできませんが、効果のレベルにあわせたシャッター速度の自動調整のみ行います。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- 明るいシーンでは、設定しているレベルの効果が得られないことがあります。



- [🔧] ダイアルを回して効果のレベルを選ぶことができます。
- 画面をタッチしたりドラッグして表示している枠の位置を変えることができます。
- 脇をしめてカメラを両手でしっかりと構え、体全体を回すように被写体を追って撮影することをおすすめします。
- 電車や自動車など水平方向に動く被写体を撮影するとより効果が発揮されます。

逆光シーンなどで撮る（HDR 逆光補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明るいところと暗いところが混在する風景などでの黒ツブレをおさえることができます。

1 [🌅] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」(📖93) の手順 1 ～ 2 の操作で [🌅] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、3 枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。



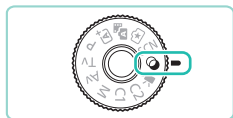
- 他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 155）。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 [📷] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[📷] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [📷] を押してメニュー項目の [📷] を選び、撮影モードを選びます (📖 50)。

3 撮影する



- モードダイヤルを [📷] にしたあと、左上の [📷] をタッチして撮影モードを選ぶこともできます。

単色で撮る（ラフモノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

1 [🎨] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（📖101）の手順1～2の操作で [🎨] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [⚙️] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👁️] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（📖101）の手順1～2の操作で [👁️] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🌞] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [🐟] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（[101](#)）の手順 1～2 の操作で [🐟] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🌞] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

油絵のような画像にする（油彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。

1 【】を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（ 101）の手順 1～2 の操作で【】を選びます。



2 効果を選ぶ

- 【】ダイヤルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

水彩画のような画像にする（水彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。

1 【】を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（ 101）の手順 1～2 の操作で【】を選びます。



2 効果を選ぶ

- 【】ダイヤルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 〔📷〕を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（📖 101）の手順 1～2 の操作で 〔📷〕を選びます。



2 色調を選ぶ

- 〔🔧〕ダイヤルを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	〔標準〕より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	〔標準〕より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [△] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（ 101）の手順 1～2 の操作で [△] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [▲] を押します。
- [INFO] ボタンを押して枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して枠の位置を変えます。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [>] ダイアルを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [>] を押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で [◀] か [▶] を押すと枠が縦になり、[◀] か [▶] を押して位置を変えられます。[▲] か [▼] を押すと枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質はビデオ方式（ 297）と静止画の縦横比（ 80）によって異なります。
 - ビデオ方式が [NTSC] のとき、縦横比を **[4:3]** にすると **[VGA 29.97P]** になります。
 - ビデオ方式が [PAL] のとき、縦横比を **[4:3]** にすると **[VGA 25.00P]** になります。



- 画面をタッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

明暗差の大きいシーンで撮る （ハイダイナミックレンジ）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（ 101）の手順 1～2 の操作で [HDR] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、3 枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。



- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 155）。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

効果をつける



- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」（ 101）の手順 1 ～ 2 の操作で「HDR」を選びます。
- ダイヤルを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ビンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

動画用のモードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [📹] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[📹] にします。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- [ⓘ] を押してメニュー項目の [📹] を選び、[📹] を選びます (📖 50)。

2 目的に応じて各機能を設定する (📖 370)

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。



- [📹] モードを選ぶと画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。



- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が再調整されます (電子音は鳴りません)。



- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、ピント位置を固定することができます。
- 撮影前や撮影中に画面上の [SERVO AF] をタッチすると、撮影中にピント位置を自動調整するか固定するかを切り換えられます (自動調整のときは [SERVO AF] の左上の○が緑色になります)。ただし、MENU の [📷 8] タブの [動画サーボ AF] (📖 66) が [しない] のときは表示されません。

明るさを固定したり変えて撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で変えられます。



- **【★】** ボタンを押すと露出が固定されます。もう一度 **【★】** ボタンを押すと解除されます。
- 画面を見ながら、露出補正ダイヤルを回して露出を変えます。

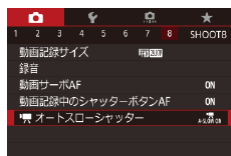


- 画面上の **【★】** をタッチすることでも露出の固定、解除ができます。
- 撮影中、画面下部の露出補正バーをタッチしたあと、**【-】** か **【+】** をタッチして露出を変えることもできます。
- タッチ操作で露出補正を行ったときの補正量は露出補正ダイヤルの設定と異なります。画面上で確認してください。

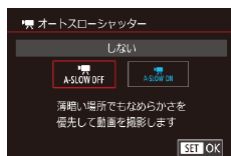
オートスローシャッターを使わない

▶ 静止画 ▶ 動画

ぎこちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなることがあります。



- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 8] タブの [オートスローシャッター] を選んだあと、[A-SLOW OFF] を選びます (p.52)。
- 戻すときは、上記の操作で [A-SLOW ON] を選びます。



- オートスローシャッターは [FHD 59.94P] [HD 59.94P] [FHD 50.00P] [HD 50.00P] で動作します。

タイムラプス動画を撮る (タイムラプス動画)

▶ 静止画 ▶ 動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。また、撮影間隔や撮影回数を変えることができます。

1 [] を選ぶ

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[] にします。
- [] を押してメニュー項目の [] を選び、[] を選びます (50)。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。



2 動画の設定をする

- [▲] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して項目を選び、目的の内容を選んだあと [MENU] ボタンを押します。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。

4 撮影する

- 動画ボタンを押すと撮影がはじまります。
- 撮影中はカメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。
- 撮影中はエコモード (298) になります。

項目	内容
撮影シーン	4 つの撮影シーンから選ぶことができます。
撮影間隔 / 回数	何秒ごとに何回撮影するかを選ぶことができます。
露出	1 枚目の露出で固定するか、撮影ごとに露出を変えるかを選ぶことができます。
レビュー表示	撮影直後の画像を最大 2 秒間再生することができます。

項目	内容
撮影所要時間	撮影に必要な時間です。撮影間隔 / 回数によって変わります。 - シーン 1：最大 1 時間 - シーン 2、3：最大 2 時間 - カスタム：最大 7 時間 30 分
動画再生時間	撮影された静止画が動画として再生される時間です。



- 動きの速い被写体を撮影すると、被写体がゆがんで写ることがあります。



- 項目の「露出」で「固定」を選んだとき、撮影前に **[✳]** ボタンを押して露出を固定することもできます。
- 音声は録音されません。
- 撮影中は 1 枚目のピント位置に固定されます。
- 動画の画質は **[FHD]** に固定されます。
- タイムラプス動画のフレームレートは、ビデオ方式 (書 297) の設定によって、**[FHD 29.97P]** (NTSC 時) または **[FHD 25.00P]** (PAL 時) に固定されます。
- MENU (書 52) の **[📷 6]** タブの「タイムラプス動画設定」でも設定することができます。

音声を設定する

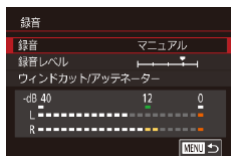
▶ 静止画 ▶ 動画

録音レベル（録音音量）を設定する

〔オート〕では録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

1 〔録音〕画面を表示する

- 〔MENU〕ボタンを押して、〔CAMERA 8〕タブの〔録音〕を選び、〔OK〕を押します（図52）。

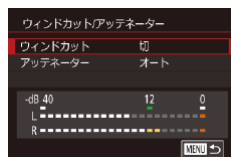


2 設定する

- 〔録音〕を選んで〔OK〕を押して表示される画面で、〔▲〕か〔▼〕を押すか〔DISC〕ホイールを回して〔マニュアル〕を選び、〔OK〕を押します。
- 〔▼〕を押して〔録音レベル〕を選び〔OK〕を押して表示された画面で、〔◀〕か〔▶〕を押すか〔DISC〕ホイールを回してレベルを設定したあと、〔OK〕を押します。
- 戻すときは、上記の操作で〔オート〕を選びます。

ウィンドカットを使わない

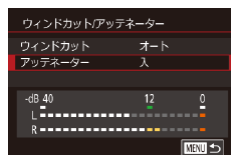
風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときに、ウィンドカットを使わないようにできます。



- 「録音レベル（録音音量）を設定する」（[115](#)）の手順1の操作で「録音」画面を表示します。
- 「ウィンドカット / アッテネーター」を選び、[\[F5\]](#)を押します。
- 「ウィンドカット」を選び、「切」を選びます。

アッテネーターを使う

「オート」では撮影シーンにあわせてアッテネーターを自動的に入れたり切ったりして、音割れを軽減します。アッテネーターは「入」または「切」に設定することもできます。



- 「録音レベル（録音音量）を設定する」（[115](#)）の手順1の操作で「録音」画面を表示します。
- 「ウィンドカット / アッテネーター」を選び、[\[F5\]](#)を押します。
- 「アッテネーター」を選び、「入」または「切」を選びます。

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖370）。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[P] にします。

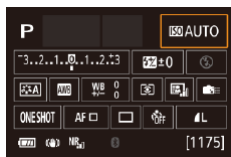
2 目的に応じて各機能を設定 (📖 120 ~ 📖 161) し、撮影する



- [P] モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、メニュー (📖 50、📖 52) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

撮影機能を一覧にして設定する

撮影機能画面を使うと、撮影機能を一覧にして素早くいろいろな機能を設定することができます。



1 撮影機能画面を表示する

- **[INFO]** ボタンを何度か押して、撮影機能画面を表示します。

2 機能を選んで設定する

- **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押して機能を選べると、機能の説明が表示されます。
- **[☀]** ダイアルか **[⦿]** ホイールを回して設定します。



- 表示される項目、設定できる項目は撮影モードによって異なります。



- 機能を選んだあと **[⦿]** を押して、画面を切り換えて設定できる機能もあります。切り換えた画面で **[INFO]** が表示される項目は、**[INFO]** ボタンを押して設定できます。**[⦿]** を押すと撮影機能画面に戻ります。



- 撮影機能画面でタッチして選んだ機能をもう一度タッチして、画面を切り換えて設定することもできます。**[↶]** をタッチすると撮影機能画面に戻ります。
- 機能の説明の右上に表示されている **[☒]** をタッチすると説明表示を閉じることができます。

明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。



- 画面の表示を見ながら、露出補正ダイヤルを回して明るさを補正します。

露出 Simulation 機能を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影される画像に近い明るさで画面に表示されるため、露出補正を行ったときも連動して画面の明るさも変わります。この機能を使わないことで、露出補正によらず撮影しやすい明るさで表示することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[CAM 1] タブの [露出 Simulation] を選び、項目の [しない] を選びます (52)。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画 ▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて [✳] ボタンを押します。
- [✳] が表示され、露出が固定されます。
- もう一度 [✳] ボタンを押すと、[✳] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [⚙] ダイアルを回すと、シャッター速度と絞り数値の組み合わせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- **[P]** を押して、メニュー項目の **[E]** を選び、目的の項目を選びます (p.50)。
- 設定した項目が表示されます。

 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に標準露出になるように自動補正します。
 部分測光	逆光などで被写体の周辺に強い光があるときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（測光枠）の範囲のみを測光します。
 スポット測光	被写体の特定の部分を測光するときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。
 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。



- **[E]** ではシャッターボタンを半押ししたときに露出が固定されます。**[P]** **[S]** **[A]** では、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- MENU (p.52) の **[5]** タブの「測光モード」でも設定することができます。

ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- [歯車] ダイアルを回して設定します。
- 設定した項目が表示されます。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッター速度が速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。
- MENU (52) の [カメラ 5] タブの [ISO 感度設定] にある [ISO 感度] でも設定することができます。

ISO オートの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

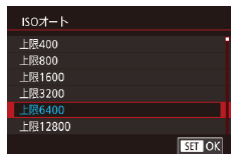
[AUTO] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ISO 感度設定] を選び、[ⓘ] を押します（📖 52）。

2 設定する

- [ISO オート] を選び、目的の項目を選びます（📖 52）。



露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に 3 枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で設定できます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[CAM 4] タブの [AEB 設定] を選び、[OK] を押します（[52](#)）。



2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して設定します。
- 解除するときは、手順 1 ～ 2 の操作で AEB の補正量を 0 にします。



- ストロボが [DISC] 以外するとき、マルチショットノイズ低減機能（[160](#)）設定時、連続撮影時、バルブ撮影時は、AEB 撮影できません。



- 露出補正（[120](#)）をしているときは、設定している値が中心になります。手順 2 の画面で露出補正ダイヤルを回して露出補正をすることもできます。

明るさ・コントラストを自動補正する （オートライティングオプティマイザ）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。



- [F] を押して、メニュー項目の [AEB] を選び、目的の項目を選びます (p.50)。



- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果が強すぎて、画像が明るすぎるときは、[弱め] または [しない] に設定して撮影してください。
- [しない] 以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、AEB 撮影による露出補正の効果が小さくなる場合があります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、[しない] に設定してください。

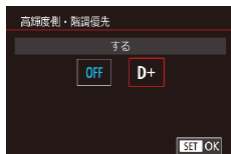


- MENU (p.52) の [カメラ 5] タブの [オートライティングオプティマイザ] でも設定できます。

明るい被写体を撮影する（高輝度側・階調優先）

▶ 静止画 ▶ 動画

高輝度（明るい）側の階調表現性を向上させることで、明るい被写体の白トビを抑えることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの「高輝度側・階調優先」を選び、[D+] を選びます（📖 52）。



- [D+] に設定すると、ISO 感度を ISO200 以下には設定できません。また、オートライティングオフタイマイザは「しない」に固定されます。

色に関する機能を使う

色あいを調整する（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- **[WB]** を押して、メニュー項目の **[WB]** を選び、目的の項目を選びます（**50**）。
- 設定した項目が表示されます。

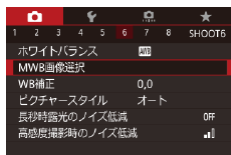
[WB]	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	日陰	日陰
	くもり	曇り空、薄暮
	白熱電球	電球
	白色蛍光灯	白色蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）
[K]	色温度	ホワイトバランスの色温度（手動設定）

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

1 白い被写体を撮影する

- 画面全体に、紙などの白い無地の被写体がくるようにします。
- 手動でピントを合わせて撮影します (146)。



2 [MWB 画像選択] を選ぶ

- [CAMERA 6] タブの [MWB 画像選択] を選び、[OK] を押します。
- MWB 画像選択画面になります。



3 白データを取り込む

- 手順 1 で撮影した画像を選び、[OK] を押します。
- 確認画面で [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- [MENU] ボタンを押してメニューを閉じます。

4 [色あいを調整する (ホワイトバランス)] を選ぶ

- 「色あいを調整する (ホワイトバランス)」 (128) の操作で [色あいを調整する (ホワイトバランス)] を選びます。





- 手順 1 で撮影した画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 手順 3 で白データの取り込みに適さない画像を指定したときは、メッセージが表示されます。画像を選びなおすときは [キャンセル] を選んでください。[OK] を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。
- 手順 3 で [指定できない画像です] と表示された時は [OK] を選んでメッセージを閉じ、画像を選びなおしてください。
- 手順 3 で [WB の設定を “” にしてください] と表示されたときは、 を押してメニュー画面に戻ったあと、 を選んでください。



- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや 18% 標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 手順 1 で撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。

ホワイトバランスを補正する

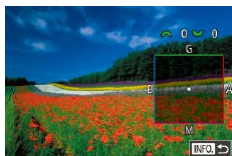
▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「色あいを調整する (ホワイトバランス)」 (書 128) の操作で、目的のホワイトバランスを選びます。
-  ダイアルを回して B、A の補正量を調整します。



2 詳細な設定をする

- さらに詳細な設定をするときは、**[INFO]** ボタンを押し、**[⚙️]** ダイアルか **[⚙️]** ダイアルを回して補正量を調整します。
- 補正量に戻すときは、**[⏮️]** ボタンを押します。
- **[⏮️]** を押すと設定されます。



- 補正量を設定したあとに手順 1 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。



- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 5 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。
- MENU (📖 52) の **[📷 6]** タブの **[WB 補正]** でも設定することができます。



- 手順 1 のバーや手順 2 の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順 1 の画面で **[INFO]** をタッチして手順 2 の画面を表示することができます。

ホワイトバランスの色温度を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスの色温度を数値で設定することができます。



- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（ 128）の操作で **[K]** を選びます。
- **[]** ボタンを押したあと **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して設定します。



- 設定できる色温度の範囲は、約 2500～10000K（100K ステップ）です。

好みの色あいにする（ピクチャースタイル）

▶ 静止画 ▶ 動画

写真表現や被写体にあわせて、好みの色あいをピクチャースタイルとして選べます。ピクチャースタイルは 8 種類あり、さらに細かく設定することもできます。



- **[P]** を押して、メニュー項目の **[P1]** を選び、目的の項目を選びます（ 50）。

 オート	撮影シーンに応じて、色あいが自動調整されます。特に自然や屋外シーン、夕景シーンでは、青空、緑、夕景が色鮮やかな写真になります。
 スタANDARD	鮮やかで、くっきりした写真になります。通常はこの設定でほとんどのシーンに対応できます。
 ポートレート	肌色がきれいで、ややくっきりした写真になります。人物をアップで写すときに効果的です。[色あい]を変えると、肌色を調整できます(134)。
 風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした写真になります。印象的な風景を写すときに効果的です。
 ディテール重視	被写体の細部の輪郭や繊細な質感の描写に適しています。やや鮮やかな写真になります。
 ニュートラル	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな写真になります。
 忠実設定	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。5200K（色温度）程度の環境光下で撮影した写真が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるように色調整されます。メリハリをおさえた落ち着いた写真になります。
 モノクロ	白黒写真になります。
   ユーザー設定	[ポートレート] や [風景]、ピクチャースタイルファイルなどの基本スタイルを登録して、好みに合わせて調整できます。



-    が未登録のときは、[オート] の初期設定と同じ設定になります。
- MENU (52) の  6] タブの [ピクチャースタイル] でも設定できます。

ピクチャスタイルを自分の好みに調整する

好みにあわせて次の設定を調整できます。

シャープネス	 強さ	輪郭線の強調レベルを調整できます。数値が小さいほど柔らかい（ぼやけた）感じに、数値が大きいほど硬い（シャープな）感じになります。
	 細かさ	強調する輪郭線の細かさを示しています。値が小さいほど、より細部が強調されやすくなります。
	 しきい値	「周囲に比べ、どの程度のコントラスト差があれば輪郭線を強調するか」の設定です。値が小さいほど、コントラスト差が少ない輪郭線が強調されやすくなります。なお、値を小さくすると、ノイズも強調されやすくなります。
 コントラスト		コントラスト（明暗差）を調整できます。数値が小さいほどコントラストが弱く、数値が大きいほど強くなります。
 色の濃さ * ¹		色の濃さを調整できます。数値が小さいほど薄く、数値が大きいほど濃くなります。
 色あい * ¹		肌の色あいを調整できます。数値が小さいほど赤めに、数値が大きいほど黄色寄りになります。

 フィルター効果 *2	モノクロの画像で白い雲や木々の緑を強調できます。 N: フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。 Ye: 青空がより自然になり、白い雲がはっきりと浮かび上がります。 Or: 青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。 R: 青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。 G: 人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっきりと明るくなります。
 調色 *2	モノクロの色を、[N: なし] [S: セピア] [B: 青] [P: 紫] [G: 緑] から選べます。

*1  では設定できません。

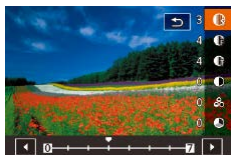
*2  でのみ設定できます。



- [シャープネス] の [細かさ] [しきい値] は、動画には反映されません。

1 設定画面を表示する

- 「好みの色あいにする（ピクチャースタイル）」（ 132）の操作で、目的のピクチャースタイルを選びます。
- **[INFO.]** ボタンを押します



2 設定する

- **[▲]** か **[▼]** を押して項目を選び、**[◀]** か **[▶]** を押すか  ホイールか  ダイアルを回して内容を選びます。
- 変更内容を戻すときは **[INFO.]** ボタンを押します。
-  を押して設定します。



- **[コントラスト]** を強くすると、**[フィルター効果]** がより強調されます。

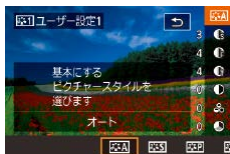
好みのピクチャースタイルを登録する

[[P]] [[L]] などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。



1 登録先のピクチャースタイルを選ぶ

- 「好みの色あいにする（ピクチャースタイル）」(P132) の操作で、[[1]] [[2]] [[3]] のどれかを選びます。



2 基本にするピクチャースタイルを選ぶ

- 「[INFO] ボタンを押します。
- 「[◀] か [▶] を押すか [ホイール] か [ダイヤル] を回して基本にするピクチャースタイルを選びます。

3 調整する

- 「[▲] か [▼] を押して調整したい内容を選び、[◀] か [▶] を押すか [ダイヤル] か [ホイール] を回して調整します。
- 「[OK] を押して設定します。



- 手順2では、ソフトウェア「EOS Utility」(P334) を使ってカメラに登録したスタイルを選ぶこともできます。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(P335) を参照してください。

ピント合わせに関する機能を使う

AF 方式を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンや被写体にあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えることができます。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [AF 方式] を選び、目的の項目を選びます (50)。



- 暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンや一部の EF レンズや EF-S レンズでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。レンズについて詳しくは、キヤノンのホームページでご確認ください。



- MENU (52) の [カメラ 3] タブの [AF 方式] でも設定できます。

1 点 AF

- 1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。



- フレームの位置を変えることができます (📖 141)。フレームの位置を変えないで被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します (フォーカスロック撮影)。
- 「マニュアルフォーカスで撮る」 (📖 146) の手順 2～4 の操作で AF フレームの位置を拡大表示することができます。なお、この操作をしているときは、タッチシャッターでは撮影できません。
- MENU (📖 52) の [📷 3] タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、フレームの大きさを小さくすることができます。このとき、サーボ AF (📖 143) およびコンティニュアス AF (📖 144) の設定はできません。

📷 + 追尾優先 AF

- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。被写体を選ぶことができます (📖 141)。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。
- 顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。



- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと【!】が表示されます。
- 画面の端で検出された顔には灰色のフレームが表示され、シャッターボタンを半押ししてもピント合わせができません。

スムーズゾーン AF

- 指定した領域内でピント合わせを行います。ピント合わせをしたい領域を指定するため、+追尾優先 AF や 1 点 AF で被写体がとらえにくいときに有効です。画面に表示される白いフレーム内でピント合わせを行います。白いフレームは、画面をタッチまたはドラッグして移動することができます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、白いフレーム内でピントが合った位置に緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと【!】が表示されます。

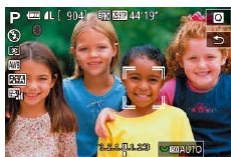


- 手ブレ補正や自動水平補正の設定によって、フレームの大きさは変わります。
- MENU (📖 52) の【📷 3】タブの【AF 動作】を【サーボ AF】に設定しているときは、ピントが合った位置に青色のフレームが表示されます。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (タッチ AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んだり、画面上の位置を指定してピントを合わせ、撮影できます。



1 ピントを合わせたい顔、被写体または位置を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。
- AF 方式が [AF □] のときは、タッチした位置に AF フレームが表示されます。
- AF 方式が [AF 顔] のときは、被写体として認識すると [顔] が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。解除するときは [↶] をタッチします。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、緑色の [] が表示されます。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。



- タッチすると撮影されるときは、MENU (52) の [カメラ 2] タブの [タッチシャッター] を選んだあと、[タッチシャッター] を [しない] にします。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。

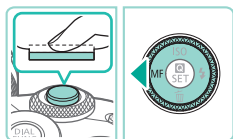


- ボタンを押して人の顔を選んだり、AF フレームを移動することもできます。
 - AF 方式が **[AF □]** のときは、 ボタンを押したあと **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押してフレームを移動させて **[Ⓢ]** を押して撮影画面に戻ります。撮影画面やフレームの移動画面で ボタンを 2 秒以上押すと、枠が画面中央に戻ります。
 - AF 方式が **[AF 目]** のときは、 ボタンを押すと **[顔セレクト：入]** が表示され、主被写体として検出された顔に が表示されます。続けて ボタンを押すと、検出された別の顔に が移動します。検出された顔を一巡すると **[顔セレクト：切]** が表示されて解除されます。
- [タッチシャッター]** を **[する]** に設定にしているとき (73) は、MENU (52) で **[2]** タブの **[タッチシャッター]** を選んでから **[撮影後の AF 枠位置]** を **[タッチした位置]** にすると、撮影後も枠の位置がタッチした位置のままになります。

AF ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

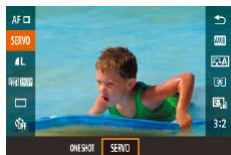
- シャッターボタンを半押ししたまま、**[◀]** を押します。
- ピントが固定され、**[MF]** が表示されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 **[◀]** を押すと、**[MF]** が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを見逃さずに撮影できます。



1 設定する

- を押して、メニュー項目の [ONE SHOT] を選び、[SERVO] を選びます (📖50)。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- ピント合わせ中は、シャッターボタンを全押ししても撮影できないことがあります。被写体を追いながらシャッターボタンの全押しを続けてください。
- ピントが合わないときはオレンジ色の AF フレームが表示されます。
- セルフタイマー (📖70) を 以外に設定すると [ONE SHOT] 固定になります。
- MENU (📖52) の 3 タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、[ONE SHOT] 固定になります。



- サーボ AF に設定すると、測光方式 (122) の設定に関わらず、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- サーボ AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影 (74) ができます。このとき、連続撮影速度が遅くなります。また、連続撮影中にズームすると、ピントがずれることがあります。
- 取り付けるレンズや被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。
- MENU (52) の [3] タブの [AF 動作] でも設定できます。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [コンティニュアス AF] を選び、[しない] を選びます (52)。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかります。



- MENU (52) の [3] タブの [AF フレームサイズ] を [小] にすると、[しない] 固定になります。

ピントを微調整する

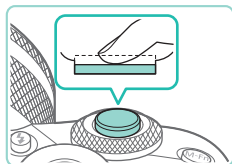
▶ 静止画 ▶ 動画

EF-M レンズを取り付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの「フォーカスモード」を選んだあと、[AF+MF] を選びます (📖 52)。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにします。

3 ピントを微調整する

- レンズのフォーカスリングを回してピントを調整します。
- [MF] が点滅表示します。
- 解除するときには、シャッターボタンから指を放します。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。

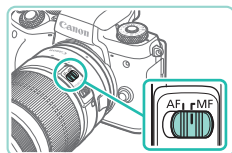


- サーボ AF (📖 143) とは一緒に使えません。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは使えません。

マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。



1 [MF] を選ぶ

- EF-M レンズを取り付けているときは [◀] を押します。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは、カメラの電源をいったん切ってから、レンズのスイッチを [MF] 側に動かし、カメラの電源を入れます。
- [MF] が表示されます。

2 拡大表示枠を表示する

- [◻] ボタンを押します。
- 画面中央に拡大表示枠が表示されます。



3 拡大表示する部分を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して枠を移動して、拡大表示する部分を選びます。
- [INFO] ボタンを押すと、枠が画面中央に戻ります。



4 拡大表示にする

- [🔍] ダイアルを回すと、1 倍（拡大解除）、5 倍、10 倍で倍率を変えられます。

5 ピントを合わせる

- 拡大表示を見ながら、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。

6 撮影する

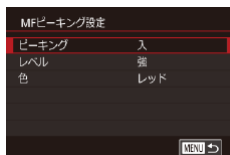


- 手順 3 の画面で枠をドラッグして拡大表示枠を移動できます。
- 画面右下に表示される [Q] をタッチして拡大率を変えたり、画面をドラッグして拡大表示位置を移動することができます。

ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをやすくすることができます。また、輪郭の検出感度 (レベル) や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [MF ピーキング設定] を選び、[ピーキング] を [入] にします (52)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (52)。



- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

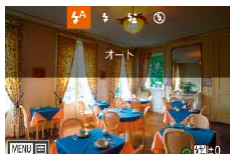
撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ」(📖 408)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [⚡] ボタンを押します。

2 設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回してストロボモードを選び、[🔍] を押します。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボがカメラに収納されていると、[▶] を押しても設定画面は表示されません。[⚡] ボタンを押してストロボを上げてから操作してください。
- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。また、ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなることがあります。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッター速度やISO感度が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。このため、ストロボ撮影時は、シャッターボタンを半押ししたときに画面に表示されるシャッター速度やISO感度と異なる設定で撮影されることがあります。
- MENU (📖 52) の [📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [ストロボの発光] で設定することもできます。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッター速度を遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [1/2] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします (p.155)。
- [1/2] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。

ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正（ 120）と同様に、1/3 段ずつ、－2 段から＋2 段の範囲で補正できます。



- ストロボを上げて、[▶] を押したあと、すぐに  ダイヤルを回して補正量を選び、 を押します。
- 設定した補正量が表示されます。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッター速度や絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENU（ 52）の  5] タブの [ストロボ制御] で [セーフティ FE] を [しない] に設定すると、自動的にシャッター速度や絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENU（ 52）の  5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で  調光補正] を選んで設定することができます。
- MENU（ 52）の [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - [▶] を 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに **[MENU]** ボタンを押す。



- MENU（ 52）の [ストロボ制御] 画面は、[▶] を押してから **[MENU]** をタッチすることでも表示できます。

FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (📖 121) と同様に固定できます。

1 ストロボを上げて、[⚡] にする (📖 148)

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、[✳] ボタンを押します。
- ストロボが発光し、[⚡*] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- もう一度 [✳] ボタンを押すと、[⚡*] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

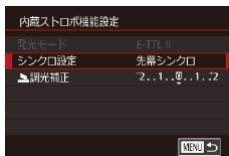


- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。
- FE ロック中は、画面中央に調光範囲を示す円が表示されます。
- 手順 2 でストロボが発光しても標準露出にならないときは、[⚡*] が点滅します。ストロボ撮影に適した距離で手順 2 を行ってください。

ストロボ発光のタイミングを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] を選びます。
- [シンクロ設定] を選んでから、目的の項目を選びます (📖 52)。

先幕シンクロ	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕シンクロ	撮影終了直前にストロボが発光します。



- シャッター速度が 1/100 またはそれより速いときは、[後幕シンクロ] を選んでいても、ストロボは [先幕シンクロ] の設定で発光します。

調光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時、標準的なストロボ露出が得られる [評価調光] で調光されますが、外部調光ストロボのように測光領域全体を平均的に測光するように調光方式を変えることもできます。



- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ストロボ制御] にある [E-TTL II 調光方式] を選んでから、[平均調光] を選びます。



- [平均調光] では、撮影シーンに応じてストロボ調光補正を行ってください。

ストロボの設定を初期化する

▶ 静止画 ▶ 動画

〔内蔵ストロボ機能設定〕の設定を初期化できます。

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [設定初期化] を選びます。
- [内蔵ストロボ設定初期化] を選び、[⏏] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🔄] ホイールを回して [OK] を選び、[⏏] を押します。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

サブ電子ダイヤルで設定する機能を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

〔〕 ボタンを押すたびに、〔〕 ダイヤルで設定できる機能を変えることができます。

1 機能を選ぶ

- 〔〕 ボタンを押します。
- 〔〕 ダイヤルで設定する機能のアイコン(1)が表示されます。



(1)

2 項目を設定する

- 画面に機能のアイコンが表示されている間に〔〕ダイヤルを回して、目的の項目を設定します。
- 目的の項目を設定したあと、機能は標準設定に戻ります。



- 〔〕 ボタンを押して変えた機能は、項目を設定しないときも一定時間で標準設定に戻ります。



- 〔〕 ボタンを押して変わる機能は、「サブ電子ダイヤルの機能を登録する」(181)で変更することができます。
- 〔〕 〔〕 モードでは、機能の設定はできません。
- 〔〕 モードの動画撮影中に選べる機能は、〔**Av**〕〔**Tv**〕〔**ISO**〕になります。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

手ブレ補正機能のある EF-M レンズを取り付けているときは、MENU で手ブレ補正を設定できます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [手ブレ補正設定] を選び、[] を押します (📖52)。

2 設定する

- [手ブレ補正] を選んでから、目的の項目を選びます (📖52)。

入	手ブレ補正機能を内蔵したレンズで、撮影するときのカメラの動きや手の揺れによるブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは、[手ブレ補正] は表示されません。レンズにある手ブレ補正スイッチで設定してください (📖35)。

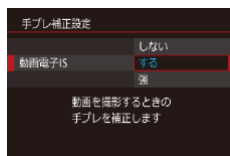


- 手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。IS は、Image Stabilizer (イメージスタビライザー) の略で、手ブレ補正機能のことです。

動画の手ブレを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影時の手ブレを、カメラの手ブレ補正機能で補正します。手ブレ補正機能がないレンズを装着していても手ブレ補正することができます。コンビネーション IS 対応レンズでは、レンズの手ブレ補正機能とカメラの動画手ブレ補正機能が協調し、より高い補正効果が得られます。コンビネーション IS 対応レンズの情報については、キヤノンのホームページを参照してください。



- 「手ブレ補正の設定を変える」(📖155)の手順 1 の操作で「手ブレ補正設定」画面を表示します。
- 「動画電子 IS」を選んでから、目的の項目を選びます (📖52)。

する	(コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレを補正します。画面に表示される範囲が変わり被写体がやや大きくなります。
強	(コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレをより強く補正します。被写体は、より大きくなります。
しない	OFF	—



- お使いのレンズによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- [強] は、 モードでのみ設定できます。
- [動画電子 IS] を [する] または [強] に設定すると、 自動水平補正 は [しない] に固定されます。

レンズの光学特性による影響を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの特性によって、画像の四隅が暗くなったり、被写体の輪郭部分の色がにじんだり、絞りの影響により画像の先鋭さが低下するなどの現象が起こることがあり、これらを補正することができます。

なお、設定画面に「補正データなし」と表示されたときは、補正するためのデータがカメラに登録されていません。補正データの登録については、「レンズの補正データについて」(P158)を参照してください。

1 「レンズ光学補正」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの「レンズ光学補正」を選び、項目を選びます (P52)。



2 補正データが登録されていることを確認する

- レンズ名の下に「補正データあり」と表示されていることを確認します。

3 補正内容を設定する

- 項目を選んで [F] を押し、内容を設定します (P52)。



- 「周辺光量補正」を「する」に設定したときは、撮影条件により、画像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 「回折補正」を「する」に設定したときは、次のことに注意してください。
 - 撮影条件によっては、補正効果とともにノイズが強調されることがあります。
 - ISO 感度が高くなるほど、補正量が小さくなります。
 - 動画の撮影では補正されません。



- [周辺光量補正] の効果は、ソフトウェア「Digital Photo Professional」で最大補正を行ったときよりもやや控えめに補正されます。
- ISO 感度が高くなるほど、周辺光量の補正量は少なくなります。
- [回折補正] は、回折現象だけでなくローパスフィルターなどの影響による解像劣化も補正されます。そのため、開放絞り付近でも補正効果があります。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(📖 335) を参照してください。

レンズの補正データについて

レンズ光学補正に対応しているレンズの補正用データは、カメラに登録(保存)されています。[周辺光量補正] と [色収差補正] で [する] を選んでおくと、自動的に補正が行われます。

ソフトウェア「EOS Utility」を使用すると、登録されているレンズが確認できます。また、未登録レンズの補正データをカメラに登録することもできます。詳しくは、EOS Utility 使用説明書 (📖 335) を参照してください。

* EF-M レンズや補正データが内蔵されている EF レンズは登録する必要はありません。



- 撮影した JPEG 画像を後から補正することはできません。
- 撮影時に拡大表示を行ったときは、周辺光量補正と色収差補正の効果は画像に反映されません。なお、回折補正の効果は、撮影時の画像には反映されません。
- 距離情報を持たないレンズを使用したときは、補正量が少なくなります(回折補正を除く)。



- レンズ光学補正の効果は、使用レンズや撮影条件などにより異なります。また、使用レンズや撮影条件などにより、効果が分かりにくいことがあります。
- 補正の効果が分かりにくいときは、撮影後に画像を拡大して確認することをおすすめします。
- 補正データがカメラに登録されていないレンズで撮影したときは、[周辺光量補正] と [色収差補正] で [しない] を選んだときと同じ撮影結果になります。

ノイズ低減の強さを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ノイズ低減の強さを [弱め] [標準] [強め] の 3 種類から選べます。特に高い ISO 感度で撮影するときには有効です。



- [MENU] ボタンを押して [📷 6] タブの [高感度撮影時のノイズ低減] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖 52)。

マルチショットノイズ低減機能を使う

1 回の撮影で 4 枚連続撮影して自動的に画像合成を行うことで、[高感度撮影時のノイズ低減] の [強め] より高画質なノイズ低減処理を行うことができます。

1 [NR] を選ぶ

- 「[ノイズ低減の強さを変える] (📖159) の手順で [NR] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、4 枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。



- 手ブレなどにより画像のズレ量が大きいときは、思いどおりの効果が得られないことがあります。三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 撮影条件によっては、画像周辺部にノイズが発生することがあります。
- AEB、[長秒時露光のノイズ低減]、RAW 画像撮影時、バルブ撮影時は設定できません。また、これらがすでに設定されているときは [マルチショットノイズ低減機能] は設定できません。
- ストロボ撮影はできません。
- 通常の撮影よりも、カードに画像が記録されるまでの時間が長くなります。処理が終わるまで次の撮影はできません。

シャッター速度が遅いときのノイズを低減する

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッター速度が 1 秒またはそれより遅いときに、長秒時露光で発生するノイズを低減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 6] タブの「長秒時露光のノイズ低減」を選び、項目を選びます (📖 52)。

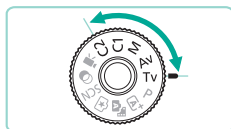
OFF (しない)	長秒時露光時のノイズ低減処理をしません。
AUTO (自動)	シャッター速度が 1 秒またはそれより遅い撮影で長秒時露光特有のノイズが検出されたときに、ノイズ低減の処理をします。
ON (する)	シャッター速度が 1 秒またはそれより遅い撮影で、必ずノイズ低減の処理をします。



- 撮影後にノイズ低減処理が行われると、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ISO1600 以上の感度で [ON] に設定して撮影すると、[OFF] [AUTO] 設定時より粗い画像になることがあります。

Tv、Av、M、C1、C2モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッター速度を決めて撮る（[Tv] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッター速度を目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッター速度に応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。

設定できるシャッター速度は「シャッター」（[書408](#)）を参照してください。



1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、**[Tv]** にします。

2 シャッター速度を設定する

-  ダイヤルを回してシャッター速度を設定します。



- [長秒時露光のノイズ低減] を [ON] または [AUTO] に設定していると、シャッター速度を 1 秒またはそれより遅くして撮影したときに、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までしばらく時間がかかることがあります。
- シャッター速度を遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（[書155](#)）。
- ストロボ発光時のシャッター速度の上限は 1/200 秒です。1/200 秒より速いシャッター速度に設定しても、1/200 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッター速度を変えます（セーフティシフトも使えます（[書176](#)））。



- **[Tv]** は、Time value（タイムバリュー）の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る([Av]モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッター速度を設定します。

設定できる絞り数値はレンズによって異なります。



1 [Av] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、**[Av]** にします。

2 絞り数値を設定する

-  ダイヤルを回して絞り数値を設定します。



- シャッターボタンを半押ししたときにシャッター速度がオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。シャッター速度が白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（[176](#)））。
- ストロボ発光時のシャッター速度上限は 1/200 秒です。ストロボ撮影時は、シャッター速度が 1/200 秒より速いシャッター速度にならないように、設定した絞り数値が自動的に変わることがあります。



- [Av]** は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。

ピントの合う範囲を確認する

絞りは撮影しないときは開いていて、撮影の瞬間だけ大きさが変わります。このため、画面で見えるピントの合う範囲は狭く（浅く）なっています。ボタンに （絞り込み）を登録する（[178](#)）と、登録したボタンを押したときにピントの合う範囲が確認できるようになります。

シャッター速度と絞り数値を決めて撮る（[M] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッター速度と絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。設定できるシャッター速度は「シャッター」（[p.408](#)）を参照してください。設定できる絞り数値はレンズによって異なります。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[M] にします。



(1) (2) (3)
(4)
(5)

2 設定する

- [] ダイヤルを回してシャッター速度 (1) を設定します。
- [] ダイヤルを回して絞り数値 (2) を設定します。
- [] を押したあと [] ホイールを回してISO感度 (3) を設定します。
- ISO感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマーク (5) が移動し、標準露出 (4) からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越え、露出レベルマークが[◀] または [▶] になります。
- ISO感度が[AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しするとISO感度が決まって画面の明るさが変わります。設定したシャッター速度と絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO感度がオレンジ色で表示されます。



- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッター速度と絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [⚡] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッター速度と絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思いどおりの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティングオブティマイザ (📖 126) によって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティングオブティマイザの設定画面で [INFO.] ボタンを押して [マニュアル露出時は OFF] に [✓] を付けると、[M] モードではオートライティングオブティマイザが [しない] 固定になります。



- [M] は、Manual (マニュアル) の略です。
- 標準露出は設定している測光方式 (📖 122) で算出されます。
- [☉] ホイールを回してシャッター速度、[☀️] ダイアルを回して絞り数値を変えるようにも設定できます (📖 178)。
- ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは次の操作が行えます。
 - 露出補正ダイヤルを回して露出を補正できます。
 - [✖] ボタンを押すと、ISO 感度が固定されて画面の明るさが変わります。



- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、バーをタッチしたりドラッグするか、[◀] か [▶] をタッチして設定することもできます。

長時間露光（バルブ）撮影

バルブ撮影は、シャッターボタンを押している間だけ露光を行う機能です。

1 バルブ撮影に設定する

- 「シャッター速度と絞り数値を決めて撮る（[M] モード）」（ 166）の手順 1 ～ 2 の操作で、シャッター速度を [BULB] に設定します。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 155）。
- 長時間のバルブ撮影を行うと、画像に含まれるノイズが多くなり粗い画像になることがあります。[長秒時露光のノイズ低減] を [AUTO] または [ON] に設定するとノイズを低減できます（ 161）。



- リモコン（別売）を使ってバルブ撮影を行うこともできます（ 324）。



- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

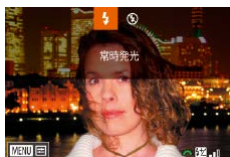
ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

[Tv] [Av] [M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 発光モードを [マニュアル発光] にする

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] を選んだあと、[内蔵ストロボ機能設定] にある [発光モード] を [マニュアル発光] に設定します (📖 52)。



2 設定する

- ストロボを上げて [▶] を押したあと、すぐに [⚙️] ダイアルを回して発光量を選び、[OK] を押します。
- 設定されると発光量が表示されます。
[🔆] : 小、[🔆🔆] : 中、[🔆🔆🔆] : 大



- ストロボ発光量は、MENU (📖 52) の [📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で [🔆発光量] を選んで設定することができます。
- MENU (📖 52) の [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - [▶] を 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押す。



- MENU (📖 52) の [ストロボ制御] 画面は、[▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

シャッター速度と絞り数値を決めて動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッター速度、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。設定できるシャッター速度は「シャッター」(408) を参照してください。設定できる絞り数値はレンズによって異なります。

1 [P] モードにする

- モードダイヤルロック解除ボタンを押しながらモードダイヤルを回して、[P] にします。
- [Q] を押してメニュー項目の [P] を選び、[P] を選びます (50)。



2 設定する

- シャッター速度は [S] ダイアルを回して設定します。
- 絞り数値は [A] ダイアルを回して設定します。
- ISO 感度は [▲] を押したあと [ISO] ホイールを回して設定します。



- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッター速度によっては、画面のちらつきが記録されることがあります。
- 絞り数値が大きいときは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。



- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度を確認できます。設定したシャッター速度と絞り数値で標準露出を得られないときは、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。



- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、バーをタッチしたりドラッグするか、[◀] か [▶] をタッチして設定することもできます。
- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、ピント位置が固定されます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

情報の表示内容を設定する

撮影画面で [INFO.] ボタンを押したときに切り換える画面を設定します。表示する情報をカスタマイズすることもできます。

1 設定画面を表示する

- [📷 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [モニター情報表示カスタマイズ] または [ファインダー情報表示カスタマイズ] を選び [ⓘ] を押します (📖 52)。



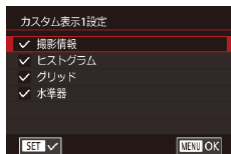
2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して表示させない画面表示を選び [ⓘ] を押して [✓] を外します。もう一度 [ⓘ] を押すと [✓] が付いて表示されるようになります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- すべての [✓] をはずしたり、[撮影機能画面] だけ [✓] を付ける設定にはできません。

表示する情報をカスタマイズする



- 「情報の表示内容を設定する」(172)の手順 1 ～ 2 の操作で [カスタム表示 1] または [カスタム表示 2] を選び、[INFO.] ボタンを押します。
- [▲] か [▼] を押すか [DISP.] ホイールを回して表示させる情報表示を選び、[DISP.] を押して [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押して [モニター情報表示カスタマイズ] または [ファインダー情報表示カスタマイズ] 画面に戻ると、表示イメージを確認できます。



- [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [グリッド] で、より細かいグリッドに変えることができます。
- [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [ヒストグラム] で次の設定ができます。
 - 表示するヒストグラムを輝度ヒストグラムから RGB ヒストグラムに変える。
 - 表示するヒストグラムの大きさを小さくする。

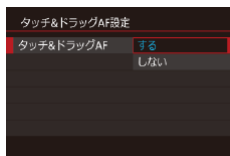
タッチ&ドラッグ AF の機能を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

タッチ&ドラッグ AF を設定すると、ファインダーを見ながら画面をタッチしたりドラッグしたりして AF フレームを移動することができます。

1 設定画面を表示する

- [📷 2] タブの [タッチ&ドラッグ AF 設定] を選び [🔍] を押します (📖 52)。



2 設定する

- [タッチ&ドラッグ AF] を選んだあと、[する] を選び、[🔍] ボタンを押します。

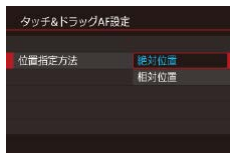


- 次のときは機能が使えません。
 - 画面を約 180° まで開いている。
 - MENU (📖 52) の [👉 3] タブにある [タッチ操作] を [しない] にしている。
- 画面をタッチしたままファインダーに表示を切り換えたときは、AF フレームが正しく表示されないことがあります。そのときは、画面から指を放し、タッチしなおしてください。



- [🔍] ボタンを押しても、タッチ&ドラッグ AF の設定を変えることができます。

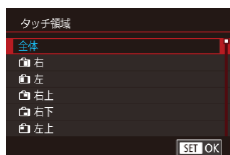
タッチやドラッグ操作の設定を変更する



- 「タッチ＆ドラッグ AF の機能を設定する」(174) の手順 1 の操作で「位置指定方法」を選び、目的の項目を選びます。

絶対位置	画面をタッチやドラッグした位置に AF フレームが移動します。
相対位置	画面の位置に関係なく、ドラッグした方向と移動量に応じて AF フレームが移動します。

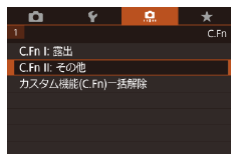
タッチやドラッグ操作が有効となる画面の領域を変更する



- 「タッチ＆ドラッグ AF の機能を設定する」(174) の手順 1 の操作で「タッチ領域」を選びます。
- 有効にしたい領域の項目を選びます。

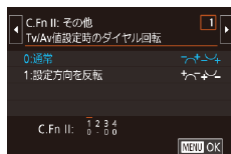
カメラの詳細機能を設定する

MENU (📖 52) の [点 1] タブでは、撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更できます。また、よく使う機能を電子ダイヤル、コントローラーホイール、ボタンに登録することができます。



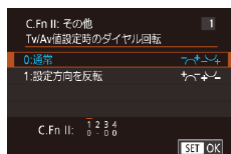
1 機能の分類を選ぶ

- [MENU] ボタンを押したあと、[点 1] タブを選びます (📖 52)。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して機能の分類 (露出、その他) を選び、[🔍] を押します。



2 機能を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⚙️] ダイアルか [🌀] ホイールを回して機能を選び、[🔍] を押します。



3 内容を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して内容を選びます。
- [🔍] を押すと設定されて前の画面に戻ります。

機能の分類	機能	説明
露出	ISO 感度拡張	[P] モードのときに [1: する] に設置すると、ISO 感度を [H] に設定できるようになります。[H] は ISO12800 相当です。
	セーフティシフト	[1: する] に設定すると、[Tv] [Av] モードで設定したシャッター速度や絞り数値で標準露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッター速度や絞り数値が変更されるようになります。
その他	Tv/Av 値設定時のダイヤル回転	[1: 設定方向を反転] に設定すると、[Tv] [Av] [P] モードでシャッター速度や絞り数値を設定する [太陽] ダイヤル、[歯車] ダイヤル、[歯車] ホイールの設定方向を逆にすることができます。
	操作ボタン カスタマイズ	よく使う機能を電子ダイヤル、コントローラーホイール、ボタンに登録することができます (p.178)。
	レンズなしリリース	[1: する] に設定すると、カメラにレンズを取り付けていなくても、シャッターボタンを全押ししたときや動画ボタンを押したときに画像を撮影するようになります。
	電源オフ時のレンズ収納	電源を切ったときに、自動的にレンズを収納するかどうかを設定できます。



- 手順 1 の画面で [カスタム機能 (C.Fn) 一括解除] を選んだあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選んでから [●] を押すと、[● 1] タブで変更した機能をすべて解除し、初期状態に戻すことができます。
- [ISO 感度拡張] を [1: する] にしていても、[高輝度側・階調優先] を [D+] に設定しているとき (P.127) は、[H] を選べません。
- セイフティシフトは、ストロボ発光時は機能しません。
- 電源を切ったときにレンズが自動収納されるタイプのレンズについて、収納の設定をすることができます。

ボタン、ダイヤル、ホイールに機能を登録する

シャッターボタン / [✳] ボタンや [☀] ダイヤル / [●] ホイール / [☀] ダイヤルの機能を変えたり、[M-Fn] ボタンや動画ボタンなどによく使う機能を登録することができます。

1 登録画面を表示する

- 「カメラの詳細機能を設定する」(P.176) の手順 1～2 の操作で、[その他] の [操作ボタン カスタマイズ] を選びます。



2 登録する

- [▲] [▼] を押すか [☀] ダイヤルか [●] ホイールを回して、登録先のダイヤル / ホイールやボタンを選び、[●] を押します。
- シャッターボタン / [✳] ボタンに登録するときは、[▲] [▼] を押すか [●] ホイールを回して機能を選びます。
- [☀] ダイヤル / [●] ホイール / [☀] ダイヤルに登録するときは、[ダイヤル / ホイール] を選んだあと、機能を選びます。

-  ダイヤルに登録するときは、「サブ電子ダイヤルの機能を登録する」(181)を参照してください。
- [M-Fn] ボタン、動画ボタン、タッチ & ドラッグ AF 機能切り換えボタン、[ISO] ボタン、 ボタン、[MF] ボタン、 ボタンに登録するときは、    を押すか  ダイヤルか  ホイールを回して機能を選びます。
-  を押すと設定されて元の画面に戻ります。

シャッターボタン / [※] ボタン	[AF/AE ロック]	シャッターボタンを半押しするとピントを合わせ、[※] ボタンを押すと露出を固定することができます。
	[AE ロック /AF]	シャッターボタンを半押しすると露出を固定し、[※] ボタンを押してピントを合わせることができます。
	[AF/AF ロック (AE ロックなし)]	[※] ボタンを押してピント位置を固定することができます。
	[AE/AF (AE ロックなし)]	シャッターボタンを半押しすると露出補正、[※] ボタンを押してピントを合わせることができます。
 ダイヤル /  ホイール	[Av/Tv] に設定すると、[M] モードのとき  ダイヤルで絞り数値、  ホイールでシャッター速度を設定します。	

  ボタン	[Tv] [Av] [P] [M] [Pv] モードで [Fn] ボタンを押したときに選べる機能と並 びを設定します。
[M-Fn] ボタン	ボタンを押したときに登録した機能が呼び出 せるようになります。
動画ボタン	
タッチ & ドラッグ AF 機能切り換えボタン	
[▲] ([ISO]) ボタン	
[▼] ([1/250]) ボタン	
[◀] ([MF]) ボタン	
[▶] ([1/250]) ボタン	



- **[M-Fn]** ボタン、動画ボタン、タッチ & ドラッグ AF 機能切り換えボタン、**[ISO]** ボタン、**[1/250]** ボタン、**[MF]** ボタン、**[1/250]** ボタンを初期状態に戻すときは、**[OFF]** **[Pv]** **[Fn]** **[ISO]** **[OFF]** **[MF]** **[1/250]** を選びます。
- ボタンに機能を登録したくないときは、**[OFF]** を選びます。
- ボタンの登録画面で、アイコンの右下の **[X]** は、設定している機能の状態では使えないことを示しています。
- **[Pv]** を登録すると、ボタンを押すたびに RAW 画像を同時撮影するかどうか切り換わります。
- **[1/250]** を登録すると、ボタンを押している間、設定した絞り数値になり、ピントの合う範囲が確認できます。
- **[Fn]** を登録すると、ボタンを押すと画面の表示が消えます。

サブ電子ダイヤルの機能を登録する

[] ボタンを押して変えることができる [] ダイアルの機能を追加したり、並び変えたりすることができます。

1 登録画面を表示する

- 「ボタン、ダイヤル、ホイールに機能を登録する」(P.178)の手順1～2の操作で、[] 機能登録] を選びます。



2 登録する

- 「登録」を選び、[] を押します。
- [] [] を押して撮影モードを選びます。
- [] [] を押すか [] ホイールを回して登録したい機能を選び、[] を押しします。
- [] が表示されます。
- 登録を解除するときは、[] を押して [] を消します。
- [MENU] ボタンを押します。



3 機能の表示順を変える

- 「並べ換え」を選び、[] を押します。
- [] [] を押して撮影モードを選びます。
- [] [] を押すか [] ホイールを回して表示順を変えたい機能を選び、[] を押しします。
- [] [] を押すか [] ホイールを回して表示順を変え、[] を押しします。
- [標準] の表示がある機能が、撮影時の標準設定になります。
- [MENU] ボタンを押します。



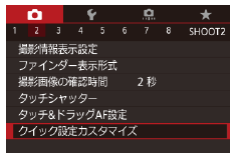
- [登録] の画面では、タッチして登録 / 解除する項目を選ぶこともできます。
- [並べ換え] の画面では、項目をドラッグして表示順を変えることもできます。

クイック設定メニューの表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

クイック設定メニューで表示するメニュー項目を自分好みに変えることができます。

表示するメニュー項目を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 2] タブの[クイック設定カスタマイズ]を選び、[SET] を押します (P.52)。



2 表示するアイコンを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか、[DISP.] ホイールを回してアイコンを選び、[SET] を押してクイックメニューに表示させたいアイコンに [✓] を付けます。
- [✓] のある項目が表示されるようになります。
- [✓] のない機能は、メニュー画面の [CAMERA] タブで設定します。

3 設定する

- [MENU] ボタンを押したあと [◀] か [▶] を押すか、[●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



- 表示できる項目は最大 11 個です。
- クイックメニューが表示されているときに [Ⓜ] ボタンを押したままにしても、手順 2 の画面を表示することができます。



- 手順 2 の画面でアイコンをタッチしても選ぶことができます。

メニュー項目の表示順を変える



1 設定画面を表示する

- 「表示するメニュー項目を選ぶ」の手順 2 (182) の画面で [INFO.] ボタンを押します。
- [▲] か [▼] を押すか、[●] ホイールを回して入れ換えたいアイコンを選び、[Ⓜ] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか、[●] ホイールを回して入れたい場所で [Ⓜ] を押します。

2 設定する

- [MENU] ボタンを押したあと [◀] か [▶] を押すか、[●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



- アイコンをドラッグしても入れ換えることができます。

撮影の設定を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを[C1] [C2]にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定（セルフタイマーなど）も記憶します。

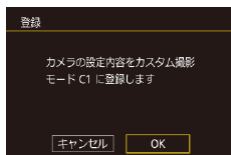
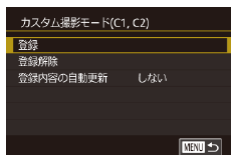
登録できる設定

- 撮影モード（[P] [Tv] [Av] [M]）
- [P] [Tv] [Av] [M] モードで設定できる項目（📖 120 ~ 📖 166）
- 撮影メニューの設定内容
- マイメニューの設定内容（📖 186）

1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

2 登録画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの[カスタム撮影モード (C1, C2)]を選び、[OK] を押します。



3 登録する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [登録] を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して登録するカスタム撮影モードを選び、[●] を押します。
- 確認画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。



- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、[C1] [C2] を選んで設定を変え、もう一度手順 2 ～ 3 を行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。



- 登録した設定を初期状態に戻すときは、手順 3 の画面で [登録解除] を選んで [●] を押したあと、カスタム撮影モードを選びます。確認画面が表示されるので、[OK] を選んで [●] を押します。
- 手順 3 の画面で [登録内容の自動更新] を [する] に設定すると、[C1] [C2] モードで撮影しているときに、設定変更した内容を登録内容に自動反映することができます。

よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影メニューの項目を、[★ 1] タブに 6 項目まで登録できます。
[★ 1] タブに登録すると、項目を 1 つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[★ 1] タブの「マイメニュータブの追加」を選んだあと、[SET] を押します (52)。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- [★ 1] タブの「設定 MY MENU1」を選んだあと、[SET] を押します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して「登録項目の選択」を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して登録したい撮影メニュー項目（6 つまで）を選び、[SET] を押します。
- [✓] が表示されます。
- 登録を解除するときは、[SET] を押して [✓] を消します。
- [MENU] ボタンを押します。



3 項目の表示順を変える

- [▲] か [▼] を押すか [●] を回して [登録項目の並べ替え] を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] を回して表示順を変えたい項目を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示順を変え、[●] を押します。
- [MENU] ボタンを押します。



- 手順 2 で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。

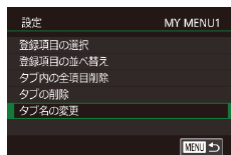


- 手順 1 を繰り返すと [★ 5] まで追加することができます。
- 手順 2 の画面で [タブ内の全項目削除] を選ぶと、タブに登録したすべての項目が削除されます。



- [登録項目の選択] の画面では、タッチして登録 / 解除する項目を選ぶこともできます。
- [登録項目の並べ替え] の画面では、項目をドラッグして表示順を変えることもできます。

マイメニュータブのタブ名を変更する



1 [タブ名の変更] を選ぶ

- 「よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）」（ 186）の手順 2 の操作で [タブ名の変更] を選び、 を押します。

2 タブ名を変更する

- 表示されたキーボードでタブ名を入力しなおします（ 55）。
- 「[◀] か [▶] を押すか」 ホイールを回して [はい] を選び、 を押します。

マイメニュータブを削除する



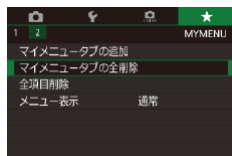
1 [タブの削除] を選ぶ

- 「よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）」（ 186）の手順 2 の操作で [タブの削除] を選び、 を押します。

2 削除する

- 「[◀] か [▶] を押すか」 ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。

マイメニュータブまたは登録されている項目をすべて削除する



1 項目を選ぶ

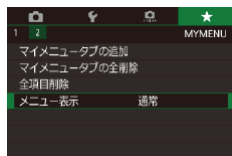
- 「よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）」（[186](#)）の手順 1 の画面で「マイメニュータブの全削除」または「全項目削除」を選びます。

2 削除する

- 「マイメニュータブの全削除」を選ぶと、すべてのマイメニュータブが削除され、[★] タブが初期状態に戻ります。
- 「全項目削除」を選ぶと、[★ 1] ～ [★ 5] タブに登録されているすべての項目が削除されます。

マイメニュータブの表示を設定する

撮影モードで [MENU] ボタンを押したときに表示する画面を設定することができます。



- 「よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）」（[186](#)）の手順 1 の画面で「メニュー表示」を選び、目的の項目を選びます。

通常表示	前回の操作で最後に表示していたメニュー画面が表示されます。
マイメニュータブから表示	[★] タブの画面から表示されます。
マイメニュータブのみ表示	[★] タブの画面だけが表示されます。

再生モード

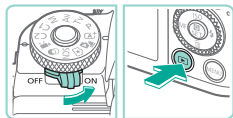
撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

撮影した画像を画面で見ることができます。



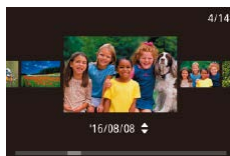
1 再生モードにする

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

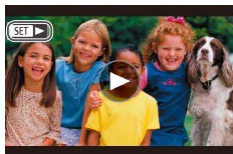


2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [SET] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。





3 動画を再生する

- [⏮] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⏮] を押すと再生がはじまります。



(1)

4 音量を調整する

- [▲] か [▼] を押して調節します。
- 音量バー (1) が消えても、[▲] か [▼] を押して調節することができます。

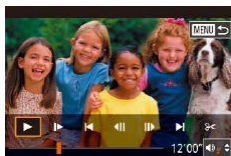
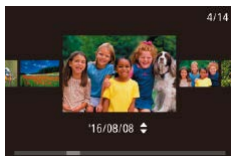
5 一時停止する

- [⏸] を押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生が終わると [SET ▶] が表示されます。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- RAW 画像を表示したとき、縦横比 [16:9] で撮影した画像には画面の上下に、縦横比 [4:3] [1:1] で撮影した画像には画面の左右に、縦横比の目安となる白い線が表示されます。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖 52) で [▶ 4] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖 52) で [▶ 5] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖 52) で [▶ 4] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

画面をタッチして操作する



- 画面を左方向にドラッグ（指を画面に触れたまま移動）すると、次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。
- 連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。
- スクロール再生でも、画面を左右にドラッグして画像を選べます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 「見る」(📖 192) の手順 3 で [▶] をタッチすると、動画の再生がはじまります。
- 動画の再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。
- 動画の再生中に画面をタッチすると停止してこの画面が表示され、次の操作ができるようになります。
 - [🔊] をタッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。
 - スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。
 - [⏮] をタッチすると再開されます。
 - [↺] をタッチすると「見る」(📖 192) の手順 2 の画面に戻ります。

表示を切り換える

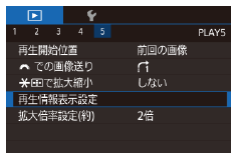
再生モードで [INFO.] ボタンを押すと、情報表示なしの状態から、情報表示 1（簡易情報表示）、情報表示 2（詳細情報表示）の順に切り換えることができます。



- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

表示する撮影情報を設定する

切り換える画面表示を設定できます。それぞれの画面表示の内容については、「再生時」(P366) を参照してください。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 5] タブの [再生情報表示設定] を選び [OK] を押します。



2 情報表示を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [DISC] ホイールを回して表示させたい情報表示を選び、[OK] を押して [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- [★] モードの設定内容を表示するときは [情報表示 2] に [✓] を付けてください。[INFO.] ボタンを押したときに、[★] モードの設定内容、[情報表示 2] の順に表示されるようになります。

高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

画像上の白トビした部分を点滅表示することができます。

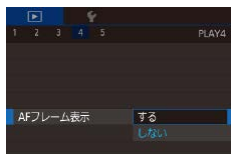


- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [ハイライト警告] を選び、[する] を選びます。

AF フレーム表示

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時にピント合わせを行った AF フレームを赤い枠で表示することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [AF フレーム表示] を選び、[する] を選びます。

グリッド

▶ 静止画 ▶ 動画

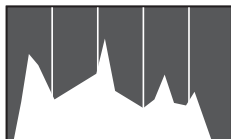
グリッドを表示することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [再生時のグリッド] を選び、目的の項目を選びます。

輝度ヒストグラム

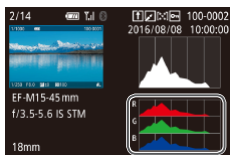
▶ 静止画 ▶ 動画



- 情報表示 2～8 の画面上部に表示されるグラフは、画像中の明るさの分布を示した輝度ヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

RGB ヒストグラム

▶ 静止画 ▶ 動画



- 情報表示 3 には、画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示していて、色の傾向を確認できます。



- 情報表示 2～8 の画面上部に RGB ヒストグラムを表示させることもできます。[▶ 5] タブの [再生情報表示設定] の設定画面で情報表示 2～8 を選んで [INFO] ボタンを押したあと、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [RGB] を選び、[Ⓢ] を押してください。なお、このときは情報表示 3 の画面下部に輝度ヒストグラムが表示されるようになります。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます (📖 364)。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

〔〕モード（ 63）で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- 〔〕モードで撮影した静止画には〔**SET** 〕が表示されます。
- 〔**SET** 〕が表示された静止画を選び〔〕を押します。



2 短編動画を再生する

- 〔〕を押して、メニュー項目の〔〕を選びます（ 50）。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。



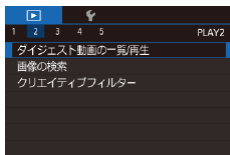
- 情報表示なし（ 195）にしているときは、一定時間で〔**SET** 〕が消えます。



- 手順1の画面で〔**SET** 〕をタッチしたあと、手順2の画面で〔**SET**〕をタッチすることでもダイジェスト動画を再生できます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの「ダイジェスト動画の一覧/再生」を選び、目的の日付を選びます (📖52)。

2 再生する

- [🔍] を押すと、動画が再生されます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- [歯車] ダイアルを時計回りに回すと一覧表示になり、さらに回すと表示される画像の数が増えます。
- [歯車] ダイアルを反時計回りに回すごとに表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- [OK] ホイールを回して表示画像を切り換えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- [MENU] を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。



- MENU (52) で [▶ 5] タブの [※] [縮小] で拡大縮小を [する] にすると、[※] ボタンと [縮小] ボタンで手順 1 の [歯車] ダイアルと同じ操作ができるようになります。
- [▲] か [▼] を押したままにするか [OK] ホイールを速く回すと、奥行きのある表示になりますが、MENU (52) で [▶ 4] タブの [一覧表示の効果] を [切] にすると、この効果をつけずに表示することができます。

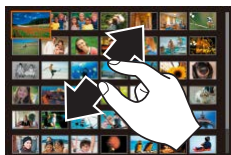
画面をタッチして操作する



- 1 枚表示の状態、2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。

- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。



- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。

- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が 1 枚表示になります。

素早く 2 回タッチして拡大する



- 画面を素早く 2 回タッチすると約 3 倍に拡大することができます。

- 拡大表示されているときに素早く 2 回タッチすると、1 枚表示に戻ります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（[📖209](#)）、消したり（[📖214](#)）することもできます。

★ レーティング	レーティング設定した画像（ 📖220 ）を表示
📅 日付	指定した撮影日の画像を表示
👤 人物	顔が検出された画像を表示
🎥 静止画 / 動画	静止画、動画、[📺] モード（ 📖63 ）で作成された動画のいずれかを表示

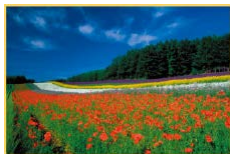


1 1つ目の条件を選ぶ

- [📌] を押して、メニュー項目の [👤] を選び、[📌] を押したあと、[▲] か [▼] を押して条件を選びます。
- [👤] を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、[📌] を押して、手順3に進みます。

2 2つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- 1つ目の条件に [★] [📅] [👤] を選んだときは [◀] か [▶] を押して2つ目の条件を選び、[🔍] ホイールを回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 検索された画像だけの表示に切り換えるときは、[📌] を押して手順3に進みます。



3 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、[🔍] を押してメニュー項目の [🔍] を選び、[🔍] を押します。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 検索した画像を表示しているとき(手順3)は、「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」(📖200)、「拡大して見る」(📖206)、「スライドショーで見る」(📖208)などの操作で画像を見することもできます。また、「保護する」(📖209)で[検索した全画像を保護]、「まとめて消す」(📖215)、「印刷指定(DPOF)」(📖345)、「フォトブック指定」(📖348)で[検索したすべての画像を指定]を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存(📖222～📖227)などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。
- [MENU] ボタンを押して [▶ 2] タブの [画像の検索] でも同じように操作できます。



- 手順1、2で画面をタッチして条件を選ぶこともできます。

メイン電子ダイヤルを使って画像をとばす

メイン電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像をとばして、目的の画像を素早く探せます。

	レーティング設定した画像 (📖 220) を表示
	各撮影日の先頭画像を表示
	画像を 10 枚ずつとばして表示
	画像を 100 枚ずつとばして表示



1 条件を選ぶ

- 1 枚表示の状態で [🌅] ダイアルを回したあと、[▲] か [▼] を押して条件(ジャンプ方法)を選びます。

2 選んだ条件の画像を見たり、画像をとばす

- [🌅] ダイアルを回すと選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像をとばします。



- [★] ではすべてのレベルのお気に入り画像にジャンプします。
- インデックス表示のときに [🌅] ダイアルを回すと、1 枚表示のときに選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示します。
- 条件(ジャンプ方法)は、MENU (📖 52) の [▶ 5] タブの [🌅での画像送り] でも設定することができます。

画面をタッチして操作する

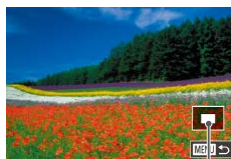


- 2本の指で左右方向にドラッグすることでも「メイン電子ダイヤルを使って画像をとばす」(📖204)の手順1で選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示できます。

いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- [🔍] ダイアルを反時計回りに回すごとに拡大表示になり、最大約 10 倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安 (1) が表示されます。
- [🔍] ダイアルを時計回りに回すと縮小表示になります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと、表示位置が移動します。[🔍] を押すと、撮影時にピント合わせをしたフレームの位置に移動します。
- [🔄] ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。



- 拡大表示のときに **[MENU]** ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。
- 1 枚表示の状態では **[歯車]** ダイアルを反時計回りに回したときの拡大倍率は、**[▶ 5]** タブの **[拡大倍率設定 (約)]** で設定できます。**[前回と同じ倍率 (中央から)]** にすると、前回の拡大表示で **[MENU]** ボタンを押す前の倍率に拡大されるようになります。**[等倍 (任意選択合焦点から)]** にすると、記録画像の画素を約 100% で表示し、ピントが合った AF フレームの位置から拡大されるようになります。
- **MENU (52)** で **[▶ 5]** タブの **[※ 縮小]** を **[する]** にすると、**[※]** ボタンと **[縮小]** ボタンで手順 1 の **[歯車]** ダイアルと同じ操作ができるようになります。

画面をタッチして操作する



- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。

- 同じ動作を繰り返すと、最大約 10 倍まで画像を拡大できます。

- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。



- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。

- **[MENU]** をタッチすると 1 枚表示に戻ります。

スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [スライドショー] を選びます (📖 52)。
- [▲] か [▼] を押すか [⏻] ホイールを回して [スタート] を選び、[⏻] を押します。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (📖 43) は働きません。



- 再生中に [⏻] を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押すか [⏻] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押したままにすると早送りできます。
- [設定] を選んで [⏻] を押して表示される画面で、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果 (再生効果) を変えられます (📖 52)。



- 画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。

保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能（[📖214](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- **[🔒]** を押して、メニューの **[🔑]** を選び、**[◀]** か **[▶]** を押すか **[🌀]** ホイールを回して **[🔑]** を選ぶと、**[🔒]** が表示されます。
- **[OFF]** を選ぶと **[🔒]** が消え、解除されます。

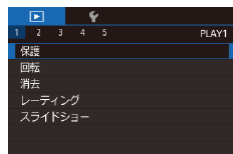


- カードを初期化（[📖295](#)）すると、保護された画像も消えます。



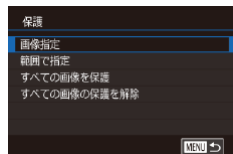
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶ 1]** タブの **[保護]** を選びます（[📖52](#)）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます（[📖52](#)）。
- **[MENU]** ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

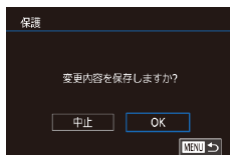
1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(209)の手順2の操作で「画像指定」を選び、**[P]**を押します。



2 画像を選び指定する

- [◀]** か **[▶]** を押すか **[DISP]** ホイールを回して画像を選び、**[P]**を押すと **[ON]**が表示されます。
- もう一度 **[P]**を押すと **[ON]**が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 保護する

- [MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀]** か **[▶]** を押すか **[DISP]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[P]**を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

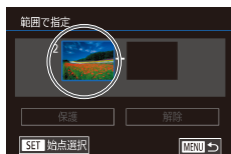


- 手順2で画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができ、**[MENU]** をタッチすると確認画面が表示されます。
- 手順3の画面で **[OK]** をタッチして保護することもできます。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(209) の手順 2 の操作で「範囲で指定」を選び、**[SET]** を押します。

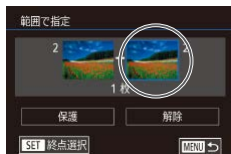


2 始点の画像を指定する

- [SET]** を押します。



- [◀]** か **[▶]** を押すか **[DISC]** ホイールを回して画像を選び、**[SET]** を押します。



3 終点の画像を指定する

- [▶]** を押して「終点選択」にし、**[SET]** を押します。



- [◀]** か **[▶]** を押すか **[DISC]** ホイールを回して画像を選び、**[SET]** を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [▼] を押して [保護] を選び、[Ⓢ] を押します。



- 手順 2、3 の上側の画面では、[●] ホイールを回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。
- 手順 4 で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

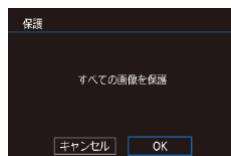


- 手順 2、3 の上側の画面で画像をタッチして始点、終点の画像を選び画面を表示することができます。
- 手順 4 の画面で [保護] をタッチして画像を保護することもできます。

すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」(書 209) の手順 2 の操作で [すべての画像を保護] を選び、[Ⓢ] を押します。



2 保護する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。

解除するときは、「すべての画像を保護する」(📖 212) の手順 1 の操作で「すべての画像の保護を解除」を選び、手順 2 の操作を行います。

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないなので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖209)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [▼] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [消去] を選び、[🔴] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[🔴] を押します。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を表示して [▼] を押すと、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW + JPEG 消去] が表示されるので、項目を選んで消すことができます。



- 手順2の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。

まとめて消す

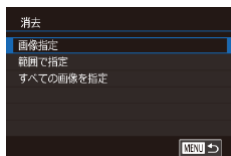
画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖209)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [消去] を選びます (📖52)。



2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して指定方法を選び、[🔍] を押します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

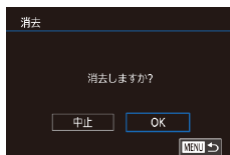
1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(📖215)の手順2の操作で [画像指定] を選び、[🔍] を押します。



2 画像を選ぶ

- 「1枚ずつ指定する」(P210)の手順2の操作で画像を選ぶと、[✓]が表示されます。
- もう一度[Ⓜ]を押すと[✓]が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 消す

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(P215)の手順2の操作で[範囲で指定]を選び、[Ⓜ]を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」(P211)の手順2～3の操作で指定します。



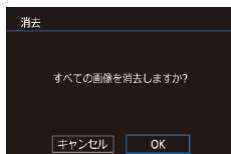
3 消す

- [▼] を押して [消去] を選び、[Ⓢ] を押します。

すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(📖215) の手順 2 の操作で [すべての画像を指定] を選び、[Ⓢ] を押します。



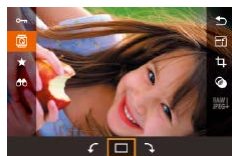
2 消す

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。

回転する

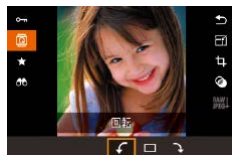
▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [Q] を選ぶ

- [Q] を押して、メニュー項目の [Q] を選びます (📖50)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [↶] か [↷] を選ぶと指定した方向に 90 度回転し、[Q] を押すと設定されます。



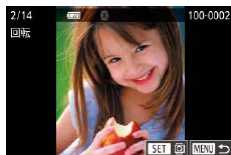
- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖219)。

メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [回転] を選びます (📖52)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [⌂] を押すたびに、右 90° 回転、左 90° 回転、元の画像の順に回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 の画面で [SET] をタッチして画像を回転させたり、[MENU] をタッチしてメニュー画面に戻することもできます。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。

1	2	3	4	5	PLAY4
画像切り換え効果	フェード				
一覧表示の効果	入				
スクロール再生	入				
ハイライト警告	しない				
AFフレーム表示	しない				
再生時のクリッド	表示しない				
縦横自動回転	切				

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (📖 52)。



- [切] にすると、画像の回転 (📖 218) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お気に入り設定をする(レーティング)

▶ 静止画 ▶ 動画

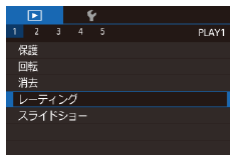
[OFF] [★] [★] [★] [★] [★] の6段階でお気に入りのレベル(レーティング)を設定して、撮影した画像を分類できます。特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(192)、「スライドショーで見る」(208)、「保護する」(209)、「消す」(214)、「印刷指定(DPOF)」(345)、「フォトブック指定」(348)



- [] を押して、メニュー項目の [★] を選び、レベルを設定します (50)。
- 解除するときには、上記の操作で [OFF] を選び、[] を押します。

メニューから操作する



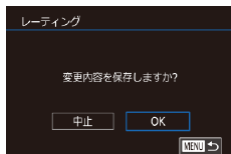
1 [レーティング] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[1] タブの [レーティング] を選びます (52)。



2 画像とレベルを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して画像を選び、[▲] か [▼] を押してレベルを選びます。



3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、設定されません。



- 手順2で画面下部の [▲] か [▼] をタッチすることでもレベルの設定ができます。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能（📖222～📖227）は、カードに空き容量がないと使えません。



- 画面に【SET】が表示されているときは、【SET】をタッチすることでも【Ⓢ】ボタンと同じ操作ができます。
- 画面に【MENU】が表示されているときは、【MENU】をタッチすることでも【MENU】ボタンと同じ操作ができます。

画像を小さくする（リサイズ）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



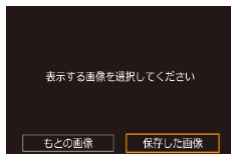
1 大きさを選ぶ

- 【Ⓢ】を押して、メニュー項目の【📐】を選び、サイズを選びます（📖50）。
- 【Ⓢ】を押します。



2 新規保存する

- 【新規保存しますか?】が表示されたら、【◀】か【▶】を押すか【🌀】ホイールを回して【OK】を選び、【Ⓢ】を押します。



3 画像を確認する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [保存した画像] を選び、[●] を押します。
- 保存した画像が表示されます。

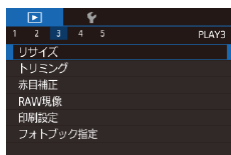


- 記録画素数 (📖 76) が [S2] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。



- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。
- 手順 3 で [もとの画像] を選ぶと、元の画像が表示されます。

メニューから操作する



1 [リサイズ] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [リサイズ] を選びます (📖 52)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[●] を押します。



3 大きさを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して大きさを選び、[●] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」（[図222](#)）の手順2の操作を行います。
- **[MENU]** ボタンを押したあと、「画像を小さくする（リサイズ）」（[図222](#)）の手順3の操作を行います。

画像を切り抜く（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1 設定画面を表示する

- **[Q]** を押して、メニュー項目の **[C]** を選び、**[Q]** を押します（[図50](#)）。



2 トリミング枠の大きさ、位置、縦横比を設定する

- 枠の大きさを変えるときは、**[Z]** ダイヤルを回します。
- 枠を移動するときは、**[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押します。
- 枠の縦／横を変えるときは、**[Q]** ホイールを回して **[C]** を選び、**[Q]** を押します。
- 枠の縦横の比率を変えるときは、**[Q]** ホイールを回して **[C]** を選びます。**[Q]** を押すたびに、縦横比（**[3:2]** **[16:9]** **[4:3]** **[1:1]**）が切り換わります。



3 トリミング後のイメージを確認する

-  ホイールを回して  を選びます。
-  を押すたびにトリミング後のイメージと、トリミング枠の表示が交互に切り換わります。

4 新規保存して画像を確認する

-  ホイールを回して  を選び、 を押します。
- 「画像を小さくする(リサイズ)」(図222)の手順2～3の操作を行います。



- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像に、クリエイティブフィルター処理やリサイズ処理を行うことはできません。



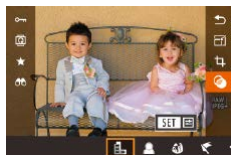
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 手順3でトリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- **[MENU]** ボタンを押して  3 タブの「トリミング」を選んで  を押したあと、画像を選んでもう一度  を押すことでも、手順2の操作を行えるようになります。



- 手順2の画面で枠をドラッグして移動することもできます。また、2本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりする(図207)ことでも枠の大きさを変えることができます。
- 手順2の画面上部の     をタッチして操作することもできます。

画像にフィルター効果を付ける

[] [] [] [] [] [] [] モードで撮影したときと同じような効果を付けて、別画像として保存できます。



1 効果の種類を選ぶ

- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、効果の種類を選びます (p.50)。
- [] を押します。



2 詳細を設定する

- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回してコントラストの強さを設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回してぼかし具合を設定します。
- [] [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して効果の強さを設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して色の濃度を設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して色調を設定します。
- [] では、[INFO.] ボタンを押して枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押して枠の位置を変えます。

3 新規保存して画像を確認する

- [Ⓢ] を押します。
- 「画像を小さくする(リサイズ)」(📖222) の手順2～3の操作を行います。



- [📐] では、手順2の画面で [◀] か [▶] を押すと枠が縦になり、[◀] か [▶] を押して位置を変えられます。[▲] か [▼] を押すと枠が横に戻ります。
- [MENU] ボタンを押して [📺2] タブの [クリエイティブフィルター] を選んだあと、画像を選んで [Ⓢ] を押すことでも同じように操作できます。

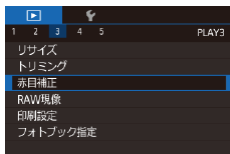


- 手順2の画面で画面下部のバーをタッチやドラッグして設定することもできます。[📐] では、タッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[📺3] タブの [赤目補正] を選びます (📖52)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔄] ホイールを回して画像を選びます。

3 補正する

- **[Ⓢ]** を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(**[📖]**206) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押すか **[🔄]** ホイールを回して「新規保存」を選び、**[Ⓢ]** を押します。
- 別画像として保存されます。
- **[MENU]** ボタンを押したあと、「画像を小さくする（リサイズ）」(**[📖]**222) の手順3の操作を行います。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で「上書き保存」を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- RAW 画像を同時記録した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。



- 手順4の画面で「新規保存」や「上書き保存」をタッチすることでも画像を保存できます。

RAW 画像をカメラで現像する

▶ 静止画 ▶ 動画

RAW で撮影した画像をカメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存します。

1 RAW 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して BAW 画像を選びます。



2 設定画面を表示する

- **[F9]** を押して、メニュー項目の **[RAW/PEG]** を選び、**[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して目的の項目を選びます。
- **[RAW]** を選んだときは、手順5に進みます。



3 現像方法を設定する

-  を選んだときは、 を押したあと     を押して項目を選び、 を押します。



4 詳細な設定をする

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して効果を選び、[👤] を押すと手順3の画面に戻ります。



5 保存する

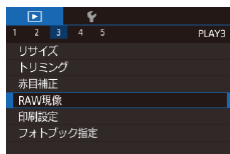
- [RAW] を選んだときは、[▲] [▼] [◀] [▶] を押して [L] を選び [MENU] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して [OK] を選び、[MENU] を押します。
- [RAW] を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [DISP] ホイールを回して [OK] を選び、[MENU] を押します。

明るさ補正	明るさを補正できます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを選べます。
ピクチャースタイル	ピクチャースタイルの種類を選べます。
オートライティング オブティマイザ	オートライティングオブティマイザの内容を設定することができます。
高感度撮影時のノイズ 低減	ノイズ低減の内容を設定できます。
記録画質	JPEG 画像を作成するときの記録画質を設定します。
周辺光量補正	レンズの特性によって起こる周辺光量の低下を補正することができます。
色収差補正	レンズの特性によって起こる色収差を補正することができます。
回折補正	回折現象による解像劣化を補正することができます。



- 手順 3 の画面で項目が選ばれた状態で [●] ホイールを回すことでも、それぞれの効果を選ぶことができます。
- 手順 3 の画面で [⚙️] ダイアルを反時計回りに回すと拡大表示になります。
- 手順 3 の画面で [INFO.] ボタンを押したあと、[●] ホイールを回すと撮影時の画像と比較することができます。設定画面に戻るときは [MENU] ボタンを押します。
- 手順 3 の画面で [⏮] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[⏭] を押すと撮影時の設定に戻ります。
- 手順 4 の画面で [INFO.] が表示される機能では、[INFO.] ボタンを押すとさらに詳細な設定もできます。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して [▶ 3] タブの [RAW 現像] を選びます (📖 52)。

2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (📖 52)。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(書231)の操作で「画像指定」を選び [OK] を押します。



2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」(書210)の手順2の操作で画像を選ぶと [✓] が表示されます。
- もう一度 [OK] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押して設定画面に進みます。

3 現像する

- 「RAW 画像をカメラで現像する」(書229)の手順2～5の操作で現像します。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(📖223) の操作で「範囲で指定」を選び [Ⓜ] を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」(📖211) の手順 2 ～ 3 の操作で指定します。

3 現像する

- 「RAW 画像をカメラで現像する」(📖229) の手順 2 ～ 5 の操作で現像します。



- カメラで現像した画像と、Digital Photo Professional で現像した画像は完全にはなりません。

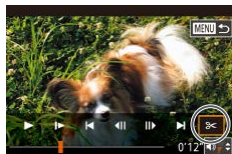


- 一度に指定できる画像は 500 枚です。
- メニューから現像方法を選ぶときは手順 3 で [▲] か [▼] を押して目的の項目を選びます。

動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（📖63）を除く）。



1 [3<] を選ぶ

- 「見る」（📖192）の手順1～5の操作で [3<] を選び、[3<] を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- [▲] か [▼] を押して [3<] または [3>] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [3<] ホイールを回してオレンジ色の [3<] か [3>] を動かすと、編集できるところで [3<] が表示されます。[3<] を選ぶと [3<] 位置より前部、[3>] を選ぶと後部が削除されます。
- [3<] か [3>] を [3<] 以外の位置に指定しても、[3<] では1つ左側の [3<] 位置よりも前部、[3>] では1つ右側の [3<] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- [▲] か [▼] を押して [▶] を選び、[Ⓜ] を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、[MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



4 編集した動画を保存する

- [▲] か [▼] を押して [L2] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [新規保存] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [圧縮せず新規保存] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか、AC アダプター（別売）と DC カプラー（別売）（P.316）をあわせて使うことをおすすめします。

ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」(234) の手順 4 の画面で [F4] を選んだあと [新規保存] を選び、[F5] を押します。
- [圧縮して新規保存] を選び、[F5] を押します。

圧縮後の画質は次のとおりです。

圧縮前	圧縮後
FHD 59.94P	FHD 29.97P
FHD 50.00P	FHD 25.00P
FHD 29.97P	FHD 29.97P
FHD 23.98P	FHD 23.98P
FHD 59.94P	FHD 29.97P
FHD 25.00P	FHD 25.00P
FHD 50.00P	FHD 25.00P

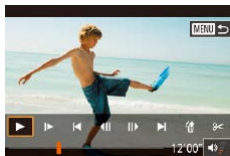


- [VGA 29.97P] [VGA 25.00P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。

ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

【】モードで作成されたチャプター（ 63）を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る」（ 198）の手順1～2の操作で【】モードで作成された動画を再生し、【】を押して動画操作パネルを表示します。
- 【◀】か【▶】を押すか【】ホイールを回して【◀◀】か【▶▶】を選び【】を押します。



2 【】を選ぶ

- 【◀】か【▶】を押すか【】ホイールを回して【】を選び、【】を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。

3 確認して消す

- 【◀】か【▶】を押すか【】ホイールを回して【OK】を選び、【】を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも【】は表示されません。

無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- 無線機能を使う前に「無線機能(Wi-Fi/Bluetooth など)について」(📖 424) を必ずお読みください。

無線機能でできること

Wi-Fi 機能を使う

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末から撮影画面を見ながら撮影することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- Web サービス
キヤノンのオンラインフォトサービス CANON iIMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送ることもできます。
- メディアプレーヤー
DLNA* 対応のテレビなどで画像を見ることができます。
* Digital Living Network Alliance (デジタル リビング ネットワーク アライアンス)
- プリンター
Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。
- 別のカメラ
キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

Bluetooth® 機能を使う

Bluetooth low energy technology* に対応しているスマートフォンと簡単に接続することができます。また、スマートフォンをリモコン代わりにして、撮影や再生の操作をすることができます。

* 以降は「Bluetooth」と記載しています。

スマートフォンに画像を取り込む

カメラの画像をスマートフォンに取り込むには次の方法があります。

- Bluetooth 機能を使って接続する (📖 242)
Bluetooth に対応しているスマートフォンとペアリングをするだけでかんたんに接続できます。スマートフォンから画像取り込みの操作をするときにおすすめです。
- NFC 機能を使って接続する (📖 245)
Android で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖 249)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料)をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細(対応するスマートフォンや機能など)については、弊社 Web サイトで確認してください。



- キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラをお持ちで、「EOS Remote」を使ってカメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続されているかたは、スマートフォン用のアプリケーションを「Camera Connect」に変えることをおすすめします。

Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る

Bluetooth 機能を使ってスマートフォンと接続すると、次回からはスマートフォンを操作するだけでカメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。



1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。

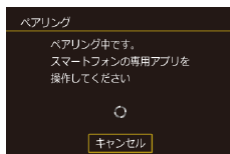
2 ニックネームを登録する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [MENU] ボタンを押して、[🔧 4] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[ニックネーム] を選びます。
- [Ⓜ] を押して表示されたキーボード (📖 55) でニックネームを入力します。
- [MENU] ボタンを押したあと、もう一度 [MENU] ボタンを押すと [無線通信の設定] に戻ります。



3 ペ어링ができる状態にする

- [Bluetooth 設定] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [ペアリング] を選び、[Ⓜ] を押します。



- 画面が接続待機の状態になります。



4 Camera Connect を起動する

- スマートフォンの Bluetooth 機能を有効にしたあと、スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。
- カメラを認識すると、カメラを選択する画面が表示されます。

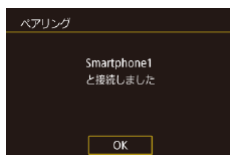
5 接続するカメラを選ぶ

- カメラのニックネームを選びます。
- スマートフォンを操作してペアリングを完了させます。

6 ペアリングを完了する



- カメラに確認画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。



- この画面が表示されたら、[Ⓢ] を押します。



7 画像を取り込む

- Camera Connect の [カメラ内の画像一覧] を選択すると、自動で Wi-Fi 接続に切り換ります。
- iPhone や iPad では、OS の Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続を切断すると、Bluetooth 接続に切り換わります。



- ペアリングした後は、節電機能が働いている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。



- 画面にある以下のアイコンで Bluetooth の通信状態を確認できます。
 - [📶] 接続中、[📶] 未接続
- 手順 7 にある Wi-Fi 接続の切断は、カメラでも操作できます。
- MENU (📖 52) の [🔌 4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選び、[Bluetooth] を [切] にすると Bluetooth の通信を無効にすることができます。
- Bluetooth で接続しているスマートフォンの情報は、MENU (📖 52) の [🔌 4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選んだあと、[接続先情報の確認 / 登録解除] で確認することができます。また、[アドレスの確認] を選ぶと、カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。

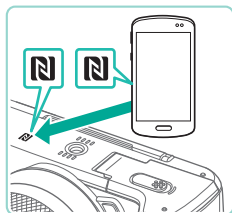
NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

Android で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードで起動しているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にスマートフォンで撮影画面を見ながら撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することもできます (281)。また、最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、一覧表示で送信する画像を選ぶ画面が表示されるので、カメラで画像を選んで送信できます。

撮影モードでの NFC 接続

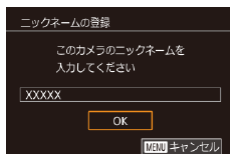


1 Camera Connect をインストールする

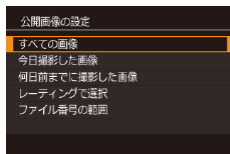
- 電源スイッチを [ON] にします。
- スマートフォンの使用説明書で **N** (N マーク) の位置を確認します。
- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。Camera Connect のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。

2 接続する

- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラの画面が自動で変わります。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。



- スマートフォンで Camera Connect が起動し、カメラと自動で接続します。



3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [すべての画像] を選び、[●] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモートライブビュー撮影ができるようになります。



4 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[●] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。

- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[⏏] を押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。

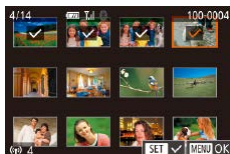


- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- リモートライブビュー撮影をするときは、手順 3 では [すべての画像] を選んでください。
- 手順 3 で [すべての画像] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順 3 でほかの項目を選んでください (📖 287)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (📖 287)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖 289)。
- MENU (📖 52) の [🔌 4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [切] にすると NFC 接続しないようにできます。

再生モードでの NFC 接続



- 電源スイッチを [ON] にします。
- [▶] ボタンを押します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (245) とカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[Ⓢ] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [Ⓢ] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [送信] を選び、[Ⓢ] を押します。
- 画像が送信されます。
- すべての画像の [✓] をはずして [MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [OK] を選ぶと接続が切断されます。



- 接続中、カメラやスマートフォンの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「撮影モードでの NFC 接続」(245) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。

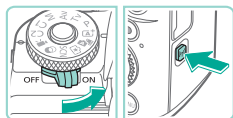
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (252)。



1 Camera Connect をインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



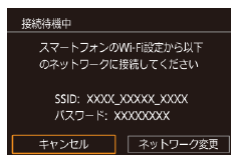
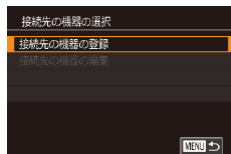
2 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [Wi-Fi] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。



3 [Wi-Fi] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [Wi-Fi] を選び、[OK] を押します。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。



5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。



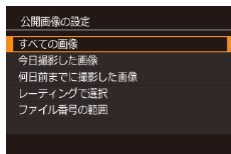
6 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。



7 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。



8 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [すべての画像] を選び、[●] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモートライブビュー撮影ができるようになります。



9 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[●] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。



- リモートライブビュー撮影をするときは、手順 8 では [すべての画像] を選んでください。
- 手順 8 で [すべての画像] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順 8 でほかの項目を選んでください (P.287)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (P.287)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖289)。
- MENU (📖52) の [🔌 4] タブにある [Wi-Fi 接続] を選んでも、手順 3 の画面を表示することができます。
- MENU (📖52) の [🔌 4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[パスワード] を [切] にすると、SSID の表示画面 (手順 4) に [パスワード] が表示されなくなり、手順 5 でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。
- 接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする
と、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を
押して項目を選び [🔍] を押すだけでかんたんに接続することが
できます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器
の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖52) の [🔌 4] タブにある [無線通信の設定] の
[Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、
最近接続した機器は表示されなくなります。

ほかのアクセスポイントを使う

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すで
にお使いのアクセスポイントを使うこともできます。

お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「インター
フェース」(📖414) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものを
お使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している
とき (📖254) と対応していないとき (📖256) で、接続方法は異な
ります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目
を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」 のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。取り扱いには十分ご注意ください。



- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (52) の [4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

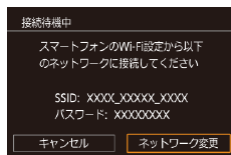
WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。



1 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

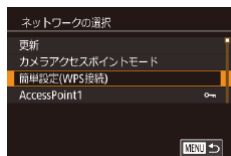
2 接続待機の状態にする

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(P.249) の手順 1～4 の操作で接続待機中の画面を表示します。



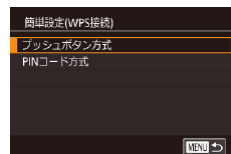
3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- 「[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [ネットワーク変更] を選び、[Ⓢ] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



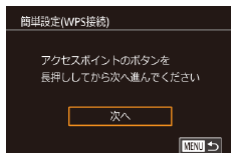
4 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- 「[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [簡単設定 (WPS 接続)] を選び、[Ⓢ] を押します。



5 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- 「[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [プッシュボタン方式] を選び、[Ⓢ] を押します。



6 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- カメラの  を押して次に進みます。

7 画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」( 249) の手順 6 ～ 9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を送ります。

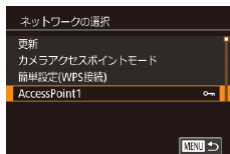


- 手順 5 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

一覧に表示されたアクセスポイントを使う

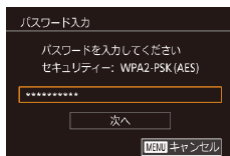
1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(254) の手順 1 ～ 3 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



2 アクセスポイントを選ぶ

- 「[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してネットワーク (アクセスポイント) を選び、[●] を押します。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- 「[●] を押してキーボードを表示し、パスワードを入力します (55)。
- 「[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[●] を押します。



4 [自動] を選ぶ

- 「[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [自動] を選び、[●] を押します。

5 画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(249) の手順 6 ～ 9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を送ります。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- 手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[●] を押します。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンと接続する」(249) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選び、表示された画面で [カメラアクセスポイントモード] を選びます。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(254) の手順 4 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(256) の手順 2 から操作してください。

Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

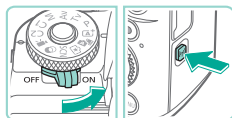
- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。



- CANON iIMAGE GATEWAY から使用説明書をダウンロードすることができます。

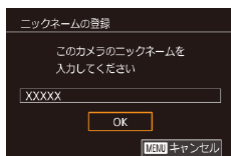
CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [(Wi-Fi)] ボタンを押します。

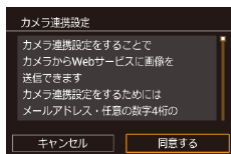


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[(SET)] を押します。



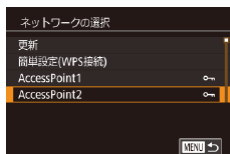
2 [☁] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[(SET)] を押します。



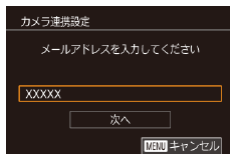
3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示される記載を読み [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [同意する] を選び、[(SET)] を押します。



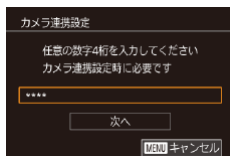
4 アクセスポイントへの接続をはじめる

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(254) の手順 4 ～ 6 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(256) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



5 メールアドレスを入力する

- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iIMAGE GATEWAY に接続するとメールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力し、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[Ⓜ] を押します。



6 4桁の数字を入力する

- 任意の数字 4 桁を入力し、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[Ⓜ] を押します。
- この 4 桁の数字は、手順 8 の CANON iIMAGE GATEWAY でカメラ連携の設定をするときに必要になります。

お知らせ

URLの通知メールを送信しました
メールに記載のURLにアクセスして
カメラ連携設定を行ってください
メールが届かない場合はメールの
設定を確認してやり直してください

OK

Webサービスの更新



MENU



7 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報が送られると、手順 5 で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、[Ⓢ] を押します。
- [☁] が [☁+] になります。

8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。

9 カメラに CANON iIMAGE GATEWAY を設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [☁+] を選び、[Ⓢ] を押します。
- [📖] (📖277) と CANON iIMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。
- 続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(📖262) の手順 2 から操作してください。

カメラ間で画像を送受信



MENU



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。



- 手順 1 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます(📖289)。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。

他の Web サービスを登録する

CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iIMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iIMAGE GATEWAY サイト
「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスします。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



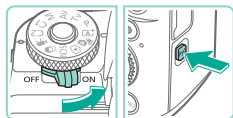
3 [☁] を選ぶ

- [(P)] ボタンを押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[(P)] を押します。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [(P)] ボタンを押します。



2 接続先を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して接続先の Web サービスのアイコンを選び、[(P)] を押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[(P)] を押します。



3 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[●] を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで、[●] を押します。
- 送信が完了したら表示される画面で [OK] が表示され、[●] を押すと再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (p.272)。
- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション「Canon Online Photo Album」を使うことおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

メディアプレーヤーで画像を閲覧する

カメラ内のカードにある画像をテレビなどで閲覧できます。

この機能を利用するには、DLNA 対応のテレビのほか、ゲーム機、スマートフォンなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。

ここでは、メディアプレーヤーが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の使用説明書を確認してください。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [(Wi-Fi)] ボタンを押します。



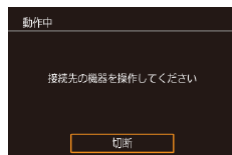
2 [TV] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [TV] を選び、[OK] を押します。



3 アクセスポイントへの接続をはじめる

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(254) の手順 4 ～ 6 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(256) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



- メディアプレーヤーと接続できる状態になるとこの画面が表示されます。一定時間経つと画面は暗くなります。
- 接続後の操作はメディアプレーヤーで行います。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

4 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤーを操作して、テレビに [EOS Canon EOS M5] を表示させます。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。[EOS Canon EOS M5] と表示されているアイコンを探してください。

5 画像を表示する

- [EOS Canon EOS M5]、カード（SD など）、フォルダ、画像の順に選びます。
- 画像を選んでテレビに表示できます。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。
- カメラを操作して接続を切断するときは、[⏏] を押してください。なお、画面が暗くなっているときは、何かボタンを操作して手順 3 の 2 つ目の画面が表示されてから [⏏] を押してください。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [Ⓢ] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- メディアプレーヤーの接続履歴は「MediaServ.」と表示されます。
- RAW 画像と動画は表示されません。
- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されなかったり縦位置表示が正常にできないことがあります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダに入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- カードやフォルダに表示される年月日は、閲覧時にカメラに設定されている日付が表示されることがあります。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(252)。



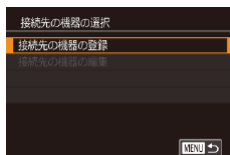
1 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [Wi-Fi] ボタンを押します。



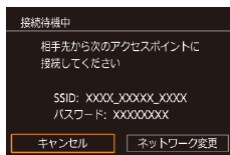
2 [Wi-Fi] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [Wi-Fi] を選び、[OK] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[OK] を押します。

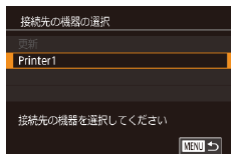


- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。



4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。



5 プリンターを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してプリンターの名前を選び、[●] を押します。



6 画像を選んで印刷する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [●] を押したあと、[□] を選び、もう一度 [●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[●] を押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(338)を参照してください。
- 接続を切断するには、[▲] を押して表示された確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [●] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (52) の [4] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(252)を参照してください。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。FlashAir/Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [Wi-Fi] ボタンを押します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [カメラ] を選び、[SET] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[SET] を押します。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録が始まります。



4 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して「この画像を送信」を選び、[●] を押します。
- 送信が完了すると、「送信が完了しました」と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [●] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (52) の [4] タブにある「無線通信の設定」の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、「接続先履歴の表示」で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (272)。

画像送信について

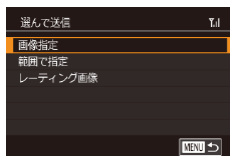
複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 「選んで送信」を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して「選んで送信」を選び、[Ⓜ]を押します。



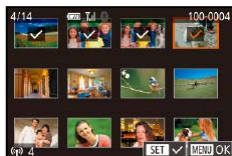
2 指定方法を選ぶ

- [▲]か[▼]を押すか[⦿]ホイールを回して指定方法を選びます。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(272)の手順2の操作で「画像指定」を選び、[Ⓜ]を押します。



2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[SET] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [SET] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して [送信] を選び、[SET] を押します。



- 手順 2 で [DISC] を反時計回りに回すと、1 枚表示に切り換わり、[◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して画像を選ぶこともできます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(272) の手順 2 の操作で [範囲で指定] を選び、[SET] を押します。



2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」(211) の手順 2 ～ 3 の操作で指定します。
- 動画も送信するときは、[▲] [▼] [◀] [▶] を押して [動画含む] を選び、[Ⓢ] を押して [✓] を付けます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[Ⓢ] を押します。

レーティング設定した画像を送る

レーティング設定 (220) した画像をまとめて送ることができます。

1 [レーティング画像] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」(272) の手順 2 の操作で [レーティング画像] を選び、[Ⓢ] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してレベルを選び [Ⓢ] を押すと、レーティング設定したレベルの画像だけが画像選択画面に表示されます。
- [Ⓢ] を押して [✓] を外し、送信しないようにすることもできます。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓢ] を押します。

2 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[Ⓜ] を押します。

画像送信時の注意事項

- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- Web サービスによっては送信できる画像の数や動画の時間が制限されます。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[YI] 強、[YI] 中、[YI] 弱、[YI] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON IMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲] か [▼] を押して [YI] を選んだあと、[Ⓜ] を押します。表示された画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[Ⓜ] を押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされず元の画像の大きさのままで送信されます。
- [S2] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [🗨️] を選び、[📷] を押します。

2 コメントを入力する (📖55)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る(クラウドシンクロ)

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。
なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

カメラの準備をする

接続先として [☒] を登録します。送信先のパソコンに、クラウドシンクロ用のソフトウェア「Image Transfer Utility (イメージ トランスファー ユーティリティ)」(無料) をインストールして設定します。



1 [☒] を登録する

- 「CANON iIMAGE GATEWAY を登録する」(☞259) の操作で、カメラに送信先として [☒] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するときは、CANON iIMAGE GATEWAY に ログインし (☞258)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

2 送信する画像の種類を選択する(動画も一緒に送信するときのみ)

- [MENU] ボタンを押して、[🔧4] タブの [無線通信の設定] を選んだあと、[Wi-Fi 設定] を選びます (☞52)。
- [▲] か [▼] を押して [クラウドシンクロ] を選んだあと、[静止画+動画] を選びます (☞52)。

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 Image Transfer Utility をインストールする

- インターネットに接続したパソコンに Image Transfer Utility をインストールします (📖 335)。
- Image Transfer Utility は CANON iIMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面 (📖 277) からダウンロードできます。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で [📷] を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で [📷] をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- CANON iIMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが [📷] に変わります。

画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- 「Web サービスに画像を送る」（263）の手順 1～2 の操作で  を選びます。
- 送信された画像には  が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（316）を使うことをおすすめします。



- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iIMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iIMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

クラウドシンクロで送信した画像をスマートフォンで見る

スマートフォンに「Canon Online Photo Album (Canon OPA)」をインストールすると、クラウドシンクロで送信して CANON iIMAGE GATEWAY に一時的に保存されている画像を、スマートフォンで見たりダウンロードすることができます。

なお、事前に次の準備が必要です。

- 「パソコンの準備をする」(📖278) の設定が終わっている必要があります。
- iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。
- CANON iIMAGE GATEWAY にログインし (📖258)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定を変えてください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。



- 一定期間を過ぎて CANON iIMAGE GATEWAY から削除された画像は見ることができません。
- クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定する前に送信した画像は見ることができません。



- Canon Online Photo Album の操作については、Canon Online Photo Album のヘルプを参照してください。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する (📖281)
- スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する (📖282)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (📖249、📖285)。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖26) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」(📖301) で訪問先のエリアを設定してください。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

スマートフォンをリモコン代わりにしてカメラを操作する

Wi-Fi 機能を使ってカメラを操作する

スマートフォンで撮影画面を見ながら撮影することができます。



- 操作するスマートフォンに対してすべての画像を公開する設定にしておく必要があります (📖287)。

1 カメラを固定する

- 三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (📖249)

- 画像の公開設定では [すべての画像] を選んでください。

3 リモートライブビュー撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connectで[リモートライブビュー撮影]を選びます。
- リモートライブビュー撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源スイッチ以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- 動画は撮影できません。
- ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、撮影のタイミングが遅れることがあります。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややごちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Bluetooth 機能を使ってカメラを操作する

Bluetooth に対応しているスマートフォンをリモコン代わりに操作して、撮影したり再生する画像を切り換えたりすることができます。

撮影時に素早く接続することができたり、テレビに接続して再生の操作をするときなどに便利です。

1 カメラの準備をする

- カメラで撮影モードや撮影機能を設定します。
- 撮影するときは、三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (242)

- Bluetooth で接続していることを確認してください。

3 Bluetooth リモートコントローラーを選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect で [Bluetooth リモートコントローラー] を選びます。
- スマートフォンの画面が Bluetooth リモートコントローラーの操作画面に切り換わります。

4 撮影したり画像を切り換えたりする

- スマートフォンを操作して、撮影モードで撮影したり再生モードで画像を切り換えたりします。



- Wi-Fi 接続中は、[Bluetooth リモートコントローラー] を選べません。



- Bluetooth の接続状態は、カメラの画面に表示されているアイコンで確認できます (📖 366)。

無線通信の設定を編集 / 消去する

無線通信に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [(i)] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して機器の選択画面を表示したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して編集したい機器のアイコンを選び、[(i)] を押します。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の編集] を選び、[(i)] を押します。



3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集したい接続先を選び、[(i)] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集する項目を選び、[(i)] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
					Web サービス
ニックネームの変更 (📖286)	○	○	○	—	—
画像の公開設定 (📖287)	—	○	—	—	—
接続情報を消去 (📖286)	○	○	○	—	—

○：設定可 —：設定不可

接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖285)の手順4の操作で「ニックネームの変更」を選び、[- 入力欄を選んで [

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖285)の手順4の操作で「接続情報を消去」を選び、[- 「消去しますか?」が表示されたら、[◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[- 接続情報が消去されます。

スマートフォンに公開する画像を設定する

スマートフォンとカメラを接続したときに、カメラのカード内にある画像のうち、どの画像をスマートフォンで表示するかを設定します。

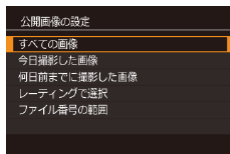
設定項目	スマートフォンに公開される画像
すべての画像	カード内のすべての画像
今日撮影した画像	その日に撮影した画像
何日前までに撮影した画像	その日から指定した日数分前の日までに撮影した画像
レーティングで選択	指定したレーティング (📖220) の画像
ファイル番号の範囲	指定した範囲の画像

なお、スマートフォンに接続する際に手順2の画面が表示されたときも同じ操作で設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「接続情報を編集する」(📖285)の手順4の操作で「画像の公開設定」を選び、[🔍]を押します。



2 項目を選んで設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選びます。
- [すべての画像] または [今日撮影した画像] を選んだときは [●] を押します。
- [何日前までに撮影した画像] を選んだときは、[●] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押して日数を指定し、[●] を押します。
- [レーティングで選択] を選んだときは、[●] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押してレーティングを選び、[●] を押します。
- [ファイル番号の範囲] を選んだときは、[●] を押して表示された画面で開始と終了の画像を選んで範囲を指定したあと、[OK] を選んで [●] を押します。指定方法は、「範囲で指定する」(P211)の手順 2～3 を参照してください。



- リモートライブビュー撮影をするときは、[すべての画像] を選んでください。

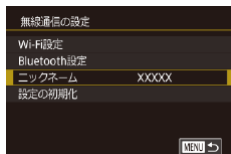
カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



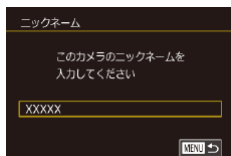
1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [無線通信の設定] を選びます (52)。



2 [ニックネーム] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [ホイール] を回して [ニックネーム] を選び、[OK] を押します。



3 ニックネームを変更する

- [OK] を押して表示されたキーボード (55) でニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[OK] を押してから入力しなおしてください。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、入力欄を選んで [OK] を押してキーボードを表示させて、ニックネームを変えることもできます。

無線通信の設定を初期化する

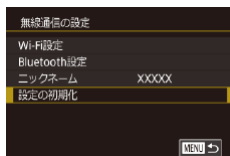
カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、無線通信の設定を初期化します。

無線通信の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 〔無線通信の設定〕を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの〔無線通信の設定〕を選びます (図52)。



2 〔設定の初期化〕を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して〔設定の初期化〕を選び、[●] を押します。

3 初期化する

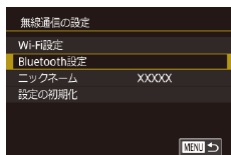
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。
- 無線通信の設定が初期化されます。



- 無線通信以外の設定を初期化するときは、[4] タブの〔カメラの初期化〕を選びます (図310)。

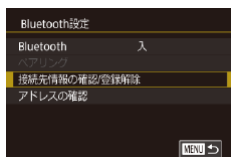
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する

他のスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。



1 [Bluetooth 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブにある [無線通信の設定] の [Bluetooth 設定] を選びます。

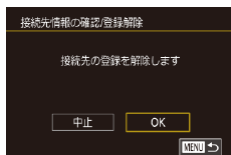


2 [接続先情報の確認 / 登録解除] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、[F] を押します。

3 登録を解除する

- 接続先情報の確認画面で [F] を押します。
- [接続先の登録を解除します] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[F] を押します。



4 カメラの登録を解除する

- スマートフォンを操作して、OS の Bluetooth 設定画面からカメラの登録を解除します。

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU (📖 52) の [🔧 1] [🔧 2] [🔧 3] [🔧 4] タブで設定します。
ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [🔧 1] タブの [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [🔧 1] タブの [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (p.295) したカードをお使いください。

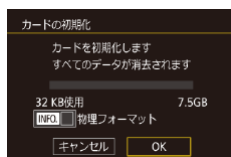
カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [F1] タブの [カードの初期化] を選び [SET] を押します。



2 [OK] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか、[●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

3 初期化する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押すと初期化が始まります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、[SET] を押します。



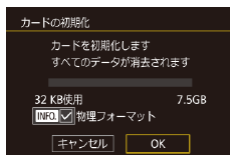
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

【カードが異常です】のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



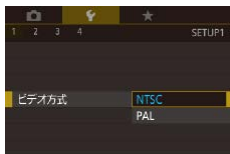
- 「カードを初期化する」(📖295) の手順 2 の画面で、[INFO] ボタンを押して【物理フォーマット】に[✓]を表示します。
- 「カードを初期化する」(📖295) の手順 2 の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖295) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に【キャンセル】を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

ビデオ方式を変える

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質（フレームレート）も変わります。



- [F1] タブの「ビデオ方式」を選び、目的の項目を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。グリッドライン（ 172）を使って、事前にカメラを水平にしておくと、より確実に調整できます。

1 カメラを傾きがない状態にする

- 傾きがない台などの上にカメラを置きます。



2 調整する

- [F1] タブの「水準器」を選び、[SET] を押します。
- 左右方向の傾きは「水平調整」、前後方向の傾きは「あおり調整」を選び、[SET] を押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] を選び、[SET] を押します。

水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。



- [F1] タブの [水準器] を選び、[F7] を押します。
- [初期化] を選び、[F7] を押します。
- [OK] を選び、[F7] を押します。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

- [F2] タブの [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (364) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもランプ（背面）が点滅しているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（[図 43](#)）。



- [F2] タブの「節電」を選び [OK] を押します。
- 項目を選んで [OK] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [DISC] ホイールを回して設定を変え、もう一度 [OK] を押します。



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、「オートパワーオフ」を「1分」にし、「ディスプレイオフ」を「1分」以下にすることをすすめます。



- 「ディスプレイオフ」は、「オートパワーオフ」が「しない」のときも働きます。
- エコモード（[図 298](#)）を「入」にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面とビューファインダーの明るさは、別々に設定できます（設定したい方を表示してから設定します）。



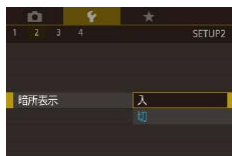
- [F2] タブの「画面の明るさ」を選んで [F6] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [F7] ホイールを回して明るさを変えます。



- [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（[F2] タブの「画面の明るさ」設定は無効になります）。もう一度 [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

画面に表示される情報の色を変える

画面に表示される情報やメニュー画面の色を、暗いところで撮影をするときに適した色に変えられます。



- [F2] タブの「暗所表示」を選び、[入] を選びます。
- もとに戻すときは [切] を選びます。



- [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにすることでも [切] に戻せます。

世界時計を使う

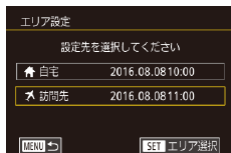
海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（[26](#)）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [2] タブの「エリア設定」を選び、 を押します。
- [] か [] を押すか ホイールを回して [訪問先] を選び、 を押します。
- [] か [] を押して訪問先エリアを選びます。
- [] か [] を押して [] を選び、] か [] を押して [] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

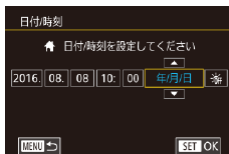
- [] か [] を押すか ホイールを回して [訪問先] を選び、 ボタンを押します。
- 撮影画面（[364](#)）に [] が表示されます。



- [] の状態で日付／時刻を変える（[28](#)）と、 自宅] の日時も自動的に変わります。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [F2] タブの [日付／時刻] を選び [F9] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押すか [F9] ホイールを回して設定します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



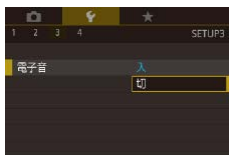
- [F3] タブの [言語] を選び [F9] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [F9] ホイールを回して言語を選び、[F9] を押します。



- 再生モードにして、[F9] を押したまま、[MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

電子音を鳴らさない

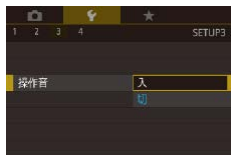
シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らさないようにできます。



- [F3] タブの [電子音] を選び、[切] を選びます。

操作したときに音を鳴らす

カメラのボタンを押したり画面をタッチしたときに、音が鳴るようにすることができます。



- [🔧3] タブの「操作音」を選び、「入」を選びます。

機能の説明を表示しない

クイック設定メニュー（📖50）や撮影機能画面（📖119）で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [🔧3] タブの「機能ガイド」を選び、「切」を選びます。

撮影モードを一覧で表示する

撮影モードの選択画面で、モード名は表示せず、撮影モードのアイコンだけを一覧表示することで素早くモードを選ぶことができます。



- [🔧3] タブの「撮影モード選択画面」を選び、「一覧表示」を選びます。

タッチパネルの設定を変える

タッチパネルの感度を上げて軽いタッチにも敏感に反応するようにしたり、画面に触れてもタッチパネルが反応しないようにできます。



- [F3] タブの [タッチ操作] を選び、目的の項目を選びます。
- タッチパネルの感度を上げるときは [敏感] を、タッチパネルを使わないときは [しない] を選んでください。



- タッチパネルを操作するときは次のことにご注意ください。
 - 感圧式ではありませんので、爪やボールペンなど、先のとがったもので操作しないでください。
 - 濡れた指で操作しないでください。
 - 画面に水滴がついていたり、濡れた指で操作すると、反応しなくなったり、誤動作することがあります。カメラの電源をいったん切ってから、布などでふき取ってください。
 - 画面に、市販の保護シートやシールを貼らないでください。タッチの反応が悪くなることがあります。
- [敏感] に設定して素早いタッチ操作を行うと、反応しづらいことがあります。

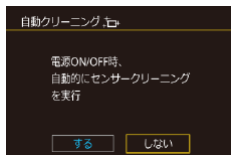
撮像素子をクリーニングする

電源を入り切りしたときや節電機能で電源が切れたときには、撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除くクリーニング機能が働きます。この自動クリーニング機能を使わないようにしたり、必要に応じてクリーニング機能を動作させることができます。

自動クリーニングを行わない

1 設定画面を表示する

- 撮影モードで起動したあと、[📷 3] タブの「センサークリーニング」を選び、[ⓘ] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して「自動クリーニング しない」を選び、[ⓘ] を押します。



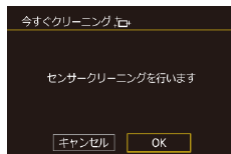
2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して「しない」を選び、[ⓘ] を押します。

クリーニング機能を動作させる

1 設定画面を表示する

- 撮影モードで起動したあと、[📷 3] タブの「センサークリーニング」を選び、[ⓘ] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して「今すぐクリーニング する」を選び、[ⓘ] を押します。



2 実行する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[📷] を押します。
- クリーニングが始まり、クリーニング中を示す画面が表示されます。途中、シャッターの作動音がしますが、撮影は行われません。



- センサーのクリーニングは、レンズを付けていなくても行えます。レンズを付けずに行うときは、シャッター幕を破損しないように、レンズマウント面より中に指やブローアーを入れないでください。



- 机の上などにカメラを置き、底面が机に付いた状態で行うと、効果的にゴミを除去できます。
- 繰り返してクリーニングしても効果は大きく変わりません。なお、清掃終了直後は、[今すぐクリーニング] [📷] が選べないことがあります。
- 撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあるときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。

手作業で清掃する

撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあったときに、市販品のブローアーなどを使用して、自分で清掃できます。

撮像素子は非常にデリケートな部品です。手作業での清掃が必要なときは、できるだけ別紙の修理受付窓口にお申し付けください。

1 電源を切る

2 レンズを取り外す

3 撮像素子を清掃する



- 撮像素子の表面は非常にデリケートです。細心の注意を払って清掃してください。
- ブラシの付いていないブローアースを使ってください。ブラシが撮像素子に触れると、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアーは、レンズマウント面より内側に入れないでください。シャッター幕を破損する原因となります。
- 高圧の空気やガスを吹き付けて清掃しないでください。圧力により撮像素子が破損したり、吹き付けたガスが凍結することで、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアースで除去できない汚れがあったときは、別紙の修理受付窓口で撮像素子の清掃をお申し付けください。

認証マークを確認する

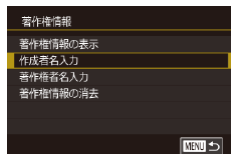
このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [📶 4] タブの [認証マーク表示] を選び、 を押します。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておくで、撮影した画像に登録した情報を記録できます。



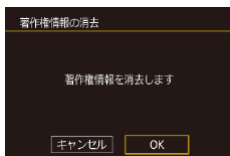
- [F4] タブの[著作権情報]を選び、[MENU]を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [DISC] ホイールを回して[作成者名入力]か[著作権者名入力]を選び、[MENU]を押してキーボードを表示して、名前を入力します(書55)。
- [MENU] ボタンを押すと、[変更内容を保存しますか?]が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [DISC] ホイールを回して[はい]を選び、[MENU]を押します。
- 撮影する画像に、情報が記録されるようになります。



- 入力した内容は、上記の画面で[著作権情報の表示]を選び、[MENU]を押すと確認できます。
- 専用ソフトウェア「EOS Utility」(書334)でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、画像をパソコンに取り込んでからソフトウェアで確認することができます。
- ソフトウェア「EOS Utility」の使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(書335)を参照してください。

登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



- 「画像に記録する著作権の情報を登録する」(📖308) の操作で、[著作権情報の消去] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか (🔴) ホイールを回して [OK] を選び、(🔴) を押します。



- 画像に記録されている著作権情報は消されません。

その他の基本機能を変える

次の機能も使えます。

- [🔧 2] タブの [日本語入力設定] (📖56)
- [🔧 4] タブの [無線通信の設定] (📖239)
- [🔧 4] タブの [カスタム撮影モード (C1, C2)] (📖184)
- [🔧 4] タブの [ファームウェア📷 Ver.] (ファームウェア変更時に使用)



- ファームウェアの変更時は、誤操作を防ぐため途中からタッチ操作はできなくなります。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

基本設定を初期化する

1 [基本設定] 画面を表示する

- [🔧 4] タブの [カメラの初期化] を選び、[⏮] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🔄] ホイールを回して [基本設定] を選び、[⏮] を押します。



2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [🔄] ホイールを回して [OK] を選び、[⏮] を押します。
- カメラの基本設定が初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [🔧 1] タブの [ビデオ方式] (📖 297)
 - [🔧 2] タブの [エリア設定] (📖 301)、[日付 / 時刻] (📖 302)、[言語] (📖 302)
 - [📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [外部ストロボ機能設定]、[外部ストロボカスタム機能設定]
 - [📷 1] タブ
 - 露出補正 (📖 120) で設定した値
 - 撮影モード (📖 93)
 - 無線通信の設定 (📖 239)
 - 水準器の調整内容 (📖 297)
 - 著作権情報 (📖 308)
 - 日本語入力変換履歴

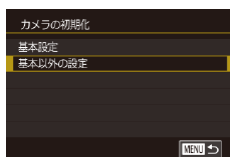
機能ごとに初期化する

次の機能の設定を初期化することができます。

- カスタム撮影モードに登録した設定
- [📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定]、[外部ストロボ機能設定]、[外部ストロボカスタム機能設定]
- [🔍 1] タブ
- 無線通信の設定
- 水準器の調整内容
- 著作権情報
- 日本語入力変換履歴

1 [基本以外の設定] 画面を表示する

- [🔧 4] タブの [カメラの初期化] を選び、[🔍] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して [基本以外の設定] を選び、[🔍] を押します。



2 初期化する機能を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して初期化する機能を選び、[🔍] を押します。

3 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [OK] を選び、[🔍] を押します。
- 機能の設定が初期状態に戻ります。

アクセサリー

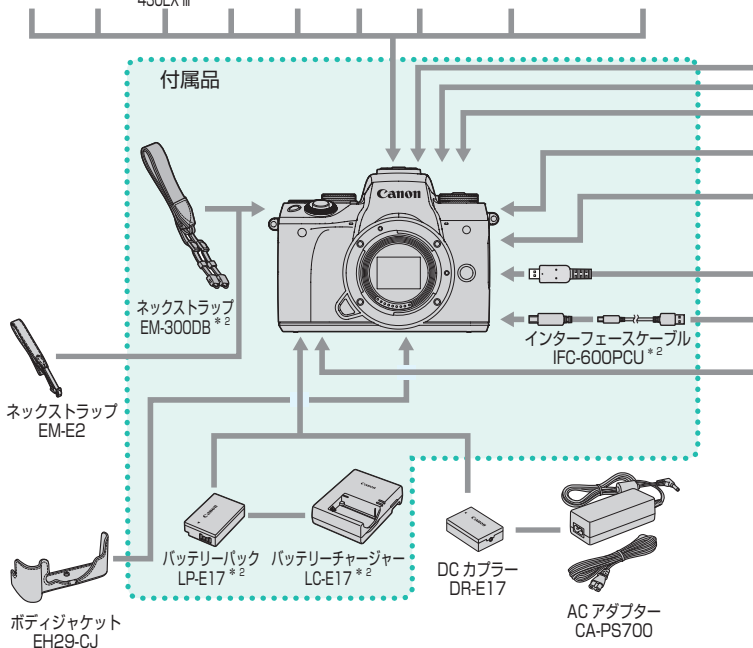
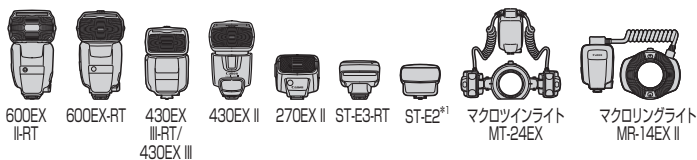
別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

アクセサリーはキャノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

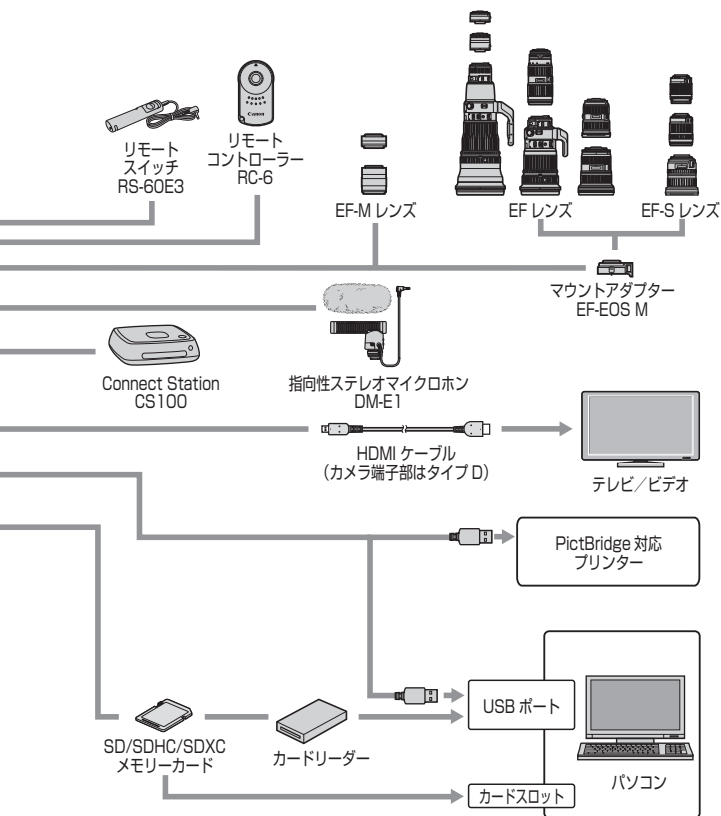
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

システムマップ



* 1 レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。

* 2 別売りも用意されています。



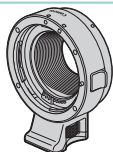
別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

レンズ

EF-M レンズ、EF レンズ、EF-S レンズ

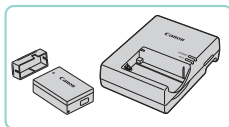
- 目的や表現にあわせてレンズを交換できます。なお、EF レンズ、EF-S レンズを取り付けるときはマウントアダプター EF-EOS M が必要です。



マウントアダプター EF-EOS M

- EF レンズ、EF-S レンズを取り付けるときに使うマウントアダプターです。

電源



バッテリーパック LP-E17

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー LC-E17

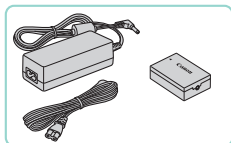
- バッテリーパック LP-E17 用のバッテリーチャージャーです。



- このカメラでキャノン純正以外のバッテリーをお使いになると、[バッテリー通信エラー] のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。



AC アダプター CA-PS700

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターと DC カプラーをお使いになることをおすすめします(カメラ内のバッテリーは充電できません)。

DC カプラー DR-E17

- AC アダプターとあわせて使います。



- バッテリーチャージャーや AC アダプターは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ



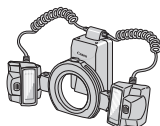
スピードライト 600EX II-RT、 600EX-RT、430EX III-RT、 430EX III、430EX II、270EX II

- クリップオンタイプの外付けストロボで、多彩なストロボ撮影ができます。なお、580EX II、580EX、550EX、430EX、420EX、380EX、320EX、270EX、220EX、90EX もお使いになれます。



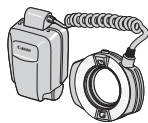
スピードライトトランスミッター ST-E3-RT、ST-E2

- スレーブ設定されたスピードライト（220EX、270EX を除く）をワイヤレスで制御できます。
- ST-E2 をお使いになるとき、レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。



マクロツインライト MT-24EX マクロリングライト MR-14EX II

- 外付けのマクロストロボで、多彩なマクロストロボ撮影ができます。なお、MR-14EX もお使いになれます。





オフカメラシューコード OC-E3

- スピードライトをカメラから離して使うための接続コードです。

マイク



指向性ステレオマイクロホン DM-E1

- 動画撮影中のレンズやカメラの動作音が録音されるのを軽減できます。

その他



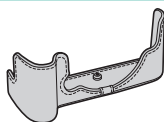
リモートスイッチ RS-60E3

- カメラから離れてシャッターボタンの半押しと全押しができるリモートスイッチです。



リモートコントローラー RC-6

- カメラを固定して、離れたところからシャッター操作できます。



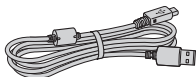
ボディジャケット EH29-CJ

- カメラをキズやホコリから守ります。



ネックストラップ EM-E2

- ボディジャケット EH29-CJ と同じ素材のストラップです。



インターフェースケーブル IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



- ネックストラップ EM-E2 をカメラに取り付けるときは、ネックストラップ EM-300DB に付属しているリングとキャップが必要です。

プリンター



キャノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。
製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

フォトストレージ



Connect Station CS100

- カメラで撮影した画像の保存やテレビでの観賞のほか、Wi-Fi 対応プリンターでの印刷やインターネットを活用した画像共有などが楽しめる機器です。

別売アクセサリーの使いかた

▶ 静止画 ▶ 動画

テレビで見る

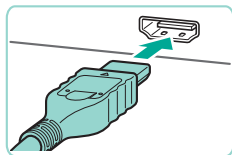
▶ 静止画 ▶ 動画

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、**[FHD 59.94P]** **[FHD 29.97P]** **[FHD 23.98P]** **[HD 59.94P]** **[FHD 50.00P]** **[FHD 25.00P]** **[HD 50.00P]** で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

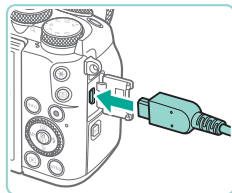
なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ



- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [▶] ボタンを押します。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。



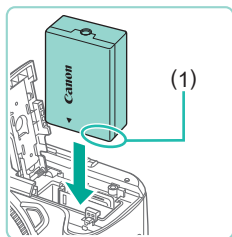
- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、拡大表示 (206)、暗所表示 (300) はできません。

家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

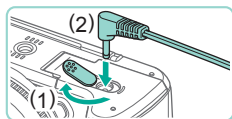
AC アダプター CA-PS700（別売）と DC カプラー DR-E17（別売）をあわせて使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る



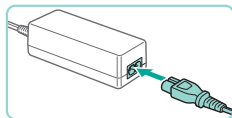
2 カプラーを入れる

- 「バッテリーとカードを入れる」(書24) の手順 1 の操作でふたを開きます。
- カプラーの端子部 (1) を図の向きにして、「バッテリーとカードを入れる」(書24) の手順 2 のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカプラーを入れます。
- 「バッテリーとカードを入れる」(書24) の手順 4 の操作でふたを閉めます。



3 プラグをカプラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカプラーの端子にしっかりと差し込みます。



4 電源コードを取り付ける

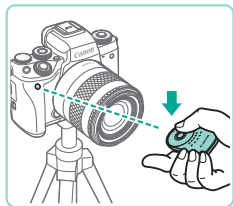
- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

リモコン撮影する

リモートコントローラー RC-6（別売）を使うと、カメラの正面から最大約 5m 離れて撮影できます。



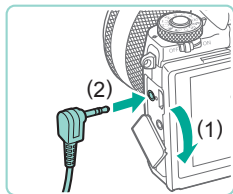
- 「セルフタイマーを使う」（ 70）の手順 1 の操作で を選びます。
- リモコンの送信部をカメラのリモコン受信部に向け、送信ボタンを押して撮影します。



- ピントが合わないとき撮影されません。
- 蛍光灯や LED 電球などが近くにあると、光源の影響でカメラが誤動作して、意図せずにシャッターが切れることがあります。できるだけカメラを光源から離してください。
- テレビ用のリモコンなどをカメラに向けて操作すると、カメラが誤動作して、意図せずにシャッターが切れることがあります。

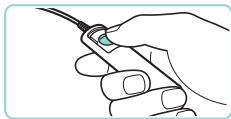
リモートスイッチ（別売）を使う

リモートスイッチ RS-60E3（別売）を使うと、シャッターボタンを押すときに発生するカメラのブレを防ぐことができます。シャッター速度が遅くなるときにお使いになると便利です。



1 リモートスイッチをつなぐ

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- 端子カバーを開けて、リモートスイッチのプラグを差し込みます。

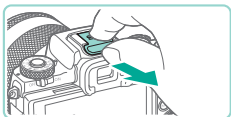


2 撮影する

- カメラの電源を入れます。
- リモートスイッチのリリースボタンを押して撮影します。

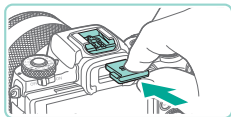
アクセサリーシューを使う

外付けストロボ（別売）や外付けマイク（別売）を取り付けるときに使用します。



1 アクセサリーシューキャップを取り外す

- キャップを図の矢印の方向に引き抜きます。
- 取り外したキャップはなくさないよう、外付けストロボや外付けマイクのケースに入れます。



2 アクセサリーシューキャップを取り付ける

- 外付けストロボや外付けマイクを取り外したときは、アクセサリーシューを保護するためにキャップを取り付けます。
- キャップを図の矢印の方向に差し込みます。

外付けストロボ（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

スピードライト EX シリーズ（別売）を使うと、より高度なストロボ撮影ができます。



- スピードライト EX シリーズ以外のキャノン製ストロボでは「発光しない」、「フル発光する」など正しく発光しないことがあります。
- 他社製のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使うと、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがあります。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの使用説明書もあわせて参照してください。なお、このカメラは、EX スピードライトの全機能が使用できる、A タイプカメラに属しています。

1 ストロボを取り付ける

- カメラの電源が切れていることを確認し、ストロボを取り付けます。

2 ストロボ、カメラの順番で電源を入れる

- [🔦]（オレンジ色）が表示されます。
- ストロボの充電が完了すると、ストロボのパイロットランプが点灯します。

3 撮影モードを [P]、[Tv]、[Av]、[M] のいずれかにする

- 他の撮影モードでは自動調光で発光するので、設定は変えられません。

4 外付けストロボを設定する (📖 327)



- マクロリングライトまたはマクロツインライトのコードやオフカメラシューコードが、発光部にかからないようにしてください。
- 三脚を使うときは、発光部が三脚に当たらないように、三脚の向きを調整してください。



- スピードライト EX シリーズを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定画面が表示されないため設定できません。
- [▶] を 1 秒以上押すことで設定画面を表示することもできます。
- 外部ストロボの AF 補助光は光りません。

外付けストロボの機能を設定する

外付けストロボを取り付けているとき、MENU (📖 52) の [📷 5] タブの [ストロボ制御] では次の設定が行えます。

- ストロボの発光 (📖 148)
- E-TTL II 調光方式 (📖 152)
- 赤目緩和機能 (📖 85)
- セイフティ FE (📖 150)
- 外部ストロボ機能設定 (📖 327)
- 外部ストロボカスタム機能設定 (📖 330)
- 設定初期化 (📖 330)



- [外部ストロボ機能設定] を選んで [🔍] を押すと、左の画面が表示されます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して項目を選び、[🔍] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して内容を選び、[🔍] を押して設定できます。

設定項目	説明
発光モード	撮影目的に応じて発光モードを選択します。 ● [E-TTL II] は、ストロボの自動撮影ができる、EX シリーズスピードライトの標準的なモードです。 ● [マニュアル発光] は、ストロボの [発光量] を自分で決めて撮影するモードです。 ● その他の発光モードについては、その発光モードに対応したストロボの使用説明書を参照してください。
ワイヤレス機能	ワイヤレス（多灯）ストロボ撮影ができます。多灯ストロボ撮影時は、電波通信チャンネル、光通信チャンネル、マスター発光なども設定できます。詳しくは、ワイヤレスストロボ撮影に対応したストロボの使用説明書を参照してください。
ズーム（照射角）	ズーム機能を内蔵したストロボ使用時に、発光照射角を設定できます。通常は、撮影レンズの焦点距離に応じて照射角をカメラが自動設定する [AUTO] を選んでください。
シンクロ設定	ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。 ●  では、撮影開始直後にストロボが発光します。 ●  では、後幕撮影終了直前にストロボが発光します。なお、シャッター速度が 1/100 秒かそれより速いときは、[後幕シンクロ] に設定していても、自動的に先幕シンクロ撮影になります。 ●  では、すべてのシャッター速度でストロボ撮影ができます。特に日中シンクロによるポートレート撮影で、絞りを優先したいときに有効です。

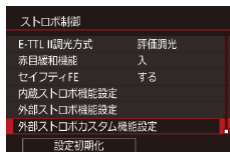
設定項目	説明
調光補正	ストロボ撮影時の露出を補正できます。詳しくは、ストロボの使用説明書を参照してください。なお、ストロボで調光補正を設定したときは、カメラ側から調光補正はできません。また、同時に設定されているときは、ストロボ側の設定が優先されます。
発光量	ストロボの発光量を設定できます。詳しくは、ストロボの使用説明書を参照してください。なお、ストロボで同時に設定されているときは、ストロボ側の設定が優先されます。
FEB	ストロボの発光量を自動的に変えながら3枚の撮影ができます（FEBはFlash Exposure Bracketingの略です）。詳しくは、FEBに対応したストロボの使用説明書を参照してください。
発光回数、 発光周波数	〔発光モード〕が〔MULTI〕のときの発光回数、発光周波数を設定します。
光量比	ワイヤレス（多灯）ストロボ撮影時やMR-14EX II 使用時に、発光量の比率を設定できます。



- 外付けストロボを取り付けているときは、〔内蔵ストロボ機能設定〕は使えません。
- 画面に表示される内容や設定できる項目は、ストロボの機種や現在設定されているストロボの発光モード、ストロボカスタム機能の設定状態などにより異なります。使用するストロボが対応している機能については、ストロボ（別売）の使用説明書を参照してください。
- ストロボ機能設定に対応していないEXスピードライトでは、〔調光補正〕のみ設定できます（一部のEXスピードライトでは、〔シンクロ設定〕も設定できます）。

外付けストロボのカスタム機能を設定する

ストロボのカスタム機能については、ストロボ（別売）の使用説明書を参照してください。



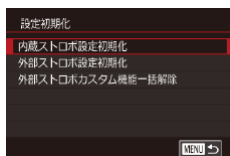
- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [外部ストロボカスタム機能設定] を選んで [ⓘ] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び、[ⓘ] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して内容を選び、[ⓘ] を押して設定します。



- [外部ストロボカスタム機能設定] の [調光方式] を [1:TTL]（自動調光）に設定して撮影するとストロボはフル発光します。

外付けストロボの機能を初期化する

[外部ストロボ機能設定] と [外部ストロボカスタム機能設定] の設定をそれぞれ初期化することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ制御] にある [設定初期化] を選んで [ⓘ] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び、[ⓘ] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[ⓘ] を押します。



- 外付けストロボを取り付けているときは、[内蔵ストロボ設定初期化] は使えません。

外付けマイク（別売）を使う

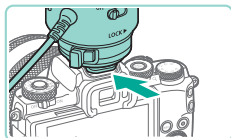
▶ 静止画 ▶ 動画

指向性ステレオマイクロホン DM-E1（別売）を使うと、動画撮影中のレンズやカメラの動作音が録音されるのを軽減できます。なお、外付けマイクをつないだときは、内蔵マイクによる録音はされません。



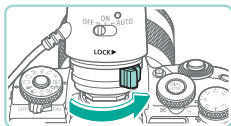
- 指向性ステレオマイクロホン DM-E1 の使用説明書もあわせて参照してください。

1 カメラの電源を切る



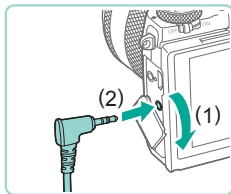
2 アクセサリーシューに外付けマイクを取り付ける

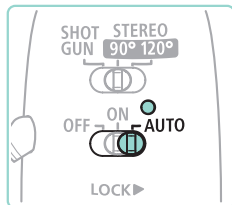
- アクセサリーシュー（[図6](#)）に指向性ステレオマイクロホンを図のように差し込みます。
- レバーを「LOCK」側にします。



3 外付けマイクの出力プラグをつなぐ

- 図のように外部マイク入力端子（[図6](#)）に外付けマイクの出力プラグをつなぎます。





4 カメラ、外付けマイクの順番で電源を入れる

- 外付けマイクの電源スイッチを [OFF] から [AUTO] にします。[AUTO] ではカメラの電源スイッチやオートパワーオフに連動してマイクの電源も自動的に入／切します。



5 被写体に応じて指向特性を切り換える

- 外付けマイクの指向性切り換えスイッチで指向特性を切り換えます。

6 カメラから取り外す

- カメラと外付けマイクの電源を切ってから出力プラグを抜き、取り付けと逆の手順で取り外します。



- 外付けマイクは電池がないと動作しません。電池チェックランプが点灯しなくなったら電池を交換してください。
- 動作テストを行う場合は、マイクを叩いたり息を吹きかけたりせず、声で確認してください。
- 録音中にマイクおよびケーブルやウィンドスクリーンに触れないでください。ノイズが録音されます。
- 電波塔、高圧線、携帯電話など強い電波を発する機器の近くで使用すると、電波や高電圧の影響を受けてノイズが録音されることがあります。
- 無線機能の使用中はノイズが録音されることがあります。録音中は無線機能を使用しないことをおすすめします。
- マイクの周囲の温度が低いと音がひずむことがあります。



- アッテネーターを使うと、外付けマイクにも設定が反映されます (116)。
- 外付けマイクをつないだときは、[ウィンドカット] (116) は [切] に固定されます。
- ミニプラグ (φ 3.5mm) を備えた市販のマイクを外部マイク入力端子につないでも録音できます。

ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- EOS Utility (イオス ユーティリティ)
 - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- Digital Photo Professional (デジタル フォト プロフェッショナル)
 - RAW 画像を含む画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集
- Picture Style Editor (ピクチャー スタイル エディター)
 - ピクチャースタイルの編集、ピクチャースタイルファイルの作成／保存
- Image Transfer Utility (イメージ トランスファー ユーティリティ)
 - クラウドシンクロ (📖277) の設定、画像受信
- Map Utility (マップユーティリティー)
 - 画像に記録されている GPS 情報を地図上に表示



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Image Transfer Utility は CANON iMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面からもダウンロードできます。

ソフトウェアの使用説明書

ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードして参照ください。



- パソコンからインターネットへ接続し、下記の URL に接続します。

<http://cweb.canon.jp/manual/eosd/soft.html>



- 電子マニュアルを参照するには、Adobe Reader が必要です。

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンの詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

1 ソフトウェアをダウンロードする

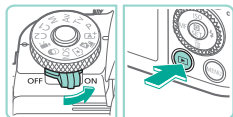
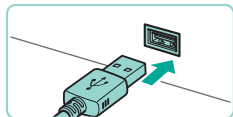
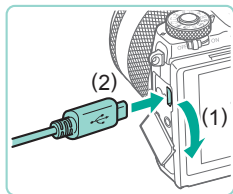
- パソコンからインターネットへ接続し、以下のサイトに接続します。
<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>
- ソフトウェアをダウンロードします。

2 画面の指示にしたがって操作する

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールします。

画像をパソコンに取り込む

インターフェースケーブル (図 2) でカメラとパソコンをつないで、画像をパソコンに取り込みます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 電源を入れて EOS Utility を表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- [▶] ボタンを押します。
- Windows では、デスクトップにある EOS Utility のアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS では、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) にある EOS Utility のアイコンをクリックします。
- 2 回目以降は、カメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源を入れると EOS Utility が起動します。

3 画像を取り込む

- [画像をパソコンに取り込み] ▶ [自動取り込み開始] の順にクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されたあと、Digital Photo Professionalが自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- 取り込みが完了したら EOS Utility を閉じ、カメラの電源スイッチを [OFF] にして電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは Digital Photo Professional、動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

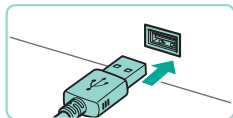
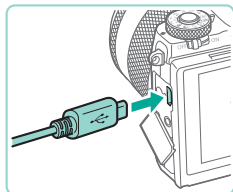
かんたん印刷

撮影した画像は、インターフェースケーブル (2) でカメラと PictBridge (ピクトブリッジ) 対応プリンター (別売) をつないで、かんたんに印刷できます。

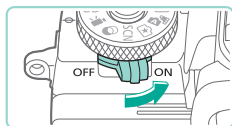
1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

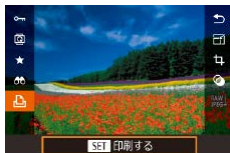


4 カメラの電源を入れる

- 電源スイッチを [ON] にします。

5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



6 印刷画面を表示する

- [Ⓜ] を押したあと、[Ⓜ] を選び、もう一度 [Ⓜ] を押します。



7 印刷する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順5からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」(P320) を参照してください。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」(338) の手順 1 ～ 6 の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- 「▲」か「▼」を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[●] を押して切り換えた画面で「▲」か「▼」を押すか [●] ホイールを回して内容を選んだあと、[●] を押して印刷画面に戻ります。

	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	－
	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	－
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	－	印刷する範囲を指定します (341)。
用紙設定	－	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (342)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

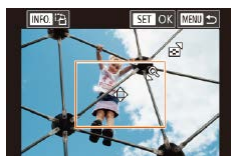
▶ 静止画 ▶ 動画

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」(340) の手順 1 の操作で印刷画面を表示したあと、[トリミング] を選び、[SET] を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- [ZOOM IN] ダイアルか [ZOOM OUT] ホイールを回して枠の大きさを変えます。
- [UP] [DOWN] [LEFT] [RIGHT] を押して枠の位置を変えます。
- [INFO] ボタンを押すと枠が回転します。
- [SET] を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」(338) の手順 7 の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」(P.340) の手順 1 の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] を選び、[●] を押します。



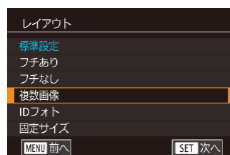
2 用紙サイズを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[●] を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[●] を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[●] を押します。
- [複数画像] を選んだときは、[●] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して印刷枚数を選んだあと、[●] を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が3:2の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 【ID フォト】を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」(P342)の手順1～4の操作で【ID フォト】を選び、**[F4]**を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- [▲]** か **[▼]** を押すか **[F4]** ホイールを回して項目を選び、**[F4]** を押して切り換えた画面で **[▲]** か **[▼]** を押すか **[F4]** ホイールを回して長さを選んだあと、**[F4]** を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 手順2の画面で **[▲]** か **[▼]** を押すか **[F4]** ホイールを回して【トリミング】を選びます。
- 「画像を切り抜いて印刷する（トリミング）」(P341)の手順2の操作で印刷する範囲を選びます。



4 印刷する

動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」(P.338)の手順1～6の操作で動画を選び、この画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [] を選び [] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して内容を選んだあと、[] を押して印刷画面に戻ります。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション]を[入]にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に [] を押したあと、[OK]を選んで [] を押すと印刷が中止されます。
- 「見る」(P.192)の手順2～5の操作で印刷したい動画のシーンを表示したあと、[◀] [▶] を押すか [] ホイールを回して動画操作パネルの [] を選んで [] を押しても、手順1の画面が表示できます。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (349) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

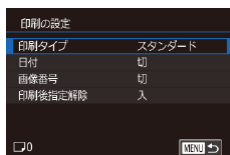


- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [印刷設定] を選び、[] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [] ホイールを回して [印刷の設定] を選び [] を押して表示された画面で、項目を選び設定します (52)。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後 指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—



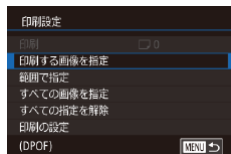
- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキャノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、MENU (📖 52) の [🔧 2] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (📖 26)。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🔑 3] タブの [印刷設定] を選び、[🔑] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🔑] ホイールを回して [印刷する画像を指定] を選び [🔑] を押します (📖 52)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔑] ホイールを回して画像を選び、[🔑] を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [🔑] を押すと解除されて [✓] が消えます。



3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する

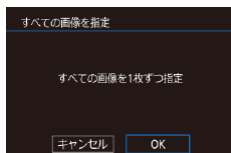
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」(📖346) の手順 1 の操作で [範囲で指定] を選び、[●] を押します。
- 「範囲で指定する」(📖211) の手順 2 ～ 3 の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び、[●] を押します。

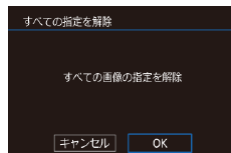
すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」(📖346) の手順 1 の操作で [すべての画像を指定] を選び、[SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[●] を押します。

すべての指定を解除する



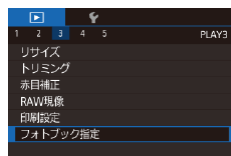
- 「1枚ずつ枚数を指定する」(📖346)の手順1の操作で「すべての指定を解除」を選び、[🗑️]を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🔄] ホイールを回して [OK] を選び、[🗑️] を押します。

フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定(最大998画像)し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ



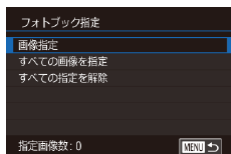
- [MENU] ボタンを押して、[📖 3] タブの「フォトブック指定」を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!🗑️]が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(348) の操作で「画像指定」を選び、 を押します。

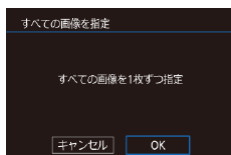


2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか ホイールを回して画像を選び、 を押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度 を押すと解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

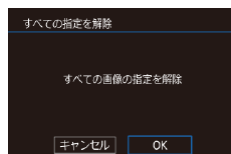
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(348) の操作で「すべての画像を指定」を選び、 を押します。
- [◀] か [▶] を押すか ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(📖 348) の操作で [すべての指定を解除] を選び、[🔍] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [OK] を選び、[🔍] を押します。

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源スイッチを〔ON〕にしてもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P22)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (P24)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (P24)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

EF-M レンズを取り付けているときに電源を入り切りすると音が聞こえる

- カメラ内部を保護するため、電源が切れているときは絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入らないようにするため、絞りが動く小さな音がします。

撮影

撮影できない

- ピントが合わないと撮影できません。シャッターボタンを半押ししたときに、枠が緑色になるようにしてピントを合わせてから撮影してください。
- 再生モードのとき (📖 191) は、シャッターボタンを半押ししてください (📖 44)。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖 49)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

シャッターボタンを押したら、画面に [⚡] が点滅表示されて撮影できない (📖 65)

シャッターボタンを半押ししたときに、[📷] が表示される (📖 65)

- 手ブレ補正機能を使って撮影してください (📖 155)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖 148)。
- ISO 感度を高くしてください (📖 123)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときには、手ブレ補正を使わないことをおすすめします (📖 155)。

画像がボケて撮影される

- オートフォーカス (AF) で撮影してください。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (📖 44)。
- レンズの最短撮影距離より近づくとピントが合いません。最短撮影距離は、使用しているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の [📷] (撮像面マーク) から被写体までの距離です。
- [AF 補助光 (LED) の投光] を [する] にしてください (📖 85)。
- 意図しない機能 (マニュアルフォーカスなど) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください (📖 139、📖 142)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームがオレンジ色で表示されピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが緑色で表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖148)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖120)。
- オートライティングオフティマイズで補正してください (📖126)。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください (📖121、📖122)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖60)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖120)。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください (📖121、📖122)。
- 被写体に当たっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖65)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖408)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖150、📖169)。
- ISO 感度を高くしてください (📖123)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖408)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖60)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖150、📖169)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖123)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖93)。

画像に線状のノイズまたはモアレが写る

- 被写体により、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。特に以下の条件で発生しやすくなります。
 - 細かい水平方向の縞模様や、格子模様の被写体など
 - 太陽光や照明などの強い光源が撮影画面内にあるときや、撮影画面の近くにあるとき
 なお、このようなときは、以下の対応によりノイズやモアレの発生を低減できることがあります。
 - 撮影距離やズーム倍率を変えて、被写体の大きさを変える
 - 強い光源が撮影画面に入らないように構図を変える
 - レンズにフードを取り付けて、強い光がレンズに当たらないようにする
- TS-E レンズを使用してシフトやティルトを行ったときは、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。

目が赤く写る

- [赤目緩和機能] を [入] に設定してください (📖85)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖6) が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖227)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖296)。

連続撮影が途中で止まる

- カメラを保護するため、1 回の連続撮影が 1000 枚程度になると撮影が止まります。一度シャッターボタンから指を放してから撮影しなおしてください。

撮影機能やクイック設定メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「クイック設定メニュー一覧」、「撮影タブメニュー一覧」、「C.Fn タブメニュー一覧」、「撮影機能画面」、「設定タブメニュー一覧」(📖370～📖400) で確認してください。

タッチ AF できない／タッチシャッターできない

- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。

画面に【!】が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖296)。
 - 画質を変える (📖81)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

動画が一瞬止まって見える

- レンズによっては明るさが大きく変化した瞬間に画像がフレーム（コマ）落ちしたように見える動画が記録されることがあります。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (📖296)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声聞こえない

- 音声小さいときは、音量を調整してください (📖192)。
- 【📺】モード (📖106)、【📷】モード (📖112) では音声録音されていないため、音は出ません。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - [▶] ボタンを押して再生モードにしたあと、[MENU] ボタンを押したまま、[▲] と [⊙] を同時に押します。表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [⊙] ホイールを回して [B] を選び、[⊙] を押します。

Wi-Fi

[Ⓜ] ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをプリンターとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (📖 285)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (📖 258)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください (📖 241)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (📖 414) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW 画像はカメラへ送信したりテレビに表示することはできません。なお、スマートフォンで RAW 画像を選ぶと JPEG 画像として取り込まれます。また、クラウドシンクロでは RAW 画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき（ 277）は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます（ 275）。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、 が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラに CANON iMAGE GATEWAY を登録するときに、パソコンやスマートフォンに通知メールが届かない

- 入力するメールアドレスに誤りがないか確認し、登録をやり直してください。
- パソコンまたはスマートフォンのメール設定を確認してください。特定ドメインのメールを受信拒否にしていると受信できないことがあります。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください（ 290）。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きに入れます (図24)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (図24)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (図24)。

カードが異常です (図296)

- 使えるカード (図3) を初期化して正しい向きで入れても (図24) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (図60、図87、図117) や編集 (図222) はできません。画像を消して (図214) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (図24)。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです (図370)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (図141)。

バッテリーを充電してください (図22)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (図209)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます
／再生できません (MOV) ／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です
／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、* の機能が使えません。

拡大 (📖206)*、回転 (📖218) *、レーティング (📖220)、編集
(📖222)*、印刷指定 (📖345)*、フォトブック指定 (📖348)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📖211、📖216、📖347) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしていました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📖345) やフォトブック指定 (📖348) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📖345) やフォトブック指定 (📖348) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📖209)、消去 (📖214)、レーティング (📖220)、印刷指定 (📖345)、フォトブック指定 (📖348) で、501 枚以上の画像を指定しようとしていました。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。MENU (📖52) の [🔍 1] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📖294)、カードを初期化します (📖295)。

レンズエラーを検知しました

- カメラとレンズの通信不良です。レンズの接点を清掃してから正しく取り付けてください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました（エラー番号）

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号（Exx）を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷（ 338）できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください（ 342）。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキャノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください（ 252）。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください (📖252)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

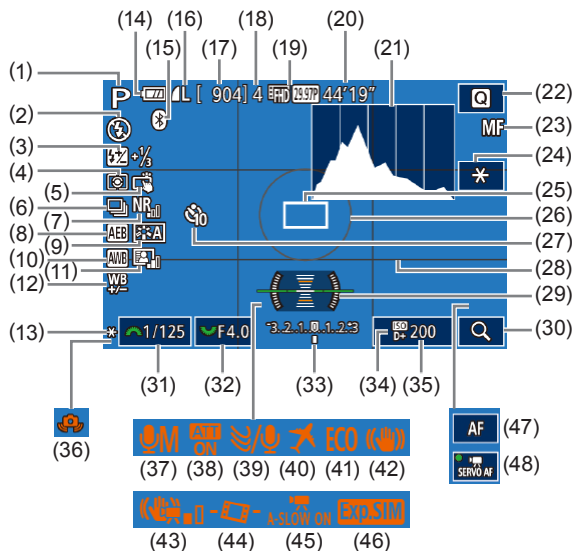
- CANON iIMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ (📖277) で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

画面の表示内容一覧

撮影時



- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| (1) 撮影モード (370)、シーンアイコン (67) | (8) AEB (125) |
| (2) スロボモード (148) | (9) ピクチャースタイル (132) |
| (3) スロボ調光補正／発光量 (150、 169) | (10) ホワイトバランス (128) |
| (4) 測光モード (122) | (11) オートライティングオブティマイザ (126) |
| (5) タッチシャッター (73) | (12) ホワイトバランス補正 (130) |
| (6) 連続撮影 (74) | (13) AE ロック (121) |
| (7) 高感度撮影時のノイズ低減 (159) | (14) バッテリー残量表示 (365) |
| | (15) Bluetooth 通信状態 (242) |

- (16) 静止画の画質 (圧縮率・記録画素数) (📖76)
- (17) 撮影可能枚数
- (18) 連続撮影可能枚数
- (19) 動画の画質 (記録画素数・フレームレート) (📖81)
- (20) 撮影可能時間
- (21) ヒストグラム (📖197)
- (22) クイック設定メニュー (📖50)
- (23) マニュアルフォーカス (📖146)
- (24) 動画 AE ロック (📖111)
- (25) AF フレーム (📖138)
- (26) 測光枠 (📖122)
- (27) セルフタイマー (📖70)
- (28) グリッドライン (📖49)
- (29) 水準器 (📖83)
- (30) 拡大 (📖146)
- (31) シャッター速度 (📖164)
- (32) 絞り数値 (📖165)
- (33) 露出補正 (📖120)
- (34) 高輝度側・階調優先 (📖127)
- (35) ISO 感度 (📖123)
- (36) 手ブレ警告 (📖65)
- (37) 録音モード (📖115)
- (38) アッテネーター (📖116)
- (39) ウィンドカット (📖116)
- (40) エリア設定 (📖301)
- (41) エコモード (📖298)
- (42) 手ブレ補正 (📖155)
- (43) 動画電子IS (📖156)
- (44) 自動水平補正 (📖84)
- (45) 動画オートスローシャッター (📖112)
- (46) 露出 Simulation (📖120)
- (47) AF/MF 切り換え (📖110)
- (48) 動画サーボ AF (📖110)

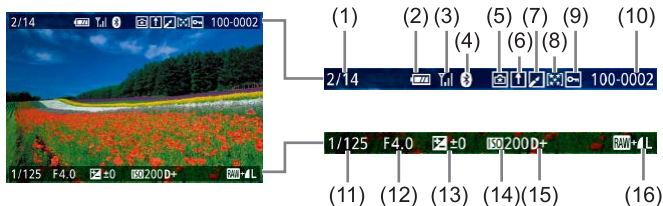
バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時

情報表示 1

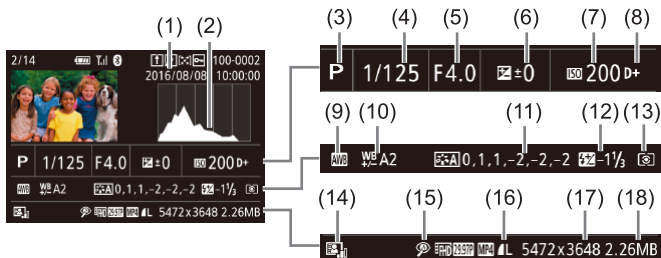


- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 再生画像 / 対象画像数 | (9) 保護 |
| (2) バッテリー残量 | (10) フォルダ番号 - 画像番号 |
| (3) Wi-Fi 通信状態 | (11) シャッター速度 |
| (4) Bluetooth 通信状態 | (12) 絞り数値 |
| (5) [★] モードへの設定反映可能 | (13) 露出補正量 |
| (6) クラウドシンクロ送信済み | (14) ISO 感度 |
| (7) 編集済み ^{*1} | (15) 高輝度側・階調優先 |
| (8) レーティング | (16) 記録画質 ^{*2} |

* 1 クリエイティブフィルター、リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に表示されます。

* 2 トリミングした画像では [㇏] と表示されます。

情報表示 2



- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 撮影日時 | (10) ホワイトバランス補正量 |
| (2) ヒストグラム | (11) ピクチャースタイル設定内容 |
| (3) 撮影モード | (12) 調光補正量 |
| (4) シャッター速度 | (13) 測光モード |
| (5) 絞り数値 | (14) オートライティングオブティマイザ |
| (6) 露出補正量 | (15) 赤目補正 |
| (7) ISO 感度 | (16) 記録画質* |
| (8) 高輝度側・階調優先 | (17) 記録画素数 |
| (9) ホワイトバランス | (18) 画像サイズ |

*トリミングした画像では「」と表示されます。

情報表示 3

レンズ名、焦点距離、RGB ヒストグラムが表示されます。なお、長いレンズ名の一部が表示されないことがあります。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 4

ホワイトバランスの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 5

ピクチャースタイルの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 6

長秒時露光と高感度撮影時のノイズ低減の設定が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 7

レンズ光学補正データ、周辺光量補正、色収差補正、回折補正が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 8

GPS 情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

動画操作パネル一覧

「見る」(📖192) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができません。

	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (📖338) に表示
	再生
	スロー再生 (◀▶ か ▶▶ を押すか [⏮] ホイールを回して再生速度を変更) (音声は再生されません)
	前スキップ* または前のチャプター (📖237) ([⏮] を押したままにすると連続してスキップ)
	フレーム戻し ([⏮] を押したままにすると早戻し)
	フレーム送り ([⏭] を押したままにすると早送り)
	次スキップ* または次のチャプター (📖237) ([⏭] を押したままにすると連続送り)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (📖237) に表示)
	編集 (📖234)

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に [◀▶] か [▶▶] を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。
- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。

撮影機能一覧

機能 \ 撮影モード		C1 / C2	M	A	V	Tv	P	A ⁺	A ⁻	★	📷
露出補正 (📖120)		*1	○	○	○	○	○	-	-	*2	○
ISO 感度 (📖123)	AUTO	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100 ~ 6400	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	8000 ~ 25600	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-
ストロボ (📖148)	オート	*1	-	-	-	○	○	○	○	-	-
	常時発光	*1	○	○	○	○	-	-	○	-	-
	スローシンクロ	*1	-	○	-	○	*3	*3	○	-	-
	発光禁止	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外付けストロボの発光 (📖326)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
ストロボ調光補正 (📖150)		*1	○	○	○	○	-	-	*4	-	-
ストロボ発光量 (📖169)		*1	○	○	○	-	-	-	-	-	-
絞り数値 (📖165)		*1	○	○	-	-	-	-	-	-	-
シャッター速度 (📖164)		*1	○	-	○	-	-	-	-	-	-
バルブ撮影 (📖168)		*1	○	-	-	-	-	-	-	-	-
プログラムシフト (📖121)		*1	-	-	-	○	-	-	-	-	-
AE ロック (📖111、📖121)、 FE ロック (📖151)		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
動画記録中 AE ロック、露出補正 (📖111)		○	○	○	○	○	-	-	-	-	○
マニュアルフォーカス (📖146) *5		*1	○	○	○	○	-	-	○	-	-
動画記録中のマニュアルフォーカス切り換え (📖110)		○	○	○	○	○	-	-	○	-	-

								HDR										
*2	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	○	-	○	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
-	-	-	-	-	-	*3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
*4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

機能 \ 撮影モード		C1 / C2	M	A	V	Tv	P	A ⁺	A ⁻	★	🔍
AF 枠の移動 (📖 141)	中央	*1	○	○	○	○	○	-	-	○	○
	周辺	*1	○	○	○	○	○	-	-	○	○
タッチ AF (📖 141)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
顔セレクト (📖 141)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大表示 (📖 146)		*1	○	○	○	○	○	-	-	○	○
タッチシャッター (📖 73)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報表示切り換え (📖 49、📖 119)	表示 1 / 表示 2 / 情報表示なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影機能画面	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-

- * 1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
- * 2 [明るさ] で設定
- * 3 選択不可。ただし状況に応じて [🔍]
- * 4 [明るさ] の設定に連動
- * 5 EF レンズまたは EF-S レンズのスイッチで MF に切り換えたときはマニュアルフォーカス
- * 6 撮影のみ可。被写体の指定は不可

								HDR										
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	*6	○	○	-	*6	*6	○	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

クイック設定メニュー一覧

機能		撮影モード	C1 C2	M	A	V	Tv	P	A+	△	☆	🔍
AF 方式 (📖 138)	AF		*1	○	○	○	○	○	○	○	*2	○
	AF []		*1	○	○	○	○	○	-	-	*2	○
	AF □		*1	○	○	○	○	○	-	-	*2	○
AF 動作 (📖 143)	ONESHOT		*1	○	○	○	○	○	○	○	*2	-
	SERVO		*1	○	○	○	○	○	-	-	*2	○
記録画質 (📖 76)			「撮影タブメニュー一覧」(📖 378)を参照してください。									
動画記録 サイズ (📖 80)	[NTSC] 設定時	59.94P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		29.97P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		23.98P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		59.94P / 29.97P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	[PAL] 設定時	50.00P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		25.00P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		50.00P / 25.00P	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドライブモード (📖 74)			*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	H		*1	○	○	○	○	○	○	-	-	○
			*1	○	○	○	○	○	○	-	-	○
セルフタイマー / リモコン (📖 70)			*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	/ /		*1	○	○	○	○	○	○	○	-	○
			*1	○	○	○	○	○	○	○	-	○
セルフタイマー 設定	カスタム	時間	*1	○	○	○	○	○	○	○	-	○
		枚数	*1	○	○	○	○	○	○	○	-	○

								HDR										
○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*3	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*3	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*3	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*3	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能 \ 撮影モード		C1 C2	M	Av	Tv	P	A ⁺	A ⁻	★	🔍
ホワイトバランス (📖 128)		*1	○	○	○	○	○	○	○	○
	/ / / /	*1	○	○	○	○	-	-	-	-
		*1	○	○	○	○	-	-	-	-
		*1	○	○	○	○	-	-	-	-
	K	*1	○	○	○	○	-	-	-	-
ピクチャースタイル (📖 132)		*1	○	○	○	○	○	○	-	○
		*1	○	○	○	○	-	-	○	-
	/ / / / / / / /	*1	○	○	○	○	-	-	-	-
測光モード (📖 122)		*1	○	○	○	○	○	○	○	○
	/ /	*1	○	○	○	○	-	-	-	-
オートライティング グオプティマイザ (📖 126)		*1	○	○	○	○	-	-	○	-
	/	*1	○	○	○	○	-	-	-	-
		*1	○	○	○	○	○	○	-	○
静止画アスペクト 比 (📖 80)	16:9	*1	○	○	○	○	○	-	*4	○
	3:2	*1	○	○	○	○	○	○	*4	○
	4:3	*1	○	○	○	○	○	-	*4	○
	1:1	*1	○	○	○	○	○	-	*4	○

* 1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

* 2 メニューの 3 タブで設定

* 3 縦横比の設定に連動して自動設定 (📖 106)

* 4 メニューの 1 タブで設定

* 5 動画記録サイズの縦横比に連動して自動設定

								HDR										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*5	*5	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*5	*5	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

撮影タブメニュー一覧

機能

撮影モード

C1 / C2

M

Av

Tv

P

A+

A-

★

🔍

📷 1	記録画質 (📖 76)		—	*1	○	○	○	○	○	—	—	○	
		JPEG 画像設定	📷	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
			📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷	*1	○	○	○	○	○	—	○	○	
				*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RAW 画像設定	RAW	*1	○	○	○	○	○	—	—	○	
	静止画アスペクト比 (📖 80)				「クイック設定メニュー 一覧」 (📖 374) 参照								
	撮影情報表示設定 (📖 172)	モニター情報表示カスタマイズ	カスタム表示 1 / カスタム表示 2 / 情報表示なし / 撮影機能画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ファインダー情報表示カスタマイズ	情報表示なし / カスタム表示 1 / カスタム表示 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ファインダー縦表示	入	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
			切	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
		グリッド	9 分割 📷 / 24 分割 📷 / 9 分割 + 対角 📷	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒストグラム	輝度 / RGB	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
			表示サイズ	大きい / 小さい	*1	○	○	○	○	○	○	○	
	露出 Simulation (📖 120)	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○		
		しない	*1	○	○	○	○	—	—	—	—		

								HDR										
-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能			撮影モード	C1 / C2	M	A	V	Tv	P	A+	A-	★	🔍
 1	鏡像表示 (📖48)	入		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		切		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
 2	撮影画面表示設定 (📖45)	画面表示	省電力優先	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	-
			なめらかさ優先	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	ファインダー表示形式 (📖45)	表示 1 / 表示 2		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影画像の確認時間 (📖86) *2	切 / 2 秒 / 4 秒 / 8 秒 / ホールド		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	タッチシャッター (📖73)	タッチシャッター	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		撮影後の AF 枠位置	中央 / タッチした位置	*1	○	○	○	○	-	-	○	○	○
	タッチ&ドラッグ AF 設定 (📖174)	タッチ & ドラッグ AF	する / しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		位置指定方法	絶対位置 / 相対位置	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		タッチ領域	全体 / 右 / 左 / 右上 / 右下 / 左上 / 左下	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	クイック設定カスタマイズ (📖182)			○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

機能		撮影モード	C1 C2	M	A	v	Tv	P	A+	A-	★	🔍
📷 3	AF 動作 (📖 143)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖 374) 参照									
	AF 方式 (📖 138)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖 374) 参照									
	AF フレームサイズ*3 (📖 139)	標準	*1	○	○	○	○	○	-	-	○	○
		小	*1	○	○	○	○	○	-	-	○	-
	コンティ ニュアス AF (📖 144)	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	フォーカスモ ード (📖 145)	AF	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		MF/AF+MF	*1	○	○	○	○	○	-	-	○	-
	AF 補助光 (LED) の投光 (📖 85)	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○



-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

機能

撮影モード

C1 / C2

M

A

v

Tv

P

A⁺

A⁻

★

🔍

4

MF ピーキング 設定 (📖147)	ピーキ ング	入	*1	○	○	○	○	-	-	○	-		
		切	*1	○	○	○	○	○	○	○	○		
	レベル	弱 / 強	*1	○	○	○	○	-	-	○	-		
	色	レッド / イエロー / ブルー	*1	○	○	○	○	-	-	○	-		
	手ブレ補正設定 (📖155)	手ブレ 補正*4	切	*1	○	○	○	○	-	○	○	○	
			入	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
		動画電 子 IS	しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
			する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
			強	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	📏 自動水平補 正 (📖84)	する		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
		しない		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	
	レンズ光学補正 (📖157)	周辺光 量補正	する / しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			色収差 補正	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		回折補 正	する	*1	○	○	○	○	○	-	○	○	○
			しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	AEB 設定 (📖125)			*1	○	○	○	○	-	-	-	-	

								HDR										
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能

撮影モード

C1 / C2

M

Av

Tv

P

A+

A-

★

🔍

ISO 感度設定 (📖123)	ISO 感度	「撮影機能一覧」(📖370) 参照											
	ISO オート	*1	○	○	○	○	-	-	-	-			
高輝度側・階調 優先 (📖127)	しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○			
	する	*1	○	○	○	○	-	-	-	-			
オートライティングオブティマイザ (📖126)		「クイック設定メニュー 一覧」 (📖374) 参照											
測光モード (📖122)		「クイック設定メニュー 一覧」 (📖374) 参照											
スト ロ ボ 制 御	ストロボの発光 (📖148)		「撮影機能一覧」(📖370) 参照										
	E-TTL II 調光方式 (📖152)	評価調光	*1	○	○	○	○	○	○	○	-		
		平均調光	*1	○	○	○	○	-	-	-	-		
	赤目緩和機 能 (📖85)	入 / 切	*1	○	○	○	○	○	○	○	-		
	セーフティ FE (📖150)	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	-		
		しない	*1	○	○	○	○	-	-	○	-		
	内蔵ストロ ボ機能設定	発光 モード (📖169)	E-TTL II	*1	○	○	○	○	○	○	○	-	
			マニユアル発光	*1	○	○	○	-	-	-	-	-	
		シンク 口設定 (📖152)	先幕 シンク口	*1	○	○	○	○	○	○	○	-	
			後幕 シンク口	*1	○	○	○	○	-	-	○	-	
		 調光補正		「撮影機能一覧」(📖370) 参照									
		 発光量		「撮影機能一覧」(📖370) 参照									
	外部ストロボ機能設定 (📖327)		○	○	○	○	○	-	-	-	-		
	外部ストロボカスタム機能設定 (📖330)		○	○	○	○	○	-	-	-	-		

📷5*5



-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	O	O	-

O	O	-	O	O	-	O	-	-	O	O	O	O	O	O	O	O	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O	O	-	O	O	-	O	-	-	O	O	O	O	O	O	O	O	-	-	-
O	O	-	O	O	-	O	-	-	O	O	O	O	O	O	O	O	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O	O	-	O	O	-	O	-	-	O	O	O	O	O	O	O	O	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O	O	-	O	O	-	O	-	-	O	O	O	O	O	O	O	O	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能				撮影モード	C1 / C2	M	A	Av	Tv	P	A ⁺	A ⁻	★	🔍
 5*5	スト ロ ボ 制 御	設定初期化 (📖153、 📖330)	内蔵ストロボ設定 初期化	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
			外部ストロボ設定 初期化 / 外部スト ロボカスタム機能 一括解除	○	○	○	○	○	-	-	-	-		
 6*6	ホワイトバランス (📖128)			「クイック設定メニュー 一覧」 (📖374) 参照										
	MWB 画像選択 (📖129)			○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	WB 補正 (📖130)			「クイック設定メニュー 一覧」 (📖374) 参照										
	ピクチャースタイル (📖132)			「クイック設定メニュー 一覧」 (📖374) 参照										
	長秒時露光の ノイズ低減 (📖161)	しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自動 / する	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	高感度撮影時の ノイズ低減 (📖159)	標準	*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		しない / 弱め / 強 め / マルチショッ トノイズ低減機能	*1	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	

								HDR										
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能		撮影モード	C1 / C2	M	A	V	Tv	P	A ⁺	A ⁻	★	🔍
 7*7	ドライブモード (📖74)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖374) 参照									
	セルフタイマー / リモコン (📖70)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖374) 参照									
	ダイジェスト形式 (📖63)	静止画入り / 静止画なし	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
	AF 自動切り換え (📖69)	する	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
		しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	📌 設定記憶 (📖88)	しない / する	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	タイムラプ ス動画設定 (📖112)	撮影 シーン	シーン 1/ シーン 2/ シーン 3/ カスタム	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		撮影 間隔 / 回数	2 ~ 4 秒 / 30 ~ 900 回(シーン1) 5 ~ 10 秒 / 30 ~ 720 回(シーン2) 11 ~ 30 秒 / 30 ~ 240 回(シーン3) 2 ~ 30 秒 / 30 ~ 900 回(カスタム)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		露出	固定 / 撮影ごと	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		レ ビュー 表示	する / しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-



-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○



○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

C.Fn タブメニュー一覧

機能			撮影モード	C1 / C2	M	Av	Tv	P	A+	A-	★	🔍
C.Fn I: 露出 (📖 176)	ISO 感度拡張	しない		*	○	○	○	○	○	○	○	○
		する		*	-	-	-	-	-	-	-	-
	セーフティシフト	しない		*	○	○	○	○	○	○	○	○
		する		*	-	○	○	-	-	-	-	-
C.Fn II: その他 (📖 176)	Tv/Av 値設定時のダイヤル回転	通常		*	○	○	○	○	-	-	-	-
		設定方向を反転		*	○	○	○	○	-	-	-	-
	操作ボタンカスタマイズ	シャッター / AE ロック	AF/AE ロック	*	○	○	○	○	-	-	-	-
			AE ロック / AF	*	○	○	○	○	-	-	-	-
			AF/AF ロック (AE ロックなし)	*	○	○	○	○	-	-	-	-
			AE / AF (AE ロックなし)	*	○	○	○	○	-	-	-	-
		ダイヤル / ホイール	M モード時 / ⚙️ 機能登録	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			⚙️ P/AE 機能登録	○	○	○	○	○	-	-	-	-

								HDR										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○

機能 \ 撮影モード				C1 / C2	M	Av	Tv	P				
C.Fn II: その他 (📖176)	操作ボタン カスタマイズ	その他の ボタン	M-Fn ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			ISO ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			MF ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
			ボタン	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	レンズなし リリース	しない	*	○	○	○	○	○	○	○	○	
		する	*	○	○	○	○	-	-	-	-	
	電源オフ時の レンズ収納	する	*	○	○	○	○	○	○	○	○	
		しない	*	○	○	○	○	-	-	-	-	
カスタム機能 (C.Fn) 一括解除 (📖176)				-	○	○	○	○	-	-	-	-

* 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

								HDR											
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

撮影機能画面

[HDR]
 モードでは、撮影機能画面 (119)
 を表示できません。

機能 \ 撮影モード	C1 / C2	M	Av	Tv	P			
撮影モード	－	－	－	－	－	○	○	○
シャッター速度	*	○	－	○	－	－	○	－
絞り数値	*	○	○	－	－	－	○	－
ISO 感度	○	○	○	○	○	－	○	－
AEB 設定	○	○	○	○	○	－	－	－
調光補正	○	○	○	○	○	－	－	－
ピクチャースタイル	○	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	○	○	○	○	○	○	○	○
WB 補正	○	○	○	○	○	○	○	○
オートライティングオプティマイザ	○	○	○	○	○	○	○	－
操作ボタンカスタマイズ	○	○	○	○	○	○	○	－
測光モード	○	○	○	○	○	－	－	－
ドライブモード	○	○	○	○	○	－	－	－
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○
記録画質	○	○	○	○	○	○	○	○
ストロボの発光	○	○	○	○	○	－	－	－
AF 方式	○	○	○	○	○	○	○	－
AF 動作	○	○	○	○	○	－	－	－
動画記録サイズ	－	－	－	－	－	○	○	－
録音レベル	－	－	－	－	－	○	○	－

機能	撮影モード	C1 / C2	M	Av	Tv	P			
ウィンドカット		—	—	—	—	—	○	○	—
アッテネーター		—	—	—	—	—	○	○	—
タイムラプス動画設定		—	—	—	—	—	—	—	○

○ 選択可能または自動設定 — 選択不可

* 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

設定タブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
1	フォルダ作成	294
	画像番号	294
	カードの初期化	295
	ビデオ方式	297
	表示先設定	45
	水準器	83
2	エコモード	298
	節電	43
	画面の明るさ	300
	暗所表示	300
	エリア設定	301
	日付 / 時刻	302
	日本語入力設定	57
3	言語	302
	電子音	302
	操作音	303
	機能ガイド	303
	撮影モード選択画面	303
	タッチ操作	304
	センサークリーニング	305

4	Wi-Fi 接続	239
	無線通信の設定	239
	認証マーク表示	307
	カスタム撮影モード (C1, C2) * ¹	184
	著作権情報	308
	カメラの初期化* ²	310
	ファームウェア Ver.*** * ³	309

* 1 [C1] [C2] [M] [Av] [Tv] [P] モードでのみ選択可

* 2 [C1] [C2] モードでは「基本以外の設定」のみ可

* 3 [C1] [C2] [M] [Av] [Tv] [P] [Pv] [Pv] [Pv] モードでのみ
選択可

マイメニュータブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
★ 1	マイメニューの設定	186

再生タブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
▶ 1	保護	📖 209
	回転	📖 218
	消去	📖 214
	レーティング	📖 220
	スライドショー	📖 208
▶ 2	ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖 198
	画像の検索	📖 202
	クリエイティブフィルター	📖 226
▶ 3	リサイズ	📖 222
	トリミング	📖 224
	赤目補正	📖 227
	RAW 現像	📖 229
	印刷設定	📖 345
	フォトブック指定	📖 345
▶ 4	画像切り換え効果	📖 192
	一覧表示の効果	📖 200
	スクロール再生	📖 192
	ハイライト警告	📖 196
	AF フレーム表示	📖 196
	再生時のグリッド	📖 196
	縦横自動回転	📖 219

▶ 5	再生開始位置	📖 192
	 での画像送り	📖 204
	✳️  で拡大縮小	📖 200、 📖 206
	再生情報表示設定	📖 195
	拡大倍率設定（約）	📖 206

再生モードのクイック設定メニュー一覧

項目	参照ページ
保護	📖 209
回転	📖 218
レーティング	📖 220
画像の検索	📖 202
動画再生	📖 193
ダイジェスト動画のリンク再生	📖 198
印刷	📖 338
リサイズ	📖 222
トリミング	📖 224
クリエイティブフィルター	📖 226
RAW 現像	📖 229
設定を反映して撮影	📖 91

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。レンズを取り外し、バッテリー、カードをカメラから取り出して、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- カメラやレンズの接点を触らないでください。カメラの動作不良の原因になることがあります。
- レンズを取り外すと撮像素子が見えますが、損傷のおそれがありますので、撮像素子には触らないでください。
- 指などでシャッターの動作を阻害しないでください。故障の原因になります。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。

- 撮像素子の前面には、外部から入り込むゴミのほかに、ごくまれにカメラ内部の潤滑剤などが付着することがあります。撮像素子の自動清掃後に汚れが画像に写り込むときは、別紙の修理受付窓口撮像素子の清掃をお申し付けください。
- カメラ本体とレンズのマウント部分を、定期的に市販のレンズクリーナー（布製）で拭くことをおすすめします。

主な仕様

型式

カテゴリー デジタル一眼ノンフレックス
AF・AE カメラ

撮像素子

センサーサイズ
画面サイズ 約 22.3 x 14.9mm

画素数
カメラ部有効画素数（画像処理
により画素が減少することがある） 約 2420 万画素
総画素数 約 2580 万画素

アスペクト比 3 : 2

ダスト除去機能（自動 / 手動） あり

フォーカス制御

AF 方式 顔 + 追尾優先 AF、1 点 AF
測距点（最大） 49 個
測距輝度範囲（常温・ISO 100、
EF-M22mm F2 STM 使用時）
EV 値 -1 ~ 18

フォーカス動作
TTL オートフォーカス ワンショット AF、サーボ AF

AF 補助光 内蔵 LED ランプ

露出制御

測光方式	撮像素子によるリアルタイム測光、 評価測光、部分測光、中央部重点 平均測光、スポット測光
測光輝度範囲 (常温・ISO 100)	
EV 値	1 ~ 20
露出制御方式	プログラム AE、シャッター優先 AE、絞り優先 AE、マニュアル露 出
露出補正	
手動	1/3 段ステップ / ± 3 段
AE ブラケット	1/3 段ステップ / ± 2 段 (手動補 正との併用可能)
ISO 感度 (推奨露光指数)	
ISO オート設定範囲	
(撮影モード: AUTO 時)	
最低感度	ISO 100
最高感度	ISO 6400
設定できる最高感度	
(撮影モード: P 時)	ISO 25600
AE ロック (手動 / 自動)	可能

ホワイトバランス

WB 設定	オート、太陽光、日陰、くもり、 白熱電球、白色蛍光灯、ストロボ、 色温度、マニュアル
ホワイトバランス補正	可能

シャッター

方式.....フォーカルプレーンシャッター

シャッター速度

全撮影モードをあわせた範囲

最長 Tv30 秒

最短 Tv1/4000 秒

ストロボ同調最高

シャッター速度1/200 秒

ストロボ

内蔵ストロボ

方式.....手動ポップアップストロボ

ストロボ仕様

ガイドナンバー (ISO 100・m)約 5

ストロボ調光範囲 (目安) (約・m)

ISO 感度	EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM	
	広角側：F3.5	望遠側：F6.3
100	0.5 – 1.4	0.5 – 0.9
200	0.5 – 2.0	0.5 – 1.3
400	0.5 – 2.9	0.5 – 1.8
800	0.7 – 4.0	0.5 – 2.5
1600	1.0 – 5.7	0.5 – 3.6
3200	1.5 – 8.1	0.8 – 5.1
6400	2.1 – 11.4	1.2 – 7.1
12800	2.9 – 16.2	1.6 – 10.1
25600 相当	4.1 – 22.9	2.4 – 14.3

外部ストロボ	E-TTL II 自動調光、カメラ側の操作で機能設定可能
FE ロック	可能

ファインダー・モニター

カラー電子ビューファインダー

画面サイズ	0.39 型
画素数	約 236 万ドット

モニター

形式	TFT カラー液晶
画面サイズ	3.2 型
有効画素数	約 162 万ドット

被写界深度確認	可能
表示言語	英語、日本語

撮影関係

画像処理

ノイズ低減

長秒時露光時	1 秒以上、およびバルブ露光時に作動
高感度撮影時	すべての ISO 感度で作動

画像補正

オートライティング	
オブティマイザ	可能
高輝度側・階調優先	可能

レンズ補正 (EF-M レンズは

レンズ内に補正データをもつ)	周辺光量補正、色収差補正、回折補正
----------------------	-------------------

ピクチャースタイル.....オート、スタンダード、ポートレート、風景、ディテール重視、ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定 1、ユーザー設定 2、ユーザー設定 3

連続撮影

ドライブ.....1 枚撮影、連続撮影（最高：約 9.0 コマ / 秒）

連続撮影可能枚数

 L	約 26 枚
 L	約 25 枚
 M	約 24 枚
 M	
 S1	約 23 枚
 S1	
S2	約 24 枚
 RAW	約 17 枚
RAW+JPEG ()	約 16 枚

記録関係

ファイルフォーマット.....DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)

データタイプ

静止画

記録形式.....Exif 2.3 (DCF 2.0)

画像（連続撮影時の RAW 画像は

12bitAD 変換が施されています）.....JPEG/RAW (CR2 キヤノン独自：14bit)

動画

記録形式	MP4
映像	MPEG-4 AVC/H.264
音声	MPEG-4 AAC-LC (stereo)
録音レベル調整	可能
ウィンドカット機能	あり
アッテネーター機能	あり

撮影可能枚数

静止画

16GB (UHS-I) のカード使用時

記録画質	撮影可能枚数 (目安)
	1833 枚
	2760 枚
	3114 枚
	4671 枚
	4717 枚
	6656 枚
S2	8098 枚
	450 枚
RAW+JPEG ()	361 枚

動画

16GB (UHS-I) のカード使用時

画質	記録ファイルサイズ (目安)	カードに記録できる 撮影可能時間 (目安)
 	4288 KB/ 秒	59 分 30 秒
 	2945 KB/ 秒	1 時間 26 分 5 秒
	2945 KB/ 秒	1 時間 26 分 5 秒
 	1969 KB/ 秒	2 時間 8 分 27 秒
 	382 KB/ 秒	10 時間 22 分 35 秒

- メモリーカードの容量いっぱい、または約 29 分 59 秒のいずれかになるまで連続撮影可能

記録媒体SD、SDHC、
SDXC メモリーカード

フォルダ設定毎月 / 毎日

画像番号通し番号 / オートリセット

再生関係

拡大ズーム表示

拡大ズーム倍率Min : 約 2.0 倍
Max : 約 10.0 倍

ハイライト警告可能

レーティング可能

画像プロテクト可能

画像送り1 枚、10 枚、100 枚、検索画像
(レーティング、日付、人物、静止
画、動画、ダイジェスト動画)、ス
クロール再生

スライドショー全画像、検索での画像絞り込み後
のスライドショー

撮影後の画像処理

(同一機種で撮影した画像のみ可能)クリエイティブフィルター (ラフ
モノクロ、ソフトフォーカス、魚
眼風、油彩風、水彩風、トイカメ
ラ風、ジオラマ風)、リサイズ、赤
目補正

カスタマイズ関係

カスタムファンクション機能登録シャッターボタン、メイン電子ダ
イヤル、サブ電子ダイヤル、十字
ボタン(上下左右)、コントローラー
ホイール、M-Fn ボタン、動画ボ
タン、タッチ & ドラッグ AF 機能
切り換えボタン

著作権情報可能

電源

バッテリーパック	LP-E17
静止画撮影枚数 (CIPA 準拠)	
モニター表示時	約 295 枚
カラー電子ビューファインダー	
表示時	約 295 枚
静止画撮影枚数 (エコモード時)	
モニター表示時	約 420 枚
動画撮影時間 (CIPA 準拠)	
モニター表示時	約 85 分
カラー電子ビューファインダー	
表示時	約 90 分

インターフェース

有線	デジタル端子 (Hi-Speed USB 準拠)、HDMI 出力端子
無線	
NFC	NFC Forum Type3/4 Tag 準拠 (ダイナミック)
Bluetooth	
準拠規格	Bluetooth Specification Version 4.1 準拠 (Bluetooth low energy technology)
伝送方式	GFSK 変調方式
Wi-Fi	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
送信周波数	
周波数帯	2.4 GHz
チャンネル	1-11ch

セキュリティ

インフラストラクチャー

モード.....WPA2-PSK (AES/TKIP)、
WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP
* Wi-Fi Protected Setup 準拠

カメラアクセスポイント

モード.....WPA2-PSK (AES)
アドホックモード.....WPA2-PSK (AES)

動作環境

温度.....最低：0℃、最高：40℃

湿度.....85% 以下

大きさ (CIPA 準拠)

W.....115.6 mm

H.....89.2 mm

D.....60.6 mm

質量 (CIPA 準拠)

本体のみ.....約 380 g

バッテリーパック・メモリーカード

含む.....約 427 g

バッテリーパック LP-E17

形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
容量	1040 mAh
使用可能温度	充電時：+5℃ ～ +40℃ 撮影時：0℃ ～ +40℃
使用可能湿度	85% 以下
大きさ	約 33.0 (幅) × 14.0 (高さ) × 49.4 (奥行) mm
質量	約 45 g

バッテリーチャージャー LC-E17

充電可能電池	バッテリーパック LP-E17
充電時間	約 2 時間 (常温時)
定格入力	AC100 ～ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V/700 mA
使用可能温度	+5℃ ～ +40℃
使用可能湿度	85%以下
大きさ	約 67.3 (幅) × 27.7 (高さ) × 92.2 (奥行) mm
質量	約 85 g

- 記載データはすべて当社試験基準、または CIPA 試験基準 / ガイドラインによります。
- 大きさ、最大径、長さ、質量は CIPA ガイドラインによります（カメラ本体のみの質量を除く）。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 他社製のレンズを使用して不具合が生じた場合は、そのレンズメーカーへお問い合わせください。

数字

1 点 (AF フレームモード) 139

1 枚表示 38

アルファベット

A

AC アダプター 317, 322

AEB 撮影 125

AE ロック 121

AF フレーム 138

AF ロック 142

Av (撮影モード) 165

B

B/W (モノクロ撮影) 133

C

Camera Connect 245

CANON iIMAGE GATEWAY 258

C (撮影モード) 184

D

DC カプラー 317, 322

DLNA 240

DPOF 345

F

FEB 329

FE ロック 151

H

HDMI ケーブル 321

I

ISO 感度 123

M

M (撮影モード) 166

MF (手動ピント合わせ) 146

MF ピーキング 147

MWB 129

P

P (撮影モード) 118

PictBridge (ピクトブリッジ) 320,
338

Q

Q メニュー → クイック設定メニュー

R

RAW 77

RAW 現像 229

S

SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

Tv (撮影モード) 164

W

Web サービスへの送信 263

かな

あ

赤目補正 227

アクセサリ 316

圧縮率 76

後幕シンクロ 328

い

色あい(ホワイトバランス) 128
色温度 130
色収差補正 157
色の濃さ 134
印刷 338
インストール 335
インデックス表示 200

う

ウィンドカット
116

え

エコモード 298
エラー表示 359

お

オートモード(撮影モード) 36, 60
オートライティングオプティマイザ
126
お気に入り設定 220
音 302

か

カード 3
海外で使う 301
階調優先 127
回転 218
顔+追尾優先 AF 139
拡大表示 206
各部の名称 6
画質 → 圧縮率(画質)
画像
 消す 214
 再生 → 見る
 表示時間 86
 保護 209
画像番号 294
画像を送る 258
画像をパソコンに取り込む 336
家庭用電源 322
カメラ
 設定初期化 310
カメラアクセスポイントモード 257
カメラへの送信 270
画面
 表示一覧 364, 366
 表示言語 29
 メニュー → クイック設定メ
 ニュー、メニュー

き

魚眼風(撮影モード) 103
記録画素数(画像の大きさ) 76
近接撮影 94

く

クイック設定メニュー
 一覧 374
 基本操作 50
 クラウドシンクロ 277
 クリーニング (撮像素子) 305
 クリエイティブアシスト (撮影モード)
 88
 クリエイティブフィルター (撮影モー
 ド) 101
 グリッドライン 49
 クローズアップ (撮影モード) 94

け

消す 214
 検索 202

こ

高感度撮影時のノイズ低減 159
 故障 352
 ゴミの写り込み防止 305
 コントラスト 134

さ

サーボ AF 143
 再生 → 見る
 先幕シンクロ 328
 撮影
 撮影情報 364
 三脚ねじ穴 6
 残量表示 365

し

ジオラマ風 (撮影モード) 106
 自分撮り (撮影モード) 95
 シャープネス 134
 ジャンプ表示 204
 充電 22
 周辺光量補正 157
 消去 → 消す
 常時発光 149
 初期状態 → 設定初期化
 白黒画像 102

す

水彩風 (撮影モード) 104
 ズーム 36
 ストラップ 20
 ストロボ
 常時発光 149
 スローシンクロ 149
 調光補正 150
 発光禁止 149
 スポーツ (撮影モード) 94
 スマートフォンへの送信 241
 スライドショー 208
 スローシンクロ 149

せ

世界時計 301
 接続情報の編集 / 消去 285
 設定初期化 310
 節電 43
 セルフタイマー 70
 2 秒セルフタイマー 71
 タイマー時間と撮影枚数を変え
 る 71
 センサークリーニング 305
 全消去 217

そ

測光方式 122
 ソフトウェア
 インストール 335
 使用説明書 335
 パソコンへの取り込み 336
 ソフトフォーカス (撮影モード)
 102

た

タイムラプス動画 (撮影モード)
 112
 タッチ AF 141
 タッチシャッター 73
 タッチパネル 7
 縦位置画像回転表示 219
 縦横比を変える 80
 端子 321, 323, 338

ち

忠実設定 133
 調光補正 150
 長時間露光 168
 調色 135
 長秒時露光のノイズ低減 161

て

手ブレ補正 155
 手持ち夜景 (撮影モード) 94
 テレビで見る 321
 電源 316 → AC アダプター、
 → バッテリー、→ バッテリー
 チャージャー (充電器)
 電子ダイヤル 7
 電池 → 日付/時刻 (日付/時刻用電池)
 節電 43

と

動画
 画質 (記録画素数 / フレーム数)
 81
 編集 234
 トリミング (画像の切り抜き) 224,
 341

な

流し撮り (撮影モード) 98

に

日時 → 日付/時刻
 ニュートラル 133

ね

ネックストラップ → ストラップ

の

ノイズ低減
 高感度 159
 長秒時 161

は

ハイダイナミックレンジ (撮影モード)
 108
 パソコンへの取り込み 336
 発光禁止 149
 発光モード 328
 バッテリー
 エコモード 298
 残量表示 365
 充電 22
 節電 43
 バッテリーチャージャー (充電器) 2,
 316
 パルプ撮影 168

ひ

- ピクチャースタイル 132
- ピクトブリッジ (PictBridge) 320, 338
- 日付／時刻
 - 世界時計 301
 - 設定 26
 - 日付／時刻用電池 28
 - 変更 28
- 表示一覧 364, 366
- 表示言語 29
- 表示時間 86
- ピント合わせ
 - AF フレーム 138
 - AF ロック 142
 - MF ピーキング 147
 - サーボ AF 143
 - タッチ AF 141
- ピント位置拡大 146

ふ

- ファームウェア 309
- フィルター効果 135
- 風景 133
- 風景 (撮影モード) 93
- フォーカスゾーン
 - マニュアルフォーカス 146
- フォーカスロック 139
- フォトブック指定 348
- 付属品 2
- プラスムービーオート (撮影モード) 63
- プリント → 印刷
- プログラム AE 118

へ

編集

- 赤目補正 227
- トリミング (画像の切り抜き) 224
- リサイズ (画像を小さくする) 222

ほ

- ポートレート (撮影モード) 93
- 保護 209
- ホワイトバランス (色あい) 128

ま

- マクロ撮影 94
- マニュアルフォーカス 146
- マニュアルホワイトバランス 129
- マルチショットノイズ低減機能 160
- マルチファンクションボタン 178

み

- 見る 38
 - 1 枚表示 39
 - インデックス表示 200
 - 拡大表示 206
 - 画像の検索 202
 - ジャンプ表示 204
 - スライドショー 208
 - テレビで見る 321

む

- 無線機能 239

め

- メニュー
 - 一覧 370
 - 基本操作 52
- メモリーカード → カード

ゆ

油彩風（撮影モード） 104

ら

ラフモノクロ（撮影モード） 102

ランプ 58, 85

り

リサイズ（画像を小さくする） 222

リモートライブビュー撮影 282

料理（撮影モード） 97

れ

レーティング 220

レンズ 30

 ロック解除 31

ろ

露出

 AE ロック 121

 FE ロック 151

 補正 120

わ

ワイヤレスストロボ撮影 328

無線機能（Wi-Fi/Bluetooth など）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 無線機能が使える国や地域について
 - 無線機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。（モデルナンバーは、PC2258 です。）

なお、それ以外の国や地域で無線機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。

本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。

弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。

紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。

本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線機能は使用しないでください。

無線機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4 XX 2

この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

MENU の [🔍4] タブにある [認証マーク表示] で、このカメラが対応している認証マークの一部を、画面に表示して確認できます。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

- インターフェースケーブル IFC-600PCU

HDMI ケーブル（カメラ側端子はタイプ D）については、長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

Complies with
IDA Standards
DB00671

- expat.h

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意

カメラに個人情報を登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定の初期化] を使って消してください。

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キャノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

修理対応期間について

本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。

なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

MEMO

MEMO

MEMO



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品情報や取り扱い方法に関するご相談窓口

製品に関する情報や、よくある問合せなどのサポート情報を掲載しています。
インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

EOS ホームページ
canon.jp/eos

EOS・サポートナビページ
canon.jp/eos-navi

CANON iMAGE GATEWAY
ptl.imagegateway.net

※ お電話でのお問合せの場合

お客様相談センター 050-555-90002

受付時間：9:00～18:00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

保証書でご確認ください。

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい
国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。
<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。